

ばんえい

DRAFT.RACE

NO. 6



14.24



(阿寒町ばん馬競技大会)

土の香りと緑と

開拓の明治 戦火の昭和 そして飢餓の戦後、北海道百年の歴史は蹄の跡に刻まれた。

熊や氷雪と戦う開拓者たちを助け、戦火の砲煙をくぐって奉仕し、敗戦の食糧危機に農耕輸送に汗した蔭の主役たち、最盛期三十万頭を数えた。

馬産地北海道、いま機械化におされて僅かに三万頭余、冬山造材と客土と、ばんえい競馬に余命を保つ。

落魄の功労者にやがて春めぐる。

開拓民の無聊を慰めたレクレーションは五百万道民のレジャーとして蘇る。

北海道の歴史が生んだ蝦夷の草競馬は土の香りと緑の中にたくましくもひたむきな道産子魂を伝えて妙である。

(HBC「北の躍動」から)

目次

| | |
|-------------------------------|----|
| 会長挨拶 | 3 |
| ばんえい一年を省りみて | 4 |
| 四競馬場出揃う | 6 |
| ばんえい競走とはどんな競走か(6) | 10 |
| 昭和五十年引退馬 | 19 |
| △各地の祭典ばん馬▽ | |
| ねえちゃん、かあちゃん頑張れ | 20 |
| その後端はばんえいばかりでない | 24 |
| 投票所のさまざま | 26 |
| 輓曳馬生産種雄馬物語 | 28 |
| 競走用具の研究 | 30 |
| 装蹄 | 33 |
| マスコミに取り上げられたばんえい | 34 |
| この血統証がないと出られない | 44 |
| 昭和五十一年度番組編成要領 | 46 |
| 昭和五十一年度報償費 | 48 |
| 昭和五十年産仏国輸入馬 | 49 |
| 昭和五十年産ばんえい便り | 50 |
| 昭和五十年祭典(記念)ばん馬主催団体名 及び受賞者名 | 57 |
| 昭和五十年生産奨励賞受賞者一覧 | 58 |
| 一トン座談会 | 64 |
| 昭和五十一年ばんえい第一報! | 65 |
| 昭和五十年産賞金受賞ランク | 66 |
| 昭和五十年産種雄馬ランキング | 67 |
| 昭和五十年産主催者別売得金成績 | 68 |
| 昭和五十年引退馬 | 69 |
| 昭和五十一年度開催日程 | 70 |

会報の発刊に寄せて

北海道市営競馬協議会

会長 松 本 勇



七回、延べ一〇二日間の長期に亘り開催されましたが、皆様方の御協力により無事終了することができました。

昭和五十一年度の会報発刊にあたり、謹んで皆様方の御健勝を心からお慶び申しあげます。日頃市営競馬の運営に際しまして、関係者各位の好意ある御協力をいただき深く感謝の意を表する次第であります。

さて、昭和五十年度の市営競馬を顧りみますと、四月二十八日市営岩見沢競馬を皮切りとし、十一月十七日の市営帯広競馬の最終日まで開催回数において岩見沢市の特認開催を含め十

市営競馬の勝馬投票券発売総額について一六四億一千五三万円で前年度に対する伸び率は一一・八%と過去に例のない低い率となりましたが、地方競馬の全国平均伸び率から見ますと最高の位置に達している現状であります。特に市営旭川競馬につきましては、一二五・八%の伸び率で全国のトップとなり四市ばんえい競馬が、依然として隆昌の途をたどっていることは論をまたないところであります。

又昨年は地方競馬にあって不祥事件の多発し

た年でありましたが、ばんえい競馬においても、積載重量物及び競走用馬籠に細工されるといふ異例な事態が発生いたしました。

このことについては、事件発生以来、各警察署において捜査が続けているところでありますが、主催者といしましては、競馬ファン及び関係機関に対し多大な御迷惑をおかけいたしましたことに対し深くお詫びを申しあげる次第であります。

今後、ファンの大衆娯楽の快適な場として愛好していただけるようばんえい競馬の対策として農林省を始め関係機関の御指導をいただきながら執行体制の強化、警備体制の強化及び施設の整備改善等に全力を注ぎ万全な体制のもとで実施すべく関係者一同協議を重ね検討しているところであります。

今後においてはなお一層努力を傾け激増するファンに対し明朗な競馬を運営していくことが主催者並びにきゆう舎関係者の使命であり、関係機関並びに関係者各位の絶大なる御指導と御支援をお願い申しあげ会報発刊の御挨拶といたします。

ばんえい一年を省みて

北海道市営競馬協議会

事務局長

鈴木一彦

暗かった五十年

昭和五十年度の地方競馬は、誠に多事多難の一年間であった。

全国三十一競馬場の約半数は、何等かの形で事故が発生し、漸く健全娯楽として上昇ムードにあった地方競馬の信用は、大きく失墜してしまい、オイルショック後の不況期も重なり、二、三年続いた二〇%台の大巾な売得金の伸びも、全国平均三%の上昇に留まり、不況に強いと言われたジंकスは、見事に崩潰してしまつた。

ばんえい競走も、近年公正確保と近代化をモットーとし、主催者と既舎関係者一丸となり努力してまいり、ファンの信頼も得られ、全国の上位にランクされる上昇率を示してきたところでありましたが、昨年八月、管理体制の盲点をつかればばんえい競走始まって以来の一大不祥事件が発生し、関係者に多大のご迷惑をおかけした事については、深く反省するところであります。

このことを肝に銘じ、災いをもって福

となすべく、抜本的な施行体制の改革を

図ることが急務であり、一日も早くファンの信頼を回復するため、施行体制の改善強化、執務員の増強、競走用具の改善等を図り、公正な競馬を開催することが責務であると痛感する次第であります。

不祥事件発生後、早急に公正対策を樹立し、残る競馬を無事終了できたことは、不幸中の幸であった。

暗さの中に灯も

ばんえい競馬の根底を揺るがす様なショックを受けた競走用具加工事件で、暗い五十年度の競馬であったが、明るいニュースも少なくなかった。

(馬資源)

過去十年來、道内の生産頭数は毎年一万頭以上も減少してきたが、四十九年度は六千頭台に留まり、五十年度は四七、一三八頭で前年比一、〇五三頭減の横ばい状態に向ってきたことは喜ばしいことである。

特にばんえい競走馬については、市営競馬の隆盛に伴い馬産地の競走馬生産意

慾が向上し、加えて主催者の馬産振興対策が功を奏し、生産頭数は減少しつつはあるが、近い将来には平行線から上昇線をたどる希望がもたれ、五、六年前に懸念された資源枯渇によるばんえい競馬廃止問題は、何等心配することはなく、出走申込頭数も年々上昇の一途をたどり、五十年度は九九二頭、五十一年度においては千頭の大台を越す望みがもたれ、馬資源については盤石の基礎がきずかれた感がする次第であります。

道内各産地別に検討するに、各地区とも稍減少している中で、根室地区のみ生産頭数が少数ではあるが増加したこと、は、産業に直結した馬産地として、生産者と農業団体の一致した努力の賜が如実に表われたものとして、特筆すべきことである。

(出走馬の質)

ばんえい競走の隆盛に伴い、昭和四十八年度を契機として報償費は大巾に増額され、出走馬の質も年毎に向上し、平均馬体重量は、三才馬八二〇キログラム、四才以上九〇〇キログラムに達し、オープン馬においては一屯を越す超超級馬がずらりと揃って繰広げる迫力は、他種競走には見られないものがある。

競走内容も充実し、一着賞金四〇〇万円、の農林大臣賞競走を最高峰とし、三〇〇万円競走が二レース、二〇〇万円競走が四レース、一〇〇万円以上が三四レースの豪華番組が編成され、また年間取得賞金額においても、最高一三四二万円の

優秀馬がで、通算取得賞金二〇〇万円を突破した馬が三頭であるなど、新記録続出した年であった。

(新競馬場)

全国唯一の木造競馬場として、ローカルカラー豊かな旭川競馬場が、念願かなって旭川市郊外の神居町雨粉に新装移転されたことも明るいニュースである。

ばんえい競走の旭川での日程が終了後に完成した為、残念ながらばんえい競走は五十年度に開催できなかったが、五十一年度は最初の競馬が旭川新競馬場でゴールデンウィークに開催が予定されているので、大いに期待しているところであります。

(地全協の支援)

残念ながらばんえい競走は、産業と直結した世界唯一の競馬法で認められた競馬でありながら、競馬の社会からは一人前の競馬として認められなかった淋しい時代が続いた。

しかし、地方競馬において、速歩競走が廃止され、又春木競馬を最後として障害競走も姿を消した現在、競走の種類は平地とばんえいの二種類となり、最近のばんえい競走の急速な進展に伴い、やっとな競馬としての仲間入りができた感が無きにしもあらずであった。

昭和四十二年から、地全協専門職の派遣をお願いし、ばんえい競走の発展に多大のご協力を頂いておりますが、昭和五十年代からは、新進気鋭の専門役による近代ばんえい競走に対する新たな感覚

でのご指導を頂き、又発走委員派遣の要請もご検討頂ける由との朗報も耳にする等、地全協のばんえいに対する熱意の程に深く感謝しているところであります。

特段のご配慮により、新規事業として騎手教養所における若手騎手一五名の訓練を実施して頂いたことは画期的なことであり、又ばんえい競走専門職員実務研究会を開催し、公正確保上の諸問題、審判技術の研究等熱の入ったご指導がある等、地全協のばんえい競走に対するご支援は、ばんえいの将来に大きな期待が持たれたことであります。

(ばんえい独自の技法)

公正確保の一環として、五十年からばんえい競走だけが採用している独自の技法の開発も見逃せない。

その一つとして、パトロールVTRの分割撮映方式である。スタート側のカメラを二台に増設し、一〜五コース、六〜十コースに分割撮映し、四倍に拡大された画面は公正審判業務の参考として威力が発揮され、五十一年度からは更に一台増設し、三台で撮映の予定である。

又競馬では対面から決勝写真を撮映しているのはばんえい競走のみであるが、五十年から対面タワーにメインカメラを設置し、テレビ送像装置によりスタンド側の審判委員室に拡大された映像を送り、審判業務の正確かつ迅速化を図ったことである。

能力検査における興奮剤使用が全国的な問題になっているが、五十年から新

規に指定馬の採尿を実施し、薬物使用の防止を図り、その成果が上ったことも特筆すべきことであった。

(血統登録制度)

競馬の公正化の一環として、ばんえい競走に出走する馬を主体とした、血統及び個体の証明制度を確立すべく、昭和四十九年度から日本馬事協会が中心となり、各生産団体において種馬登録事業開始の準備調査を全道的に実施してきたが、いよいよ昭和五十一年度から、日本馬事協会において種馬登録事業の発足が明らかになりばんえい競走の公正化と優秀馬の系統化並びに競馬と産地の直結化が確立されたことは、主催者の永年の要望が実り、喜びとするところである。

(売得金)

昭和五十年の地方競馬は、史上最悪の年と言われ、全国平均伸び率は三%に留まり、かつてない低率となった。

特に大不況の波をまともに受けて、二十数年全く見られなかった売上ダウンの競馬場も見られる中で、ばんえい競走の全道総売上は、一六四億円と一三%増の好成績で終了した。

しかし、岩見沢競馬の日程が中央札幌競馬と競合した関係上、一日平均上昇率は二%減となったが、全国ベストスリーの中に、第一位旭川競馬場(二六%増)第三位北見競馬場(一九%増)と二競馬場が入り、ばんえい競走の躍進振りは冠たるものであるが、昭和五十一年度の不祥事件に鑑み、反省自戒し、まず第一にフ

ァンの信頼を回復することに専念し、然る後に不況中でありながらも成績の保持否向上に努力すべきであると痛感する次第であります。

明るい新年度に

昭和五十一年度のばんえい競走は、四月下旬から開催の予定であるが、厳しい世論を浴びているばんえいの現況から脱却するためにも、「競走の公正は競馬のすべてである」ことを銘肝し、山積する公正確保の諸問題解決の年として、決意も新たに新年度を迎える所存であります。

(執行体制の強化)

一部事務組合の結成が、執行体制の一元化及び強化に直結するものとして、その組織化を四主催者で検討中であり、また新年度の執務体制強化対策として、市営競馬協議会職員を十二名増員し、公正確保上の重要ポジションについて執務員の増員強化を図ると共に執務員の研修を充実し、又ガードマンの増員と教育指導による監視体制の強化等を計画している。

(厩舎制度の改善)

ばんえい競走懸案の職能分離の早期実現を図らなければならないが、調騎分離については、昭和五十二年度騎手免許試験を自途として、分離の指導並びに新人騎手の養成に努め、馬主兼馬丁の排除については強力な指導を図り、又馬主と騎手の分離については、ばんえい競走の特殊性はあるとは言え近代化阻害の一因と

なっているので、早急にその具体的な分離目標年次を決定し、近代ばんえい競馬に脱皮するために強力に分離の推進をしなければならぬものと考えられる。

(競走用具の改善)

競走用具の不正加工事件の再発防止に万全を期するため、競走用具点検要領に基づく厳重な点検整備を実施し、「そり」については日理鋼材を使用し製作し、「重量物」についてもコンクリート充填方式を廃止してオール鉄製のものに改善する等、不正加工の防止を図った。

又胴引、かじ棒、手綱、その他装具についても、事故発生未然防止の改善研究を続行しなければならない問題であると考えられる。

結びに

昭和五十一年度の開催も目前に迫ってまいりましたが、一年間を省みて、各主催者一丸となって公正確保に専念する所存でございますので、関係者各位の絶大なご支援とご協力を切望してやまない次第でございます。



四競馬場出揃う

旭川新競馬場完成

旭川競馬場施設一覧

(旭川市神居町上雨粉)

- ★敷地面積……720,000㎡(用地取得額129,600千円)
- ★スタンド……鉄筋コンクリート・一部鉄骨造り・地下1階・地上3階・一部ゴンビラ階・建築面積 4,583㎡・建築延面積 9,943㎡・収容人員 15,000人・うち椅子席 1,549人(スタンド及事務棟 1,047,720千円)
- ★窓口数……投票・払戻・両替窓口数 401窓(1階257・2階144)自動発売機設置可能
- ★総合事務所……木造2階建・延面積923㎡・事務室・会議室・検量室・騎手控室他・渡り廊下・鉄骨造・建築面積 179㎡・延長82m
- ★走路……平地走路周1,300m・巾25m
ばんえい走路200m・巾25m
ばんえい練習走路 200m・巾 25m (211,400千円)
- ★厩舎……①木造一部2階建・574㎡・25棟・500馬房・住居200戸・飼料庫100・馬洗場50棟・堆肥場25棟②ブロッカー一部2階建583㎡5棟・100馬房・住居40戸・飼料庫20・馬洗場10棟・堆肥場5棟(30棟716,500千円)
- ★装鞍所……①事務所・木造76㎡・検量機一基
②装鞍所・木造218㎡・馬房13
③装鞍所・木造154㎡・馬房12 (15,806千円)

- ★騎手調整所……木造2階建・延面積611㎡・サウナ・浴室・図書館・会議室・寝室17室 (34,180千円)
- ★騎手会館……木造2階建・延面積182㎡・ホール・食堂・会議室・和室 (8,347千円)
- ★家畜診療所……木造 146㎡・診療室2頭分 (10,127千円)
- ★入場券発売所……鉄骨造・延面積423㎡・発売所10窓・警官詰所
- ★馬丁馬具所……木造2階建・延面積80㎡
- ★下見所……木造2階建・延面積44㎡
- ★共同浴場……木造・延面積 158㎡・温水ボイラー 25万Kカロリー・男子浴室43㎡・女子浴室34㎡ (15,769千円)
- ★用務員宿舎……木造2階建・延面積 265㎡・寝室1階5室・2階5室・浴室 (12,800千円)
- ★警備員詰所……木造一部2階建・延面積34㎡
- ★ばんえい倉庫……木造・延面積126㎡
- ★器材倉庫……木造・延面積162㎡
- ★排水浄化設備……鉄筋コンクリート造・松浦式長時間曝気合併処理装置・処理汚水量 350㎡/日30 PPM以下
- ★給水設備……①方1屋外受水槽・鉄筋コンクリート造・3週装置付・揚水ポンプ2台・能力100 t
②方2屋外受水槽・鉄筋コンクリート造一部木造・送水ポンプ2組・揚水ポンプ2台・能力400 t
- ★場内食堂……木造・延面積324㎡・5店舗
- ★児童公園……面積1,800㎡
- ★駐車場……面積45,000㎡・2,000台収容



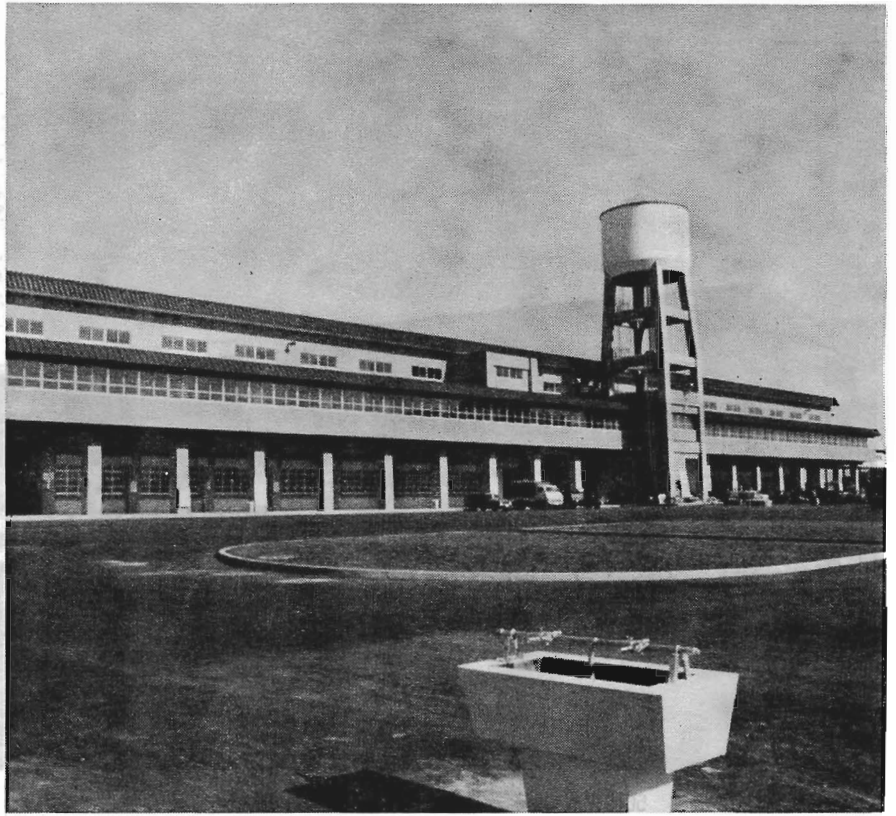
新旭川競馬場

上空からみる

全景



スタンド西側広場

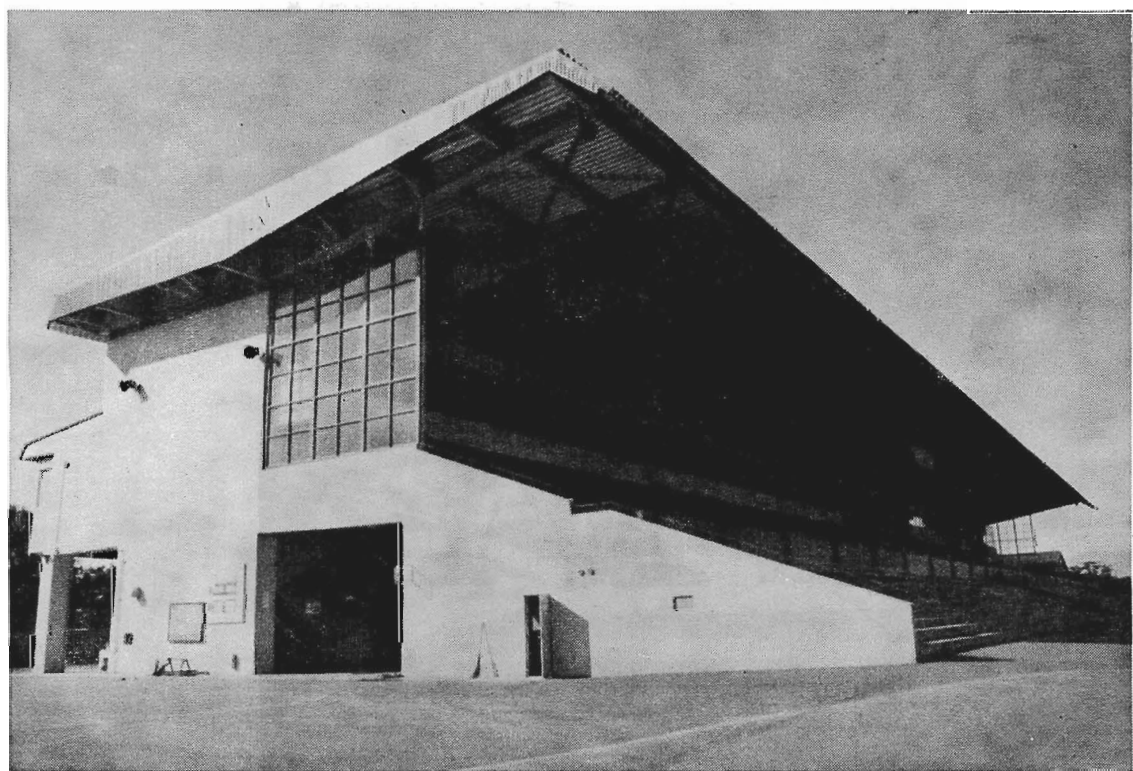


厩舎





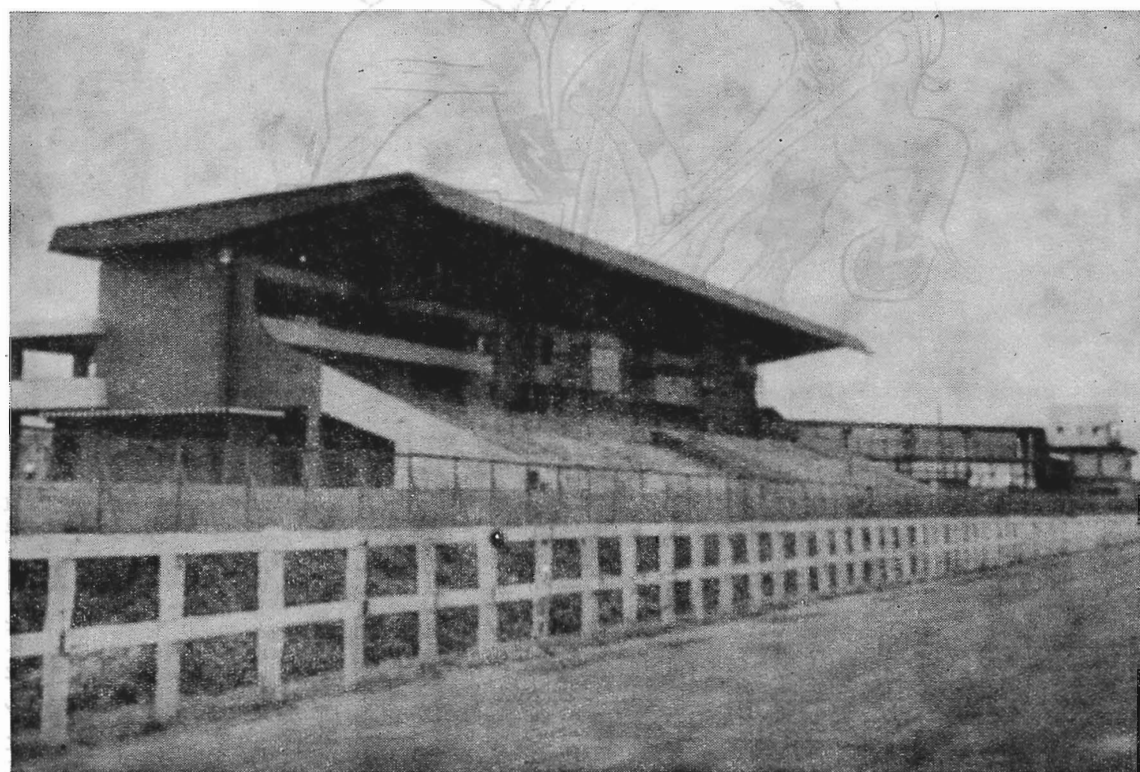
旭川競馬場 50.9完成



帯広競馬場 49.6完成



北見競馬場 49.7完成

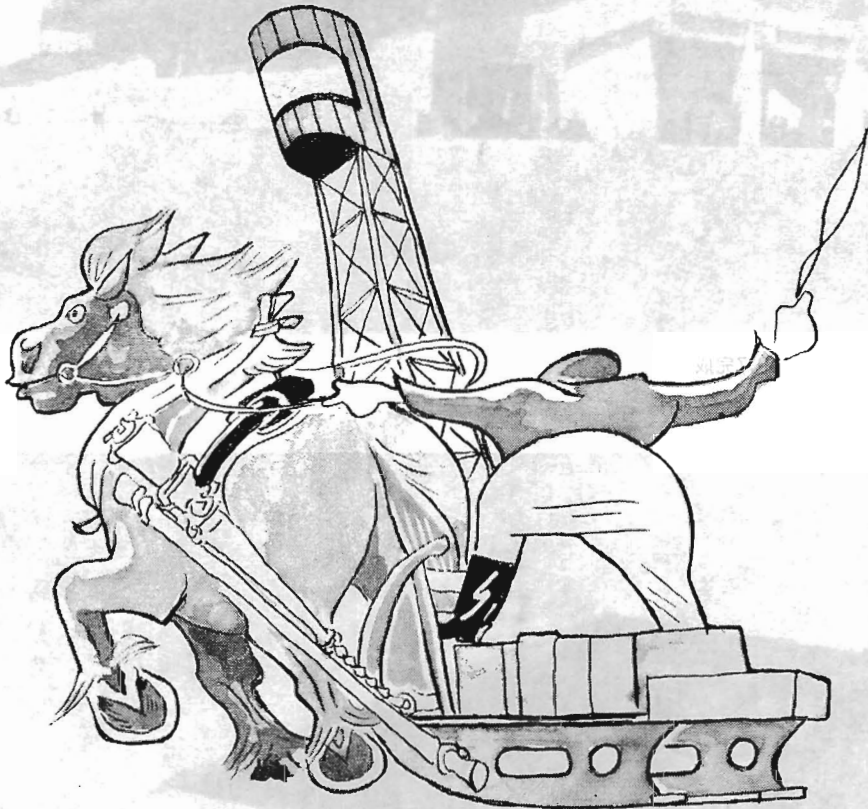


岩見沢競馬場 45.7完成

ばんえい競走とは どんな競走か (6)

内 田 靖 夫

北海道市営競馬議会参与
まんが うちだやすお



1 重量でスピードをセーブしている競走である。

輓曳の二字はどちらも「ひく」という意味である。重いものをひくレース、重いものひく力、坂を引っぱり上げる力が強いが弱いかをせり合い、早くゴールに到達することを競うレースである。

これを逆にいうと重い物で、馬の推進力をセーブしているレースなのである。だから重量を重くすると時間がかかり、軽くするとかからない。平地競走でも負担重量で、各馬の能力を調整するハンデキャップの方法があるが、ばんえいの積載重量とは全く意味が違っている。軽くすると時間がかからないといっても人間の走る早さよりおそい、人間の陸上競技では二百米(一ハロン)を二一秒位で走る。競馬の平地競走では一一秒半位、速歩競走では一七秒位(外国では一五秒)、ばんえいの最高は雪馬場の三七秒四である。

以前に馬が少なかったための馬車ウマで速歩競走をやったらハロン二九秒以内で走った。もし駈歩で走らせたら二〇秒前後で走ると思う。

ことしから使う新型そりは引木も入れて三百キロであるから騎手が乗ると三七三キロになる。そのほかに重い馬具をつけるので、それだけで軽馬場を走ったとしても、速歩のような速度にはならないだろう。つまりそれだけ速さをセーブされるのである。

ばんえいが始まった頃には余興として



世論に拍車をかけ、
綱引などの用具破損
のおそれがあるから
である。現在は強豪
力もちの決戦でも八
百キロ以上の重量で
はやらないようにし
ている。

2 二百米の直線コ
ースで六百米から
四千米のレースを
やる ばんえい

ふたつ目の理由は
ばんえい競走は積載
重量の重い軽いと、
馬場の湿度によって
著るしい変化をきた
すレースだからであ
る。

つまり積載重量と
馬場水分によって、
平地競走の四千米に
もなり八百米にもな
るのである。その変
貌ぶりは他のいかなるスピードレースも
比較にならない。

平地の八百米ともなれば人間の百米と
同じように、スタートからゴールインま
で全力で走ってしまふ。ばんえいもドシ
ャ降りて馬場水分が多いときは、よほど
重量が重い場合のほかはとまらずに、一
気にゴールまでつゝ走る。

ばんえいの最高速度は前記したように

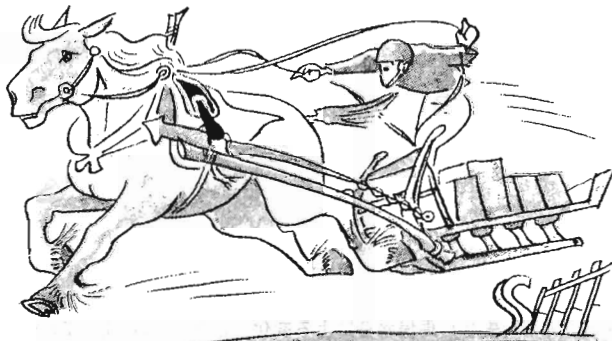
五百貫(一八五〇キロ)を積んで五十米
を引かせるズリ引き競走をやったり、千
キロ以上のせて百米引かせる特別重量競
走などをやって、年から年中二百米とい
う競走の単純さを防止するというか、変
化を持たせようとしたが、今はやってい
ない。

その理由のひとつは、そのような超高
重量ではとかく批判のある惨酷だとい

四七年岩見沢の雪降り馬場(絶えず除雪
されて走路は土だった)が三秒四とい
うのがある。このときの重量は三七〇キ
ロであった。このタイムは平地競走に換
算すると、ハロン一二秒半として約六百
米レースに相当する。平地競走は法規上
八百米以上に制限されているから、日本
にはそんな速いタイムはないが、外国に

は六百米があつて、そのレコードはアメ
リカの三三秒五となつてゐる。

3 積載重量による変化(表1)
この表は最近三年間のレースの中から
比較的タイムのかかった重賞レースをひ
き出して、その日の他のレースと比較し
てみたものである。勿論機械でないか
ら、物さしや秤ではかるように適確な教
字にはならないが
ねらいは多くの事
例をも併せてビタ
リである。



これは水分がほ
とんど同じの、同
じ日に行なわれた
レースにおいて「
重量の軽重によつ
てタイムがどのよ
うに変わるか」その
タイムから換算す
れば、その重量と
湿度では「平地競
走の何米の競走に
相当するか」を示
したものである。

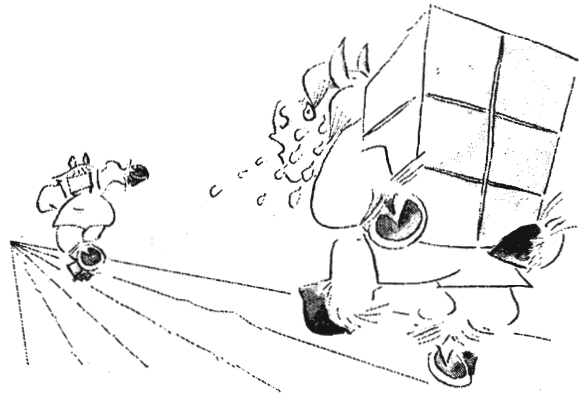
これによると四
八年旭川第三回の
地全協賞で、タカ
ラコマは馬場重で
六五〇キロ四分〇
四秒九の一着タイ
ムだが、これを平

(表1) 積載重量による変化

| 年次 | 場 | 回数 | レース名 | 水分 | 重量 | 1着馬 | 騎手 | タイム | 平地競走換算 1ハロン13秒として |
|----|---|--------|----------|-----|-----|-----------|-----|--------|----------------------|
| 48 | 旭 | 3.6.10 | 地全協賞 | 重 | 650 | タカラコマ | 尾ケセ | 4:04.9 | 3,750m |
| | | 4 | D | " | 300 | サチハナ | 木村 | 1:36.0 | 1,476 |
| | | 5 | D | " | 300 | ハクトカチ | 氏家 | 1:36.3 | 1,476 |
| | | 8 | D 特 | " | 440 | トクヨオーザ | 山田 | 2:28.0 | 1,968 |
| 49 | 旭 | 4.6.10 | 旭王冠賞 | 4.0 | 610 | ダイニミハル | 木村 | 3:21.5 | 2,800 |
| | | 6 | 4才以上 | " | 300 | リ | 金山 | 1:25.0 | 1,380 |
| | | 7 | " | " | 300 | クインハルカゼ | 夏井 | 1:33.9 | 1,444 |
| | | 9 | 4才以上特 | " | 460 | ダイニメイホウザン | 氏家 | 2:30.3 | 2,330 |
| 50 | 旭 | 2.6.10 | 旭シルバーカップ | 1.5 | 540 | ユウザン | 橋本 | 2:31.6 | 2,332 |
| | | 5 | 4才以上特 | " | 300 | ハヤト | 嶋中 | 1:29.3 | 1,372 |
| | | 9 | 4才以上特 | " | 480 | ロソ | 木村 | 2:30.9 | 2,320 |
| 50 | 帯 | 4.1.9 | 農林大臣賞 | 6.5 | 760 | トクヨオーザ | 山田 | 2:29.7 | 2,280 |
| | | 6 | " | " | 320 | イチフジ | 片平 | 55.4 | 852 |
| | | 8 | " | " | 540 | ハクリユウ | 金山 | 1:23.6 | 1,370 |

地競走に換算する
と一ハロン一三秒
として三七五〇米
のレースとなる。
現在の平地競走
でこんな長距離競
走はどこでもやっ
ていない。天皇賞
が三二〇〇米、菊
花賞は三〇〇〇
米、障害競走でも
年二回の中山大障
害四一〇〇米位で
ある。

昨年の第四回帯
広の農林大臣賞は
馬場水分六・五%
という軽馬場で行
われたが、七六〇
キロの一着馬トク
ヨオーザのタイム
は二分二九秒七、
これは平地競走二
二八〇米位のタイ
ムになる。この距
離ですら現在の平
地競走ではあまり
やっていない。五
〇年の道営では全
九三五レース中、
二千米が二回だけ
である。中央競馬
でも全国で年間二



五回位しかない。

ご覧のようにこの日第六レースで行わ
れた四才以上の平場レースでは、イチフ
ジが三二〇キロ、トクヨオーザとは四四
〇キロも軽くて、五五秒四で一着、これ
を平地に換算すると八五〇米となる。
同じ日に同じ水分でこれだけの重量差
で二三〇〇米と八五〇米の平地競走を
やったと同じ効果をあげているのであ
る。

4 馬場水分による変化 (表2)

これは五〇年の岩見沢全五回三〇〇レ
ースの中から、積載重量三〇〇キロでや
ったレースをひき出して、馬場の軽重別
にタイムを比較してみたものである。
この表でみると、水分一・五%以下の

(表2) 馬場水分による変化 積載重量300k 27レース

| 水分 | 1.5%以下 | | 4.0%以上 | | 計 | 17レース 1:580.7秒 | 10レース 650.8秒 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-----------------------|-----------------------|
| | 1:39.7 | 1:23.6 | 1:05.0 | 1:05.0 | | | |
| タイム | 1:39.6 | 1:16.4 | 1:04.4 | 1:04.4 | 1レース平均 | 92.9秒 | 65.0秒 |
| | 1:34.0 | 1:28.3 | 1:05.4 | 1:05.4 | 最低 | 1:16.4 | 57.5 |
| | 1:40.2 | 1:45.0 | 1:06.5 | 1:06.5 | 最高 | 1:45.0 | 1:08.4 |
| | 1:34.5 | 1:25.3 | 1:05.5 | 1:05.5 | 1レース平均 | 1:32.9 | 1:05.0 |
| | 1:23.4 | 1:33.8 | 57.5 | 57.5 | 相当する | 道営1400m 帯広レコー ド | 道営1000m 旭川レコー ド |
| | 1:21.2 | 1:22.0 | 1:08.9 | 1:08.9 | | | |
| | 1:27.3 | | 1:00.0 | 1:00.0 | 平地競走 | 1:31.0と稍 同じ | 1:06.0と稍 同じ |
| | 1:31.3 | | 58.3 | 58.3 | | | |
| | 1:25.1 | | 1:18.4 | 1:18.4 | | | |

重馬場でやった一七レースの平均タイム
は一分三二秒九で、これは道営平地競走
のレコード帯広の一四〇〇米一分三一秒
とやや同じである。

水分四・〇%以上で行なわれた一〇レ
ースの平均タイムは一分〇五秒となり、
これは道営平地競走千米のレコード旭川
の一分〇六秒にはほぼ同じ。

この表は軽(水分四・〇%)重(水分
一・五%)の馬場差によってタイムの差
が、平均で二七秒九あった、というもの
であるが、競馬場が変わったり、炎天が長

く続いたりすると、同じ三百キロでも二分位かかることもあり、最高最低の差がもっとひろく場合がある。

5 重量と水分があやなす変化(表3)

更に表の3によって研究してみよう。これは四九年に岩見沢の馬場が一番乾いた日、第二回六日目七月八日の水分一〇%のタイムと、みぞれが降りつづいて水分が最高の七・五%から一〇・〇%となった第四回五日目十一月十日のタイムとを比較してみたものである。

この両日に同じ重量でやったレースは四五才の二九〇だけだが、水分一%一分二六秒七七に対し、水分七・五%では五〇

秒四、その差は三六秒三である。一番重いレース、一%の日は四六〇キロ二分二一秒四だが、七・五%の軽馬場のほうは六八〇キロで僅か一分四六秒二、二二〇キロも重いのに、逆に三五秒二も早いのである(表4)

馬場が重いと、重量の重い軽いはひどくこたえるが馬場が軽いとそれほど影響はない。



(表3) 49年度岩見沢軽重馬場の比較

| 第2回~6日目 水分 1.0% | | | | 第4回 5日目 水分 7.5% | | | | | | | | |
|-----------------|------|--------|----------|-----------------|----|-------|----------|--------|-------|--------|----|-------|
| レース | 重量 | タイム | 10K当りタイム | レース | 重量 | タイム | 10K当りタイム | | | | | |
| 1 | 3 | 240K | 1:52.4 | 4.64秒 | 1 | 3 | 290 | 1:04.6 | 2.48秒 | | | |
| 2 | 3 | 240 | 1:53.0 | 4.60 | 2 | 3 | 260K | 59.0 | 2.03 | | | |
| 3 | 4, 5 | 260 | 1:26.7 | 3.23 | 3 | 4, 5 | 290 | 50.4 | 1.74 | | | |
| 4 | 6 | 290 | 1:27.9 | 3.03 | 4 | 6 | 440 | 58.8 | 1.34 | | | |
| 5 | 6 | 340 | 1:54.3 | 3.35 | 5 | 6 | 300 | 43.4 | 1.45 | | | |
| 6 | 4 | 390 | 2:32.7 | 3.91 | 6 | 6 | 320 | 48.6 | 1.52 | | | |
| 7 | 6 | 430 | 2:33.2 | 3.56 | 7 | 6 | 440 | 59.0 | 1.32 | | | |
| 8 | 3 | 380 | 2:19.8 | 3.68 | 8 | 3 | 570 | 1:22.6 | 1.45 | | | |
| 9 | 6 | 460 | 2:21.4 | 3.07 | 9 | 地全 | 680 | 1:46.2 | 1.56 | | | |
| 10 | 6 | 380 | 1:49.2 | 2.87 | 10 | 6 | 530 | 1:20.8 | 1.52 | | | |
| | 計 | 3,410K | 計 | 1210.6秒 | 平均 | 3.55秒 | 計 | 4,120K | 計 | 653.4秒 | 平均 | 1.58秒 |

水分一%の日の二九〇キロ一分二七秒九と、四六〇キロ二分二一秒四の差は重量で一七〇キロ、タイムは五三秒五であるが水分七・五%では二九〇キロ五四秒四と四四〇キロ五九秒〇の差は重量で一五〇キロの差があるのにタイムの差は僅か八秒六でしかない。

このように馬場が軽くなれば重量負担の差は接近してしまおうのである。

6 タイムは競馬場によって差がある

四九年から各競馬場は一斉に第二障害を廃止したが、その理由は前号でも説明したように、この区間は馬にラクをさせて

(表4) 馬場軽重と平地換算距離

| 水分 | 1.0% | | 7.5% | |
|----------------|--------------------|--------|------------------|--------|
| | 重量 | タイム | 重量 | タイム |
| 同重量のレース | 290K | 1:27.9 | 290K | 50.4 |
| 道営平地レコード | 旭川1350米(1:27.6)と同じ | | 旭川 800米(50.4)と同じ | |
| ヤヤ同重量レース | 430K | 2:33.2 | 440K | 2:33.2 |
| ハロン12秒5とし平地に換算 | 2,448米 | | 944米 | |

岩見沢の第二障害は上り斜面がゆるやかである。「そり」はドッコイから引っぱるので、馬車に比較して低いところから重い物を引っぱるようになり、下方へ押さえつけられるようになる。特に登坂のときはこの力関係が増大するので、登りの斜面はゆるやかなほうがいい。

帯広の第二障害は底辺が短かく、それだけ斜面が急になるワケだが、高さがないので馬には苦勞をかけない。以上のように各競馬場は違っているのでタイムも変わってくる。

平地競走でも競馬場によってタイムは違っている。表5、道管競馬の能力検査基準を見ても各競馬場によって相違しているが、これは競馬場の形状、走路の状態が違うからであろう。

競馬場個々に特徴があるのは外国や、中央競馬になるともっと大きい。中山はゴールへの百米は36分の1勾配高低差二七三の上り坂になっていたり、京都第三コーナー前の五米もあるバンケットは有名、そのほかの競馬場みなそれぞれ特徴がある。札幌は砂馬場、函館は芝生である。

障害コースとなると全く各場毎に特徴がある。ばんえい競走も障害レースのひとつであるが、レース編成上や、審判技術上、ファンの勝馬推理にはナルベク同じ馬場であるほうが、都合がいいのでスタート障害間、ゴール間の距離や、障害の形状などは将来統一しようということになっている。

(49年道管競馬)

(表5) 平地競走レコード

| 距離 | 札幌 | 岩見沢 | 旭川 | 帯広 | 最高タイム ハロン | 能力検査基準タイム |
|------|--------|--------|--------|--------|--------------|-----------|
| 800 | | 49.4 | 50.4 | 49.5 | 12.35 | 札幌 1200m |
| 900 | | 55.5 | | 55.5 | 12.22 | 1:20.0 |
| 1000 | 1:01.5 | | 1:06.0 | 1:02.6 | 12.30 | (13.33) |
| 1200 | 1:12.9 | | 1:17.9 | 1:17.5 | 12.15 | 岩見沢 1300m |
| 1300 | | 1:24.2 | | | 12.95 | 1:28.0 |
| 1350 | | | 1:27.6 | | 12.97 | (13.53) |
| 1400 | 1:28.0 | 1:28.5 | | 1:31.0 | 12.57 | 帯広 1100m |
| 1600 | | | 1:47.3 | 1:41.2 | 12.65 | 1:14.0 |
| 1800 | 1:52.2 | | 1:56.2 | 1:54.4 | 12.45 | (13.45) |
| 1900 | | 2:00.2 | | | 12.63 | 函館 1000m |
| 2000 | 2:06.7 | 2:12.8 | | | 12.67 | 1:06.0 |
| | | | | | | (13.20) |

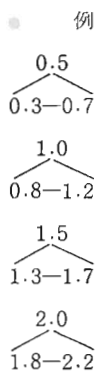
それでも砂の質が違ったり微妙な点になると各場毎に特徴がでてくるのはやむをえないと思われる。

7 馬場水分の表示と計測の方法

平地競走に比較してばんえいの馬場水分は競走能力に極めて大きな影響を及ぼすので、単に重いか軽いかでは感じず、肉眼判定では正確でない。四八年水分計を購入して一年間試用した上、翌四九年からこれによる測定水分を表示することになった。

表示は0・5きざみに、二捨三入式に

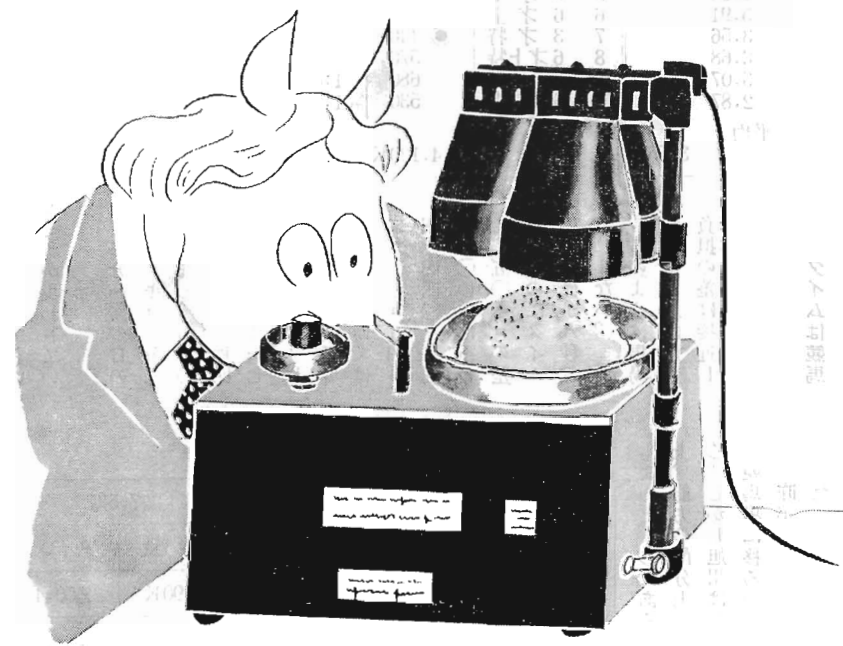
0・5%ならば03から07まで、1%ならば08から12までといった具合に次の通り揭示している。



目下の計測法は第二障害前五米の地点で、3、5、7のミコースを選び、五セ

ンチの深さから白瓦の砂を採取して、三台の水分計で測定し、その平均値で表示することになっている。

このような計器でやれば、肉眼による目測とは比較にならないほど正確な測定ができるのだが、しばしば矛盾する揭示やタイムも出る。例えば朝から晴天で見ただ目にはすっかり馬場も乾いているのに、表示される



水分はワリと多かつたり、雨が降っているのにそれほど水分がなかつたりする。また同じ水分なのに重いほうのタイムが早かつたり、水分が無いのに逆にタイムが早かつたりすることがままある。これは砂採取の方法が十能型小スコップを使用するという精密さを欠くくらいもあるが、それはさしたる影響でない。晴天つづきでも撒水したあと

などは、水分が残っているし、その浸透度、蒸発消失度、気温、ハローかけの後、砂の厚い薄い、水引きのよしあしなど、見た目のようにはいかな場合もあるのである。ともかく敏感な計器は常に、正直に事実を反応していることには間違いない。

8 みればみるほど味がある

昨年北見の駅で或るファンの方から、農家のご主人らしいファンを紹介された、この方はどだい馬が好きなんだそうだが、目を細めて「ばんえいはやればやるほど味がある。私はばんえい競馬となるともうデットとしていらなくて困る」ばんえいのファンになってからまだ二年、一年間に二〇日位しか見れないのだけれど、いかにも善良そうなこのファンのお話をきいていると、私は感動めいたものさえ湧いてくるのであった。なに「味がある」のか、長い話もできなくてつい聞きもしたが、ナルホドみればみるほど、検討すればするほど興味があ

る。水分や重量でレースが変化する上に、平地と違ってクラスが上がる毎に重量が加算される仕組みも、今後の問題として興味がある。

これは祭典ばん馬の名残りでないかと思うのだが、祭典ばん馬は祭典や記念行事に以前二日間位やった例もある由だが、せいぜい一日だけの開催であるから、馬体検査委員が集って、馬格や他の祭典ばん馬の成績などを勘案して、甲乙

丙丁をきめ、力くらべに重点をおいてきそい合う。最上級は二〇〇貫から二四〇貫(七五〇Kから九〇〇K) 最下級は百四十貫(五二五K)位で、各クラスに負担重量の段階をつけてやる、一日だけの開催ではそのやり方が一番良い、賞金よりも名譽と楽しさが目的であるからだ。

公式ばんえいの始まった頃は、この習慣をそのままばんえいに取入れた、尤も最初昭和四四年にやった公営ばんえい競馬は旭川と帯広で各二日間計四日間しかやらず、翌二五年は旭川が三日帯広二日の五日間、市営競馬の始まった二八年は、旭川六日各市四日に小樽の二日を入れて計二〇日間、そのししの平地競馬は六八日間であったから、ばんえいはトテもプロスポーツなどといえたものではなかった。そのように多分にお祭りの要素があったから祭典ばん馬の仕組を取入れてやってもさしたる支障はなかった。

肉眼判定による格付区分の不明確から、体重制と変り、その不合理から取得賞金別となった現在のばんえいでは、概ね能力別区分が理想に近いところまで進んでいる。これは一日や二日しかやらない祭典ばん馬では不可能なことで、年間にやるレースが多ければ多いほど理想的にいくのである。区分されていく能力群の精度が高くなっていく。

強い馬は昇格して各クラスに分類され、弱い馬は下級にとどまる。昨年は全十七回一〇二日一〇三八レースが行なわ

人馬一体 馬場に練りひろげる迫熱のレース

馬 ばん 深 美

とき 9月4日 (小雨決行) ところ 美深町総合畜産センター(川西)
(午前7時 馬体審査・8時30分 魂祭・9時発馬)



プログラム

| | | |
|---------------|-------|---------|
| 1. 黒 耕C | 300kg | 200m |
| 2. 黒 耕B | 375kg | 200m |
| 3. 農 耕A | 450kg | 200m |
| 4. 二才馬 (町内) | 120kg | 200m |
| 5. 二才馬 (町外) | 225kg | 200m |
| 6. 三才馬B | 375kg | 200m |
| 7. 三才馬A | 450kg | 200m |
| 8. 四才馬 | 525kg | 200m |
| 9. 三流馬 | 525kg | 200m |
| 10. 二流馬 | 600kg | 200m |
| 11. 一流馬 | 675kg | 200m |
| 12. 農耕重賞曳(町内) | 750kg | 200m |
| 13. 特流馬 | 825kg | 200m |
| 14. 重賞曳 | 900kg | 200m |
| 15. 部隊対抗リレー | 150kg | 1, 200m |

※ 飲食コーナー、その他余興を用意しております

れている。

出走馬は十年前とは全く一変して九百キロ台の重大ばん馬が中心となっていることが示すように、かつてTB級がいた頃のような上下級の能力差はなくなった。九年前本会が発足した頃は、甲乙TATBの五格付に区分され、その一格付に2クラス以上の区分があり、1クラス上げる毎に二五キロ加算、一番下級の

TB2は四五〇キロ(木そりは四六一年型鉄そりにくらべ百キロ軽いので実際には三五〇キロ)一番上は甲Aの八〇〇キロ、その差は三五〇キロもあった。その頃の上下級の強弱の差は体重減量という迷彩のため一寸判らない。その頃からそんなに差はないとみて、賞金区分制を検討し始めたのだが、ともかくそれだけの差があることになっていった。

その時代からみれば現在ではクラスの上る毎に加算される重量は二〇キロで、六才以上の最下級一五〇万円以下クラスの重量は二六〇キロ(そりが四〇キロ重くなるので昨年に比し四〇キロ減)最上級九〇〇万円以上のオープンクラスで三六〇キロ、その差は一〇〇キロである。九年間のうちにこれだけ接近してきた。重量によって平地の三千米も八百米もやれるばんえいの特色を生かして、重量の重い特別競走をやれば昇格する毎に、重量を重くする習慣は再検討してもいいよう

に思う。

先頭のミュンヘンオリンピックで行なわれた力くらべの競技、重量挙げでは最下級フライ級から最上級のスーパーヘビー級まで、九段階に分れてその力を競っているが、選手は体重で分けられていても一級上る毎に何キロ加算するということは、規定されていないようである。

ただ上級になるに従って力が強くなるので、各級毎に下限をきめておいてそこから競技が始まるのである。体重によって級がきめられているから昇格することはない。そのクラスの記録に向って勝負するのである。参考のためミュンヘンの記録を紹介するとフライ級は三三七・五キロ、スーパーヘビー級は六四〇・〇キロ

その差は三〇二・五キロであった。
9 とまるレースに心配あるか

本誌創刊以来、毎号この問題についてふれてきたが、識者の中にはまだ根強い不安感があるようなので、又本号でも取上げて検討してみた。

ばんえいはその理解が深まればまだまだ盛んになる。その鍵を握るのは審判技術の確立だと思う。なぜならば、速歩競走の廃止は審判の行きつまりであったことが、それをよく物語っている。

ばんえいはとまってもよいレース、とまるということは平地の「ひかえる、ためる、おさえる」と同じであって、平地はとまらずに走りながらやっており、ばんえいは「とまる」ということで、それをやっているのである。

中距離平地競走では騎手は或る区間、馬をためて無理をしないでいく、長距離ともなれば尚更である。人間でも距離によって走り方を変えていくのは今更いうまでもない、五千米や一万米マラソンでスタートからゴールまで全力で飛ばしていく選手はいない。

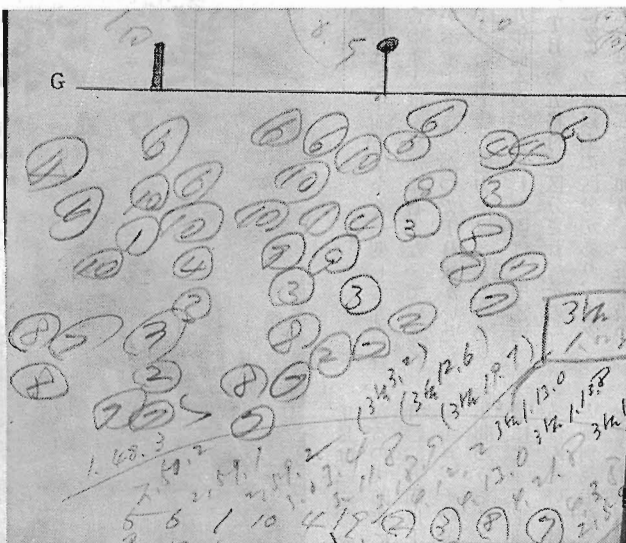
ばんえいも重量や水分に応じて、その馱法を変えていくのは当然なことである。このことに自信がもてるか、もてないかで、ばんえいの「とまるレース」に対する疑問や不安が、吹き飛ばさか否か、かかっている。

10 平坦コースにおけるストップ
表6は昨年第一回北見ばんえい競馬第三日目(八月三十一日)第八レース全公営賞三才オープンの審判ノートの一部である。出走馬は一〇頭、〇の中に数字が書いてあるのは馬の番号で、その馬のストップした場所を示しているのである。この番号を数えていけばその馬が大体どの場所まで何回ストップしたかが判る。

その上部にある♀印は右が白銀灯、左が電光掲示で、紙面の右の端が第二障害、左端がゴールということになる、つまりこれは第二障害からゴールまでの各馬のストップ状況を記録したものである。

この日の馬場水分は〇・三%の重馬場、各馬はストップ又ストップ、進んではとまり、とまっては進む、そのたびにスタンドの大かん声は湧きに湧いた。ファンは自分の買った馬がとまると、

(表6) 或る審判ノート No. 1 北見3日目8レース



前でとめてから、こえるまでの間の」の停止である、実際には「息を入れて休ませている駐立(静止状態)の間」と、騎手が「発進の扶助を始めて、前進降坂するまでの間」に区別される。この「追い方始め」から、一腰でこえていく馬と、進んだり、よじれたり、ふんばったり、足をばたつかせたりして一向に進まない馬とがある。これは滞留ともいうような状態で、馬は動いてはいるが前進しない、或は少し進むだけ

ワーツと気をもむ、相手馬がとまるとワーツと歓声をあげる。そこへまた別の馬がでてくる、とまる、出る、又とまる。騎手の激しい動き、呼吸ははずみ汗は滝のように肩で飛び散る、馬の足が重くなる、速度が落ちる、気をもむファンの声がスタンドをゆるがす、馬はのびる、とまる、一瞬の息入れて生気をとり戻す、歩度がきびきびしてくる。接戦接戦、また足が重くなって首がのびてきた。まさしくばんえいの妙味絶頂というところ、この熱戦に場内の不安は一つもない。

11 障害をこえるときの停止

障害をこえるときの停止とは、「障害

である。

いわゆる停止時間とは、計時を正確につかむため駐立時間と滞留している間を合せた時間、つまりストップしてから障害をこえるまでの時間としている。

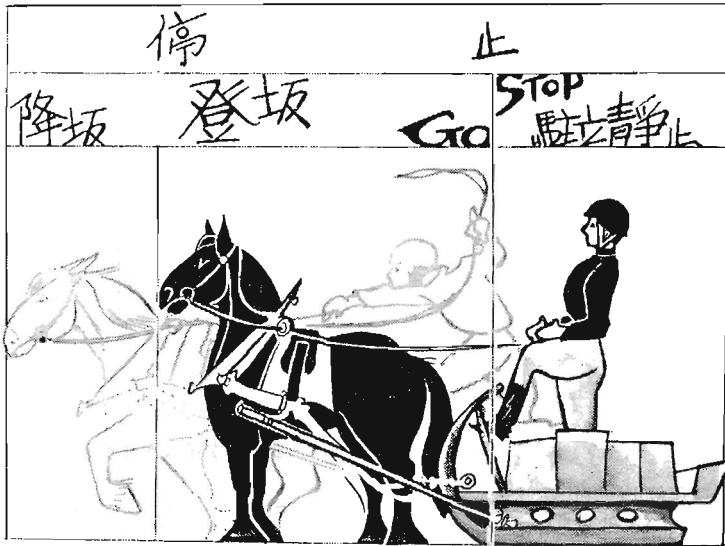
表7、8は昨年北見、帯広第三、四回二十四日間に第二障害で停止した馬の、停止タイムを計測したものである。

◎ 二四〇レースのうち軽馬場のため停止しなかったレースが四〇あった。

◎ 停止したレースのうち

計時したレースは一九〇である。

◎ 第二障害で最後尾になった馬を対象としている。但し二レースは先頭馬。



(表7) 昭和50年第2障害停止時間調 北見帯広 第3,4回 87レース

馬場重

| 回日次 | 北3~1 | 北3~2 | 北3~3 | 北3~4 | 北3~5 | 北3~6 | 北4~1 | 北4~2 | 帯3~1 | 帯3~2 |
|--------|--------|--------------|--------------|--------|---------|--------------|--------------|--------|--------------|--------------|
| 水分 | 1.0% | 1.1% 1.2% | 1.0% 1.4% | 1.2% | 1.2% | 1.1% 1.2% | 1.0% 1.1% | 0.9% | 2.1% 2.8% | 2.1% 2.8% |
| 1 | 24.6 | 11.0 | 27.0 | 37.7 | 24.5 | 17.0 | 30.9 | 20.9 | 17.2 | 8.2 |
| 2 | 32.2 | 19.5 | 31.3 | 38.0 | 35.2 | 28.0 | 33.1 | 35.1 | 22.7 | 13.4 |
| 3 | 44.0 | 32.2 | 35.6 | 42.5 | 38.6 | 37.0 | 33.7 | 34.9 | 27.5 | 21.7 |
| 4 | 47.3 | 32.8 | 38.6 | 49.0 | 41.1 | 41.0 | 36.7 | 35.6 | 28.2 | 27.7 |
| 5 | 50.7 | 41.5 | 45.6 | 51.8 | 45.1 | 44.1 | 38.0 | 36.4 | 28.6 | 41.0 |
| 6 | 54.5 | 45.4 | 51.6 | 52.5 | 57.1 | 48.2 | 48.2 | 52.6 | 31.7 | 41.6 |
| 7 | 56.1 | 55.8 | 1:08.0 | 52.8 | 59.4 | 51.2 | 51.6 | 52.8 | 42.3 | 47.3 |
| 8 | 1:02.2 | 1:08.1 | | 1:01.8 | 1:18.6 | 1:29.1 | 59.0 | 57.1 | 49.9 | 52.8 |
| 9 | 1:18.0 | 1:09.4 | | 1:02.8 | 除3:11.2 | 1:57.8 | 1:04.6 | 1:01.0 | 50.1 | 55.2 |
| 10 | 1:22.8 | | | 1:16.0 | 3:46.8 | | | 1:08.2 | 56.5 | |
| 計(秒) | 532.8 | 375.7 | 297.7 | 344.9 | 379.6 | 473.4 | 395.8 | 452.8 | 354.7 | 343.2 |
| 1レース平均 | 53.2 | 41.7 | 42.5 | 52.5 | 47.5 | 52.6 | 45.0 | 45.3 | 35.5 | 38.1 |

(表8) 昭和50年第2障害停止時間調 北見帯広 第3,4回 93レース

馬場軽

| 回日次 | 北4~3 | 北4~4 | 北4~5 | 北4~6 | 帯3~3 | 帯3~4 | 帯3~5 | 帯3~6 | 帯4~1 | 帯4~2 | 帯4~3 | 帯4~4 | 帯4~5 | 帯4~6 |
|--------|--------------|--------------|--------------|-------|--------------|--------------|--------------|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 水分 | 1.6% 2.5% | 2.0% 2.3% | 1.7% 2.0% | 1.5% | 4.3% 5.0% | 3.9% 4.4% | 4.4% 6.9% | 6.4% | 5.9% 6.5% | 5.0% 5.2% | 3.7% 3.9% | 3.3% 3.4% | 5.0% 5.4% | 3.6% 4.9% |
| 1 | 11.6 | 19.0 | 20.7 | 17.7 | 9.7 | 11.5 | 10.4 | 8.7 | 11.8 | 11.2 | 5.7 | 8.8 | 8.7 | 11.6 |
| 2 | 14.0 | 19.2 | 25.4 | 25.1 | 12.1 | 14.5 | 13.4 | 10.7 | 15.8 | 25.0 | 8.6 | 16.4 | 17.1 | 13.5 |
| 3 | 14.9 | 24.1 | 33.0 | 26.4 | 16.8 | 17.0 | 15.8 | 25.2 | 17.0 | 25.4 | 9.2 | 20.0 | 17.2 | 14.1 |
| 4 | 18.6 | 25.1 | 41.4 | 27.5 | 24.5 | 17.6 | 18.0 | 37.6 | 24.4 | 30.0 | 11.2 | 23.9 | 18.8 | 15.1 |
| 5 | 25.9 | 34.8 | 54.1 | 35.3 | 32.2 | 23.6 | 21.3 | 45.6 | | 52.4 | 12.4 | 24.2 | 30.0 | 16.4 |
| 6 | 36.8 | 38.2 | 1:04.6 | 35.7 | | 24.1 | 1:25.4 | | | | 14.1 | 35.5 | 41.0 | 25.6 |
| 7 | 42.7 | 39.4 | 1:06.5 | 36.8 | | 33.9 | | | | | 14.4 | 37.3 | | 59.6 |
| 8 | 49.0 | 58.3 | | | | 1:09.4 | | | | | 14.5 | 38.0 | | |
| 9 | 1:17.8 | 除2:44.0 | | | | 1:18.2 | | | | | 19.8 | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | 31.5 | | | |
| 計(秒) | 261.3 | 258.1 | 305.7 | 204.5 | 95.3 | 289.8 | 164.4 | 127.8 | 69.0 | 144.0 | 141.4 | 204.1 | 132.8 | 155.9 |
| 1レース平均 | 32.3 | 32.3 | 43.5 | 29.2 | 29.1 | 32.2 | 27.4 | 25.6 | 17.2 | 28.8 | 14.1 | 25.5 | 22.1 | 22.3 |

(表9) タイム区別競走別馬場別頭数調

昭和50年

| 馬場 | 500K入及500K以上重賞特別レース | | 490以下特別競走 | | 平場競走 | | 計 | |
|-------|---------------------|----|-----------|----|------|----|-----|----|
| | 重 | 軽 | 重 | 軽 | 重 | 軽 | 重 | 軽 |
| 10秒未満 | 37頭 | 5頭 | 28頭 | 2頭 | 6頭 | 2頭 | 71頭 | 9頭 |
| 10秒以上 | 9 | 2 | 13 | | | | 22 | 2 |
| 20 " | 7 | 1 | 7 | | 2 | | 16 | 1 |
| 30 " | 1 | | | | | | 1 | |
| 40 " | 1 | | | | | | 1 | |
| 計 | 55 | 8 | 48 | 2 | 8 | 2 | 111 | 12 |
| 合計 | 63 | | 50 | | 10 | | 123 | |

◎ タイムのかからない順に、上の方から記載している。レース順序ではない。
 ◎ 他に比し、かけ離れているタイム(二分以上)は合計から除いた。
 表7は重馬場、表8は軽馬場である。
 軽馬場の計測数が少ないのは、とまらずに障害をこえたレースが多かったからである。
 表9は昨年第一障害で停止した馬を、タイム区別馬場状況別に調べた表である。

(表11) タイム区別

昭和50年第1,2障害停止頭数比較

北見帯広 第3,4回 190レース

| 障害馬場 | 第2障害 | | 第1障害 | |
|--------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| | 重 北帯 0.9~1.4 1.8~2.8 | 軽 北帯 1.6~2.5 3.3~6.9 | 重 北見 1.4以下 その他2.9 | 軽 北見 1.5以上 その他3.0 |
| 10秒未満 | 1 | 7 | 71 | 9 |
| 10秒以上 | 5 | 37 | 22 | 2 |
| 20 " | 11 | 20 | 16 | 1 |
| 30 " | 21 | 17 | 1 | 1 |
| 40 " | 18 | 5 | 1 | |
| 50 " | 20 | 4 | | |
| 1:00 " | 10 | 3 | | |
| 1:10 " | 2 | 2 | | |
| 1:20 " | 2 | 1 | | |
| 1:30 " | 1 | 1 | | |
| 2:00 " | | | | |
| 2:30 " | | 1 | | |
| 3:00 " | 2 | | | |
| 計 | 93 | 97 | 111 | 12 |

(表10) タイム区別頭数調

昭和50年

| タイム区分 | 500K入500上重賞特別 | 490K以下特別 | 平場 | 計 |
|-------|---------------|----------|----|-----|
| 4秒未満 | 24頭 | 13頭 | 4頭 | 41頭 |
| 4秒以上 | 19 | 17 | 3 | 39 |
| 10 " | 11 | 13 | | 24 |
| 20 " | 7 | 6 | 2 | 15 |
| 30 " | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 40 " | 1 | | | 1 |
| 計 | 63 | 50 | 10 | 123 |

(表12) 昭和50年馬場別第1,2障害

一頭平均停止タイム比較

| 障害馬場 | 第2障害(2B) | | 第1障害(1B) | |
|-----------|-----------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | 重 | 軽 | 重 | 軽 |
| 調査対象 | 日数 競走数 頭数 | 10日 85レース 85頭 | 14日 92レース 92頭 | 50日 9レース 107頭 |
| 停止タイム | 最高 最低 | 8.2秒 1:57.8 | 5.7秒 1:25.4 | 1.4秒 49.0 |
| 停止タイムの計 | 3950.6秒 | 2584.1秒 | 1063.0秒 | 122.0秒 |
| 1頭平均停止タイム | 46.4秒 | 27.8秒 | 9.9秒 | 7.6秒 |
| 摘要 | 2分以上3レースを除く | | | |

表10は一〇秒以下のタイムを入れたタイム区別頭数である。
 表11は一〇秒毎にタイムを区分(一分三〇秒以上は三〇秒毎)し、第一障害と第二障害の停止タイムを比較してみた表である。
 平場競走では第一障害停止を禁止(四秒以上)されているが、一〇頭がストップしている。
 第一障害で停止を認められている重賞特別競走は年間二七七レースが行なわれたが、その出走頭数は二三五八頭、停止頭数は一三三頭であった。これは出走頭数の四・七九%である。
 第二障害停止は全レースに認められているが、年間一〇三八レースの推定出走頭数は一レース平均七、八頭として計算すれば八〇九六頭となり、その約六〇%四八〇〇頭以上が停止しているものと考えられる。
 表12は各馬場停止タイムを総合計し、その一頭当たり平均タイムを算出して、第一、第二障害の停止タイムを比較してみたものである。これによればスタート後間もないスタミナのある第一障害では第二障害の約五分の一程度の停止タイムと思われる。
 第一障害と第二障害の停止は内容において若干の相違があり、第一障害の駐立停止時間は特別に重い馬場重量でない限り、ゼロかせいぜい一秒前後であるのに対し、第二障害の駐立所要タイムは三秒

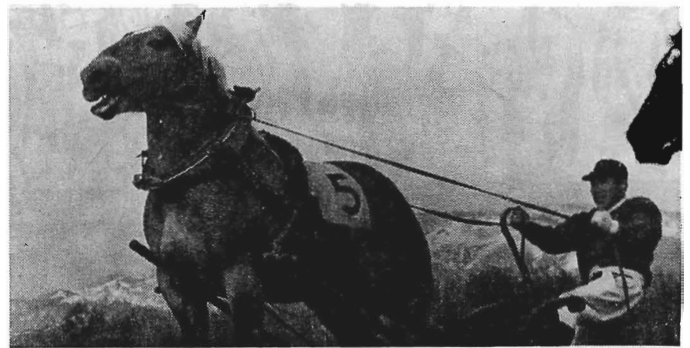
ないし五、六秒が多い。昭和四十六年、四十七年の二年間に、一、二四五レースについて調査した際は全体の七二%が、三秒から九秒であったが、第二障害が無くなり、重量が軽くなった現在ではグツと短縮している。

全レースストップを認められている第二障害と、特別重量競走のみに認められている第一障害の停止タイムを比較してみると、ひとしくストップを認められていながら、第二障害では出走頭数の約六〇%以上が停止したものと推定され、第一障害では僅か四・八%しか停止していない。

もしこの停止許容の好機を利用して、ためにしようとする者があればこの停止率は問題にならないほど高いに違いない。追うぎょ法にも不調和なみだれが現われるであらう。

厩舎側とは「とまる」ことについて、実施条例の規定以外に次のような約束がなされている。

- 1 三着馬がゴールインしてから一分以上おそくならないこと。
- 2 平場競走では第一障害でとまらないこと（四秒以上、特別競走でも停止時間を長くかけないこと）
- 3 平場競走では第二障害前以外で、騎手の意志による停止をしないこと。
- 4 スピードがあるのに突然とまって、前進しないくせのないこと。
- 5 走る毎にタイムが大きく変わらないこと。



第2障害の一寸引き（貨車びき）ぎょ法

これは平地競走にくらべて極めて厳しいルールで、これが守れなかった馬は休んで調教しなおす約束になっている。

「とまるレースに心配はない」

その自信があるかないかによって、将来のばんえいに期待してよいか、否かがきまると思う。ばんえいに対する愛情、ばんえい隆盛への努力と情熱は、その信念の上に立っている。少々気ばりすぎたが私はそんなふうに考えている。

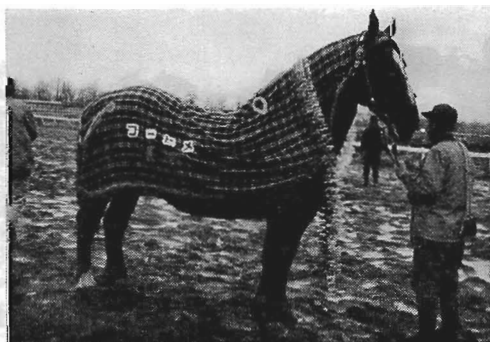
（第二障害停止の調査は対象が少なく資料としてはいささか弱い）

昭和50年度引退馬

| 年度 | マイルキング 収得賞金額 | 円 |
|----|-----------------|---|
| 41 | 105,500 | |
| 42 | 137,500 | |
| 43 | 288,000 | |
| 44 | 562,500 | |
| 45 | 869,000 | |
| 46 | 1,328,500 | |
| 47 | 1,512,000 | |
| 48 | 1,018,000 | |
| 49 | 1,780,000 | |
| 50 | 1,158,000 | |
| 計 | 8,759,000 | |



ミサイルキング号



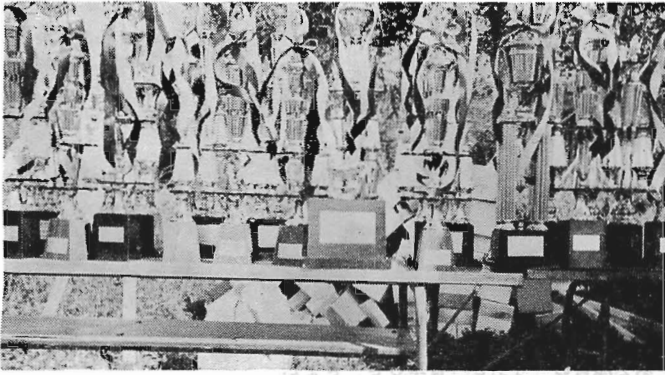
コーヒメ号

| 年度 | コウヒメ 収得賞金額 | 円 |
|----|---------------|---|
| 40 | 9,000 | |
| 41 | — | |
| 42 | 35,000 | |
| 43 | 125,500 | |
| 44 | 112,500 | |
| 45 | — | |
| 46 | 245,000 | |
| 47 | 274,000 | |
| 48 | 245,000 | |
| 49 | 423,000 | |
| 50 | 200,000 | |
| 計 | 1,669,000 | |

各地の祭典ばん馬

ねえちゃん かあちゃん頑張れ

楽しかった足寄の婦人レース



9. 15 足寄町家畜祭ばんえい大会

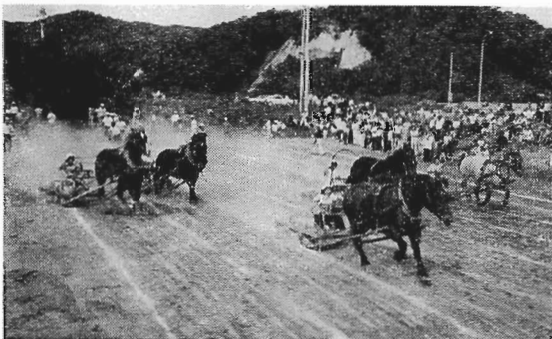
本会の祭典ばん馬保存奨励事業は、本年で四年目に入る、ささやかな副賞贈与という事業だが、毎年十五、六の町村から交付希望がある。
なかには三十年四十年の歴史をもち、祭典ばん馬の伝統を誇っている町村もある、この素朴な郷土の行事は本道開拓につくした人馬の生活と親和を現在に伝えるものとして、毎年新聞、テレビ、ラジオにも取り上げられている、いかにも北海道らしい、土の香が溢れるほほ笑ましい郷土農民のレクレーションである。
今回は昨年本会の副賞を贈った町村の

指導してやったのだが、馬のスピードに合わせて気合がかかり、しまいには立って追いまわるといふ、男顔負けの迫力に、ヤンヤの拍手喝采、熱戦が展開した。
農村女性のたくましさ、無邪気な明るさ、素直な馬との呼吸が合って、なんとも心あたたまる楽しい祭典ばん馬だ。



うち、写真を送って下さったところについて紹介する。
この中で足寄、鹿追、阿寒の競走番組に婦人レースを編入したのは庄巻、

これは足寄町の
婦人レース……



足寄の婦人レース



足寄

深緑に被われた大塚山を背景に、多忙の農事から開放された一日の行楽が目に見えるように伝わってくる。

◎ 第八回 足寄町家畜祭

輓曳大会

- 1 開催日 九月一五日
- 2 場所 同町中央お祭り広場
- 3 出走頭数 六五頭
- 4 競走数 二七レース
- 5 入場者数 二五〇〇名



手綱さばきも鮮やかに

◎ おけと夏まつり

第二回ばん馬競技大会

- 1 七月六日
- 2 置戸町若松 特設会場
- 3 七六頭
- 4 二九レース
- 5 二〇〇〇名
- 6 井出清澄氏



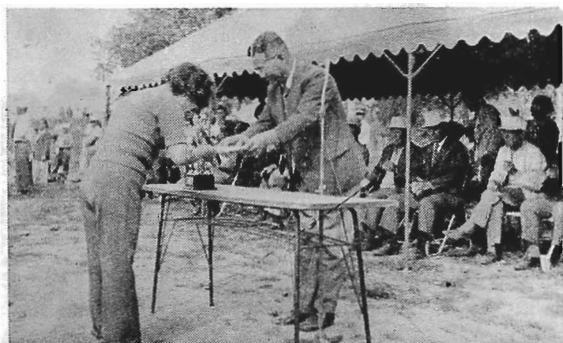
◎ 第二五回 池田町輓馬大会

競馬大会

- 1 六月一五日
- 2 池田町字清見特設馬場
- 3 七八頭
- 4 二〇レース
- 5 一六〇〇名
- 6 牧野 一氏
- 7 ミスマキノ号 重半血 雌一六才

- 6 本会副賞授賞者 永井 満氏
- 7 授賞馬 修栄号 重半血 雌八才

- 7 ヒメボタン号 重半血 雌七才



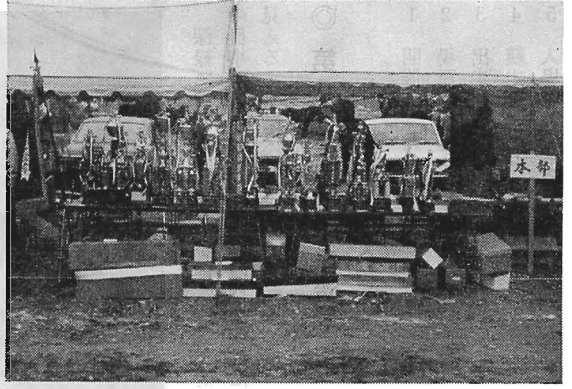
見事優勝 角田さん



男顔負立乗り追い



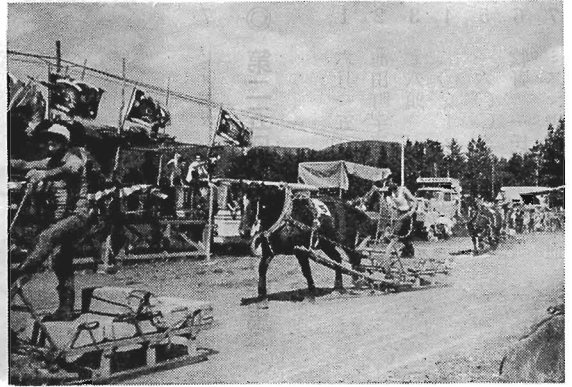
6. 15 第25回池田町ばん馬大会



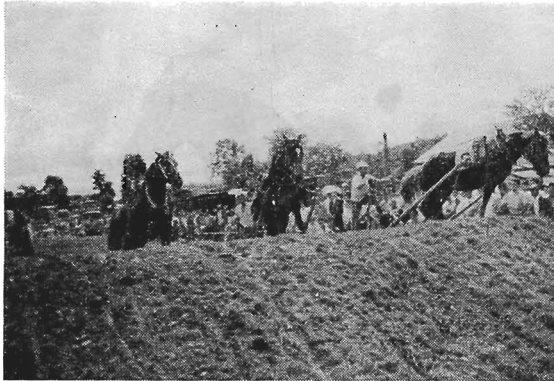
7. 6 置戸夏まつり第2回ばん馬競技大会



9. 20 弟子屈ばん馬大会



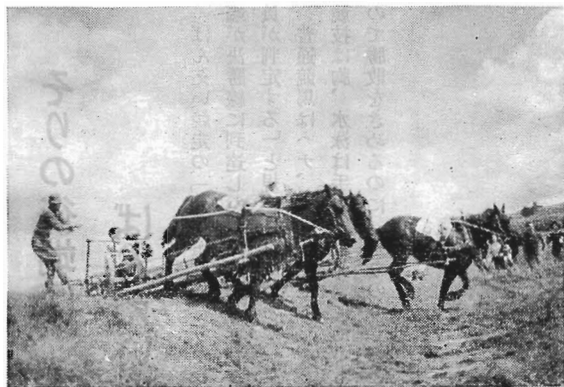
9. 16 第10回上渚滑ばん馬大会



◎ 第一〇回 上渚滑ばん曳 競技大会

- 1 九月一六日
- 2 上渚滑競馬場
- 3 五五頭
- 4 一八レース
- 5 五五〇名
- 6 岡村基英氏
- 7 一姫号 中半血 雌四才

開拓の頃一番始めにやったばん馬競争と伝えられている「ケツ引き」を最終レースでやってみせる、直径一米もあろうかと思われる大木を、二頭が両方から引っ張り合う勇壮なケツ引き、土も掘れ砂塵が舞い上る、これはSTV 11PMテレビ放送の中でも紹介され



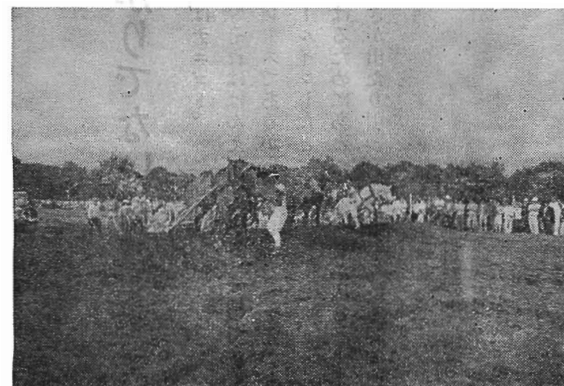
9.4 美深ばん馬競技大会

◎ 弟子屈輓馬競技会

- 1 九月二〇日
- 2 弟子屈町鎧別桜ヶ丘公園
- 3 八一頭
- 4 一八レース
- 5 一五〇〇名
- 6 岩田清二郎
- 7 勝春号 重半血 雌三才

◎ 美深輓馬競技大会

- 1 九月四日
- 2 美深町総合畜産センター
- 3 六五頭
- 4 一六レース
- 5 二五〇〇名



8.15 阿寒町ばん馬競技大会

◎ 阿寒町輓馬競技大会

- 1 八月一五日
- 2 阿寒町一七線特設会場
- 3 八二頭
- 4 二四レース
- 5 一三五〇名
- 6 尾屋義昭氏
- 7 第二昭力号 ベル系 雌一才

◎ 新十津川ばん馬競技会

- 1 七月二日
- 2 同町家畜検査場
- 3 七九頭



7.1 新十津川ばん馬競技大会

- 4 二一レース
- 5 八〇〇名
- 6 中沢清元氏
- 7 鉄宝号 重半血 雌三才

そりの後端は

ばんえいばかりでない

ばんえい競走の「到達順位はそりの後

端が決勝線に到達した順位により審判委員が判定する」と規定されている。

普通競馬はハナ、人間の陸上トラック

競技は胸、水泳は手と一番先きにあるもので勝敗をきめるのに、そりのうしろと

はナニゴト。

それはばんえいはとまることのできるレースであるから、もし馬のハナ先がゴールインしたときとまってしまう、ふん

ばるためにあとへ引き、また出るハナ先きが出たり引っこんだりしている間に他

の馬がゴールインしてしまつたら、どちらが勝つたことになるのか、やはり全体がゴールインしたときで勝敗をきめるのが合理的だとしたのである。

理由はもうひとつある、ばんえいは開拓農民の生活の中から発生したものであるが、その頃から荷物を全部はこび込む、それでなければレースは終らないという意味があった。

なるほど理屈は確かにそうだと思つても、大変珍らしいきめ方だと考えていた

ところが、

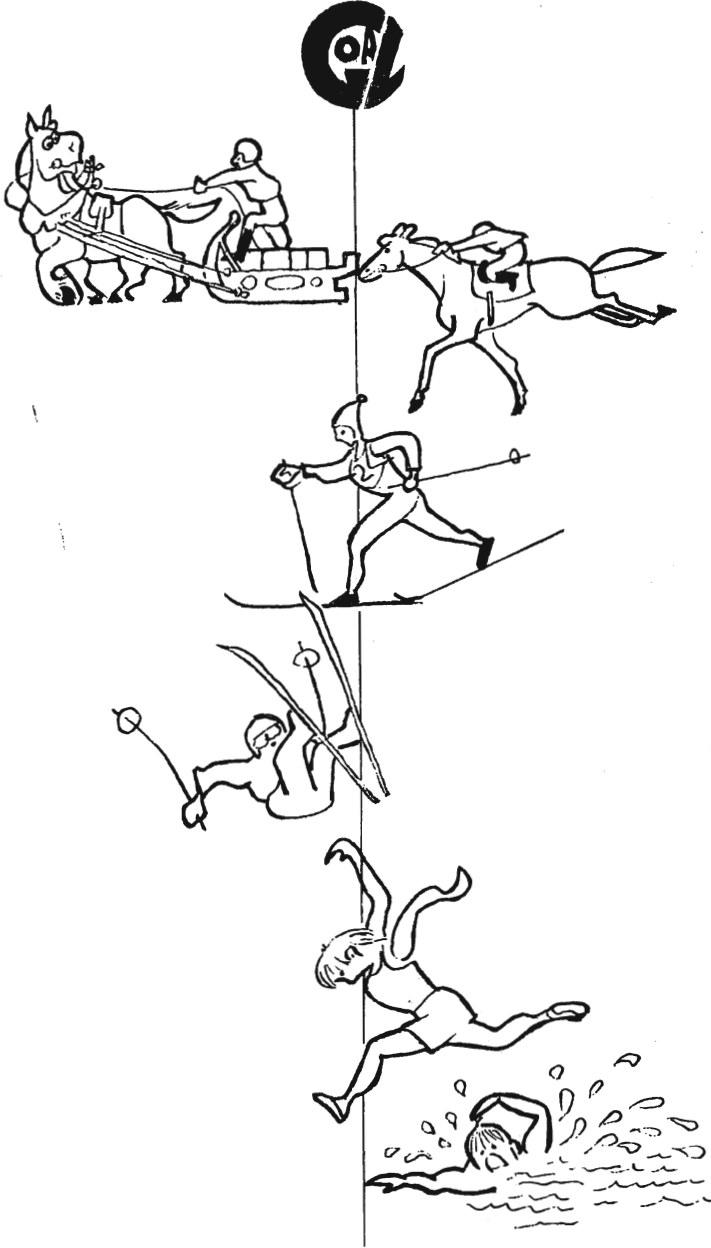
ところ、実はそりの後端できめるのはばんえいばかりでなく、ボブスレーやリュージュのような、そり競技でもやっていたし、現にスキー距離競技などは足が通過したとき、つまり足の後端できめることになっていく。(ジャンプは両足の間)

スピード競技の中でも特に速い、平均時速八〇キロ最大時一一〇キロというリュージュや、平均時速一〇〇キロ最大時一五〇キロという猛烈なスピードで滑り下りるボブスレーは、かつて「そりがゴールを通過したとき」つまりそりの全部、そりの後端で勝敗を決定していたのだそうである。八年前頃から電気式自動計時でスタートからゴールまでのタイムをはかるようになり、三年位前に電気計時器のタイムで勝敗をきめるよう規定が改正された。

スピード競技のうち、多数の選手が同時にスタートする競走は、決勝判定に写真が利用され、タイムも電気式で計測される、ばんえいを含めて、競馬では審判委員のボタンでスタートの瞬間スイッチが入り、写真判定用フィルムにタイムが刻みこまれる。

大きな陸上競技大会の百米、二百米では必ず写真判定を採用、中距離でも多くは利用され、長距離は肉眼判定である。水泳には水中写真判定がある。

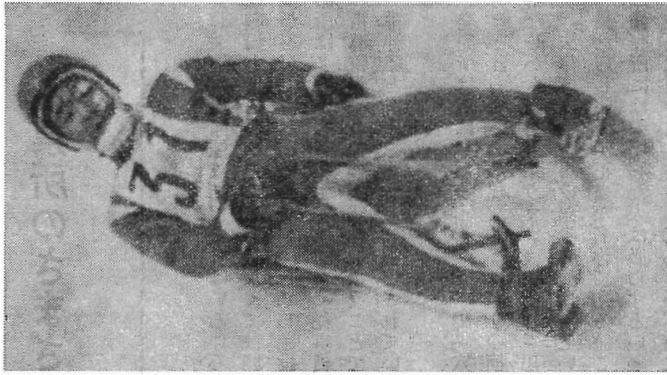
各選手が一人ずつ一定の時間をおいてスタートし、各個の所要タイムで勝敗を決するスピード競技ともなると、タイム



の取り方については実に詳細な規定がつけられている。スキートの距離競技とアルペン競技、ボブスレー、リュージュ、スケートなどがそれである。

このうちスキートの距離競技は肉眼によるものでタイムの計測委員はスタートの合図でスイッチを入れ、ゴールでは審判委員の「よし」の合図（笛、鐘、旗でもよい）でスイッチを切り所要タイムを読みとるといふ。

スキートの滑降やそり競技、スケートともなると千分の一秒差で勝敗を争うので電気式自動計時器が使用される。これは



スタートとゴールに張られた光電幕に、定められた部分が接触したり、通過した瞬間で計時できるようにできている。

例えばボブスレーの場合は滑り金具の先が、その電幕を横切る瞬間から計時装置が作動するのである（ゴールも同じ）

競馬では「決勝線に到達したとき」とあるが、ボブスレー、リュージュでは「スタートラインを横切る、ゴールも同じ」とあるから、滑り金具の先端がゴールラインを横切るといふ表現で規定している。

各種競走の勝敗を決定する部位は次のとおり。

競馬 平地、速歩、障害いづれもハナ先、ばんえいはそりの後端（到達）

陸上競技（トラック） 陶先（決勝線に接触）

水泳 自由型、背泳 片手のタッチ
平泳 両手のタッチ

スキー A 距離競技 競技者の片足がゴールライン（二本の決勝柱を結んだ線）を通過したとき（片足の後端）

B アルペン競技（滑降、大回転、回転） 競技者の両足が決勝線を通過し、しかも身体全部が通りすぎなければならぬ（決勝線又は決勝線す前でん倒した場合、両足が決勝線を通過してしまふまではタイムをとらない）

スケート A シングル トラックレー

ス（多数の競技者が同時に出発する競技） 競技者の手、または腕を除いた身体の一部が決勝線にふれるか、又は到

達したとき、

決勝線の直前で倒れた場合も同じ。

B ダブル、トラックレー、スケートとのエッジの先端がゴールラインに達したとき。

ボブスレー 前記のとおり滑り金具の先。

リュージュ 選手、そりを含む全体の先がゴールラインに接触したとき。

ヨット、ボート 艇首がゴールラインを横切ったとき。

（この稿は昨年走警審判員として執務された中村正明氏のアドバイスによるもので、氏は冬季札幌オリンピック協賛委員会、同組織委員会審判部参事、日本陸上競技連盟正審判員、日本スキー連盟指導員（アルペン競技）など、本道スポーツ界では著名な人、道警札幌競馬場が始まった昭和二十九年頃から競馬に興味をもち、着頭審判員として援助されたこともあった、昨年度を退職されたのを機に、ばんえい界に入ったが、不幸病氣のため中途辞められたのは残念）

（U）



投票所のさまざま

Y Y 生

およそ競馬開催にあたってはいろいろな職場もあるが、どの職場もなくは開催が不可能になってしまう。とりわけ投票所は多数の客を相手とするため従事員の指導監督や多額の金銭を取扱うことで一番神経と肉体を費すところとされている。

発売所は俗に「馬券売場」とか「穴場」と言っているがピントビッタリの簡略なしかも当を得たうまい表現だと思ふ。法律では「勝馬投票券発売所」という長たらしい名が正当な名称である。ここ発売所には入場した人は必ずといっていい位顔を出すところであるが、時には家族以上の親しみと笑顔で、又反対に不機嫌で言葉荒くあたり散らし美人も何もあったもんでないところでもある。こんな人々の性格や勝負の推移を如実に表現するところはない。

まだどの馬券を買っても配当金が付くんだと思っている客もいるがこんなのは素人で可愛い存在だ、出来れば馬券全部に少しでも払戻してやりたい気持ちにもなってくる。

発売所をたとえるなら「養鶏場の中で時計の看守に見張られ、金の卵ならぬお札を計算する」というようなものか、数



百数千の鶏は何時となく鳴叫び餌を貧り時間がたてば卵を生みおとすが、時には皮殻柔弱なものや、変形したものがありなかには自分で壊わして食べてしまうものもある。

このように発売所は実に騒々しく忙がしくしかも常に緊張感に満ち時間に追い回され最後は「間違い」と「事故」のダブルパンチと言う悲惨な結果が生れる。最終の締切りベルはオルゴールの音である。「間違い」と「事故」とを区別した

のは発売所における「間違い」は通例としてつきものであり、事故は防ぐものだからだが事故は何時となくつきまとう。又すべて数字だから誤魔化しがきかない。数字はみんな金銭に結びついているのでなおさら始末が悪い。

昔から「金より恐ろしいものはない」とはよく言ったもので一レースに何萬、何十萬と買っている人でさえ「一枚不足だ」釣銭が「百円不足だ」となかなか金となると目をつり上げて細かい。渡した馬券の枚数や貰った金と釣銭を説明しても簡単には納得してくれない。「なにをやっているんだ二五%もびんはねしやがってまだ取る気か」なんてまるで「やくざ」のように荒々しく吹鳴り散らし傍で聞いていても恐ろしい位だ。こんなはまだ競馬の世界では普通聞かされる言葉で「お前達は俺達が喰わしてやっているんだぞ判るか、なんだその態度、言葉は」と嚇かされたり傍に家族知人でもいたら恥かしく逃げたくなるような乱暴な言葉だ何の因果なんだろうか、これも飯のたねと「じっと我慢の子」である。

予期しない波瀾に明け暮れる競馬場の中で発売所、払戻所ほどハプニングが多いところはない。「ちよっと、ちよっと」とやさしい言葉をかけられるので何事かと思つて顔を出すと「金は全部すつちやつた小切手で馬券を買えないのか」なんてほんとうなのか、からかわれているのか「俺五千円札で特券一枚を買つたらお釣を九千円もくれたんだおかしくな

いか」なんて嘘か本當か一寸常識で判断できないような奇怪なことを言う客もいる。又、暫くたつと「ちよっと、ちよっと」と別な客から呼ばれるが実にいやな予感がするが恐る恐る聞くと「この馬券何も打抜いていないけどなんだろう」この客何を言いに来たんだろうこちらで打抜かないで売ってしまったのは事実らしいが、払戻前だし何をしてくれと言うのか。

発売所は投票所の最前線で競馬場でも最も人員の多い職場で入場した人は必ず一度は顔を見せる場所であるが、払戻所は幸運を掴んだ極く一部の人が笑顔で来るところと思うが、一枚の馬券が相当高額にもなると機嫌もよく愛嬌をふりまわす客も少なくない。客は結局が毎レース買っている殆んどは客は結局財布の底をはたいて帰りの車賃もない、たまに本命という僅かな払戻だ、来る客もあまり晴々した顔もしていない自分でも判つていながら無理難題を言つてみんなを手古摺らせる、返還が1レースで2回もあったり、レースの結果は本命や同着と1レースですつかり精力も消耗してしまふ、これが前半レースならまだしも後半レースなら客も混雑するし時間間隔もなくなるんで気が気でない。

馬券一枚が数十倍或は数百倍にもなるので、勢い客の中にも悪智恵が発達しあらゆる方法手段を考えて来るものもある。買った馬券は少しでも配当がつくんだと思つて僅か一枚の馬券を窓口を持つて来る客なんか悪意がなく可愛いと思ふ。

故意か思い違いか窓口で大声を出して思
いこんでいる枚数を強引に主張したり、
連勝式で連番と馬番とを混同して来る客
や、一枚の馬券を数十片或はそれ以上に
破損し、皆目的中券であるかどうかの判
断に苦しむような馬券をひと握りにして
持って来て、それも混雑している最中に
すぐ払戻ししてくれと執拗に喰い下り、
自分の過失でありながら払戻可能枚数を
知らずとさんざん文句を言いながら不機
嫌で立去るがこちらは一枚でも多くと顔
に皺をよせ机一面に破損券を掲げ雑ぎ合
せに苦勞しているのに親の心子知らずと
でも言うか心からお礼を言って貰いたい
位だ。

又油断も隙もならない詐欺や有価証券
の偽造をする犯罪者も現われそれも一枚
の馬券が何万円もの払戻金額だ。馬券の
打抜を玄人でも判断できないように見事
に改竄してまんまと数万円、数十万円を
詐取する悪徳漢もいるが細工に時間がか
かるので前回前日払の窓口で被害をうけ
る、常連にもなると何とか誤魔化してや
ろうと日夜対策を練っているようだが差
し当り払戻所が一番狙われるようだ。

これらの悪徳漢に対抗し神経を尖らし
防止策も考えるが常に後手だ。彼等の悪
智恵は異常な位発達していて次から次と
新しい手を編み出して来る。開催中は
さながら攻防戦で金を渡したら最後だ、
事故を発見しすぐ追いかけたり、又変っ
た風体だったと言うんで多数の観客の中
を探すが只時間の浪費だ。

併したまに奇跡的なのもあって金額も
多いんで相当時間をかけてやっとその客
を探し金銭授受の状況を詳しく説明し平
身低頭した結果快く多額の金を返して
貰った例もあるが相手次第だ。こちら
で過払の自信があっても残念ながら証拠
物件もないので強い主張もできない「泥
棒に追銭」で結局高い餓別になってしま
う。

発売所と同様に僅か百円不足でも血相
変えて大声で文句を言うが反対に多いと
知らん顔だ。十月以降の競馬にもなると
日没のため最終レース近くになると多分
に危険性を伴うので、払戻も急がない
と他の職場にも迷惑を及ぼすので気の採
めること甚だしい。

発売は特別の事情のない限りレース毎
の制限時間に締切られるが、払戻は時
間、期間が無制限ということもあって客
は下見所、発売所と寄って来るらしく、
だらだらとひっきりなしだ。外に出て叫
んだり放送をしても「馬の耳に念仏」で
効果がないのが現状だ。本命馬が入着で
もすると歓声を挙げながら子供の運動
会のように先を争って殺到しどの窓口も
暗くなる位だ。手際よく客を捌くが千客
万来行列ははてしない。1レースに返還
や同着それに本命だなんていうと発売な
らぬダブルパンチだ。

発売時間も既に超過しているが、なお
見渡す限りの客で次から次と一向に減る
様子がない。どの職場も首を長くして待
っているが資金や馬券の整理も急ぐし寿

命がちぢまる思いだ。レースが終って事
故金もないと胸を撫で下ろすがもし資金
や馬券に間違いでもあったら第1レース
から再調査で職員従事員の帰りは夏なら
まだしも秋にもなると真暗でどの職場に
も人影が見えない。職員ならまだしも従
事員は可愛想だが残って貰わなくては原
因究明ができない同情はするが致方な



い。時間中はさんざん客から苛められる
し。

あまり酷い事を言われると遂腹の虫が
おさまらない「売り言葉に買い言葉」で
うっかり客に向っていくと大変なことにな
る。窓口で大勢な客が集まって来る常
に「大事な客」という観念で応待しない
とその理由の如何を問わず大騒ぎにな
る、ちょっとしたことでも騒ぎたいのが

客の心理らしい。

何とか一日の仕事も終って急いで帰っ
てもどこの家庭でも既に夕食が終って家
族団欒の時間だ。ご亭主には「こんな
遅くなるんならやめてしまえ」なんて恐
ろしい顔して嗷鳴られるし、子供達は腹
を空かして泣きながら母の帰りと食事を
待っているがこれから食事の仕度だ。

競馬場でも帰宅しても目の回るような
忙しさと悩みの連続だ、これではもう「
金」という問題ではなくなる。でも毎年
慣れた顔ぶれが集まって懐かしく新らし
い従事員も人数が多いんで心強さを感じ
淋しさを感じないようだ。毎日同じ職場
で苦勞を共にしているうちにいっしか親
しさが増し数年来の親友以上の交際とな
り競馬が終っても家庭を往來している。

朝持寄りの茶菓をレース前や昼食時或
はレースの合間に談笑しつつ、食べ世間
話に花を咲かせたり、帰りもその日のい
ろいろな出来事を楽しく相に語り、又共に
悲しみつつ、家路を急ぐ様子を見ている
と微笑しい風景だ「喉元すぎれば熱さを
忘れる」ですべての苦勞も吹飛んでしま
う。それに他の職業婦人に比較して出勤
時間にも余裕があるしたとえ一時的にし
ても女性としては最適だし魅力ある職業
と言う。

投票所は概して言えば「縁の下の力持
ち」という存在か、昔から「競馬には卒
業生がない」と言われる位何年経験を積
んでも次々と難かしい問題が起きて即決
できないことが沢山ある。

輓曳馬生産種雄馬物語

堀内精司

北見馬と言えば、昔軍馬華やかな頃十勝、釧路、根室から見ると、一般的に評価が低いようだった、供用された種雄馬の測尺値を見てもこのことがうかがわれます。現在でも年配の生産者達は優良な馬と言えば釧路馬か十勝馬かと聴かれる

事が多い長い歴史を得て主産地基盤を造りあげた産地の各関係の方々に深く敬意と感謝を申しあげるのは勿論であります。当北見管内に於ても昭和二十七年よりフランスからアングロノルマン、ベルシュロン、ブルトンと現在まで各関係機関の御協力、御配慮により三十数頭の種雄馬を輸入し、適地適産と品種の改良を進めてまいりました。

当時（昭和二十七年）生産体重四七、五五K程度であったものが現在では七五、八〇Kとこの二十余年間に著しい進歩を見ました。因みに二才雄の共進会の測尺値に於ても昭和二十九年体高一四四・四cm胸囲一七六cm、管囲二二・〇cmであったものが昭和五十年に於て体高一六〇cm胸囲二一〇cm管囲二五・五cmと非常に大型化となり対称のとれたものが多くなり今や先進地と並び称せられる位置に達しているようです。特に種畜資源はもとより優秀輓曳競走用資源の産地と

して年々その期待が大きくなって居りますことは誠に欣快に存ずるところであります。（当管内は半血種の基礎資源が多いので今後の改良に問題を内蔵している）

戦後数多くの輸入馬及び国内生産馬を供用して参りましたが、輓馬生産の名種雄馬としてはベルシュロン、ゴジエール号およびオナシス号であります。

ベルシュロン ゴジエール号

ゴジエール号は昭和二十九年四才でフランスより北見地方農業協同組合連合会が購買し（購買官農林省長野種畜牧場長加々見恒夫氏）北見管内唯一の重種の産地である紋別市上落滑に繋養し昭和四十一年八月（斃死）まで十二年間種付頭数一、五二六頭生産馬八一〇頭を数え優秀な基礎雌馬及び優秀な輓馬の生産を見ております。特に雌馬に於て地元紋別を始め北見管内に広く分布され全道共進会には最高位賞を得るなど輝かしい活動をはたし今日の北見重種の基礎を造り又輓曳競走馬に於ては昭和四十六年種雄馬ランキング（北海道輓曳競走No.2）に最高位を示しその主な出走馬はハナタカ

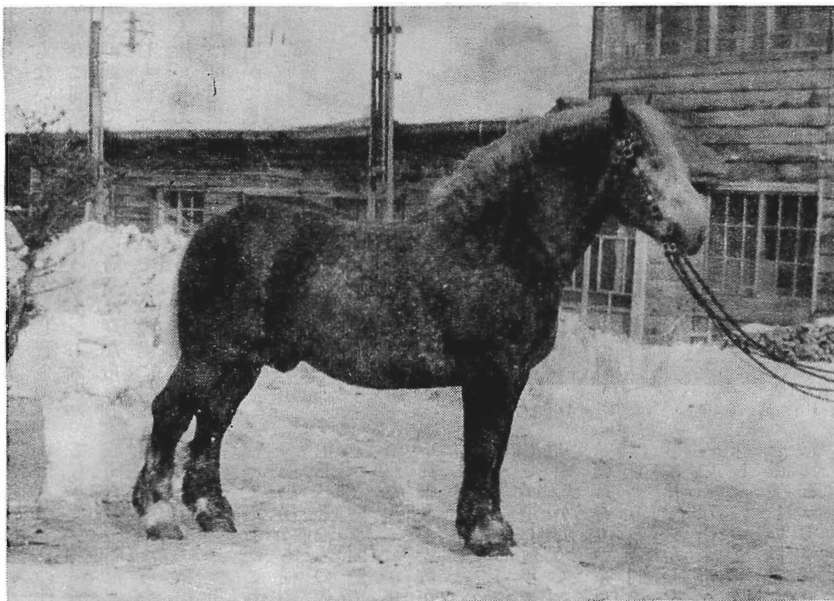
ラ、ユウジャ、ツルヒメ、ノーチカル、ダイシヤク、ニホンザクラと多彩であります。

昭和四十一年ゴジエール号の精液凍結保存を計画したが胃腸障害のため斃れたことは誠に残念であります。この功績について感謝の念一ぱいです。今後も長くゴジエール号の話は消え去ることはない

でしょう。

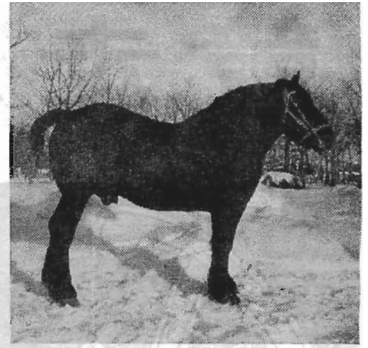
ベルシュロン オナシス号

オナシス号は昭和三十六年フランスより北見地方農業協同組合連合会が輸入し（購買官北見地方農協連豊田博水氏）網走市西網走農協に配置し、昭和四十七年七月、二十二頭目の種付を終了し前肢神経麻痺のため起立不能まで十一年間一、〇二〇頭の種付で五〇八頭の産駒を見た、オナシス号の産駒が輓曳競馬に出走し始めた頃ジャクリン夫人が世界の海運王オナシスと結婚し世界の話題となったときと時を同じうし種雄馬オナシス号の人氣は躍如たるものであります。



ゴジエール号

この馬の供用地である西網走は当時北見管内最右翼の優良馬の生産地であり、その主たる基礎は釧路管内より導入しベルシュロンロスト号の血液のもので、配



オナシス号

合が適合したのか体型及び能力にも、優れたものが多出し道内はもとより内地府県からも購買者が殺到しました。

輓曳競走馬に於ても優秀なものも多く四十九年度の競馬成績を見てもダイニミハル、カフタロー、ダイニメイホウザン、フジトップ、ノヘジトップ、カツダイホーほか十二頭と種雄馬ランキング上位となり「なんでこの種雄馬を斃したのか」と数多くの関係者から質問を受ける名馬となってしまいました。

現在では雌馬に於てもオナシス号の系統は人気が高く取引される場合、ブラスアルファーが付くようであります。

この功績をたたえるため昭和五十年三月地元関係者と元老がオナシス号を偲ぶ会合を開き長くこれをたたえるため競馬開催の北見市に対しオナシス号記念レースを要請受容されたのもその所以であります。

(筆者はホクレン農協連技師北見支所勤務)

農ばん馬生産地における馬産事情

1. 馬頭数と生産の推移

(1) 北見管内

| 年次 | 馬頭数 | 繁殖種雌馬数 | 種付頭数 | 繁殖率 | 生産頭数 | 種雄馬数 | 1頭当り種付頭数 |
|----|--------|--------|-------|-------|-------|------|----------|
| 45 | 11,468 | 7,357 | 2,223 | 30.2% | 1,637 | 36 | 62 |
| 46 | 8,925 | 5,665 | 1,274 | 22.4 | 1,164 | 26 | 49 |
| 47 | 7,038 | 4,485 | 1,221 | 27.2 | 653 | 16 | 76.3 |
| 48 | 5,837 | 3,328 | 1,312 | 66.1 | 687 | 14 | 93.7 |
| 49 | 5,650 | 3,035 | 1,417 | 47.0 | 636 | 14 | 101.0 |
| 50 | 4,986 | 2,800 | 1,168 | 45.7 | 649 | 17 | 68.6 |

(2) 十勝管内

| | | | | | | | |
|----|--------|--------|-------|------|-------|----|------|
| 45 | 15,682 | 12,836 | 6,317 | 49.0 | 5,273 | 36 | 73.0 |
| 46 | 11,013 | 8,902 | 4,367 | 49.0 | 3,559 | 26 | 73.0 |
| 47 | 7,977 | 6,573 | 3,344 | 51.0 | 2,256 | 16 | 76.0 |
| 48 | 6,614 | 4,805 | 3,077 | 58.7 | 1,806 | 14 | 71.0 |
| 49 | 5,663 | 4,560 | 3,057 | 66.5 | 1,819 | 14 | 67.9 |
| 50 | 6,200 | 3,800 | 2,619 | 59.9 | 1,539 | 17 | 55.0 |

(3) 釧路管内

| | | | | | | | |
|----|-------|-------|-------|------|-----|----|------|
| 45 | 4,671 | 4,121 | 1,438 | 34.8 | 458 | 37 | 38.9 |
| 46 | 3,744 | 2,620 | 848 | 28.5 | 603 | 27 | 31.4 |
| 47 | 2,741 | 1,918 | 874 | 35.8 | 614 | 24 | 36.4 |
| 48 | 2,050 | 1,435 | 910 | 57.6 | 603 | 27 | 33.7 |
| 49 | 2,040 | 1,428 | 1,002 | 65.5 | 655 | 30 | 33.4 |
| 50 | 2,282 | 1,483 | 1,042 | 67.5 | 688 | 31 | 33.6 |

2. 市場成績

(1) 北見管内

| 年次 | 売買頭数 | 最高 | 最低 | 平均価格 |
|----|------|---------|--------|---------|
| 45 | 776 | 150,000 | 10,000 | 34,347 |
| 46 | 409 | 150,000 | 21,000 | 55,423 |
| 47 | 172 | 300,000 | 50,000 | 113,334 |
| 48 | 184 | 563,000 | 75,000 | 204,130 |
| 49 | 149 | 521,000 | 32,000 | 159,107 |
| 50 | 181 | 800,000 | 55,000 | 199,447 |

(2) 十勝管内

| | | | | |
|----|-----|-----------|---------|---------|
| 45 | 527 | 670,000 | 25,000 | 130,752 |
| 46 | 489 | 633,000 | 47,000 | 143,094 |
| 47 | 466 | 1,000,000 | 92,000 | 213,682 |
| 48 | 454 | 1,360,000 | 150,000 | 331,047 |
| 49 | 435 | 2,000,000 | 81,000 | 326,643 |
| 50 | 459 | 2,150,000 | 40,000 | 374,200 |

(3) 釧路管内

| | | | | |
|----|-----|-----------|---------|---------|
| 45 | | | | |
| 46 | | | | |
| 47 | | | | |
| 48 | 313 | 1,270,000 | 150,000 | 323,000 |
| 49 | 257 | 900,000 | 46,000 | 250,000 |
| 50 | 307 | 1,200,000 | 57,000 | 277,000 |

3. 共進会市場成績

(1) 北見管内

| 年次 | 売買頭数 | 最高 | 最低 | 平均価格 |
|----|------|-----------|---------|---------|
| 45 | 20 | 600,000 | 81,000 | 250,750 |
| 46 | 28 | 610,000 | 161,000 | 285,500 |
| 47 | 31 | 950,000 | 235,000 | 382,387 |
| 48 | 27 | 1,810,000 | 360,000 | 606,296 |
| 49 | 46 | 3,500,000 | 150,000 | 645,652 |
| 50 | 61 | 3,610,000 | 220,000 | 693,095 |

(2) 十勝管内

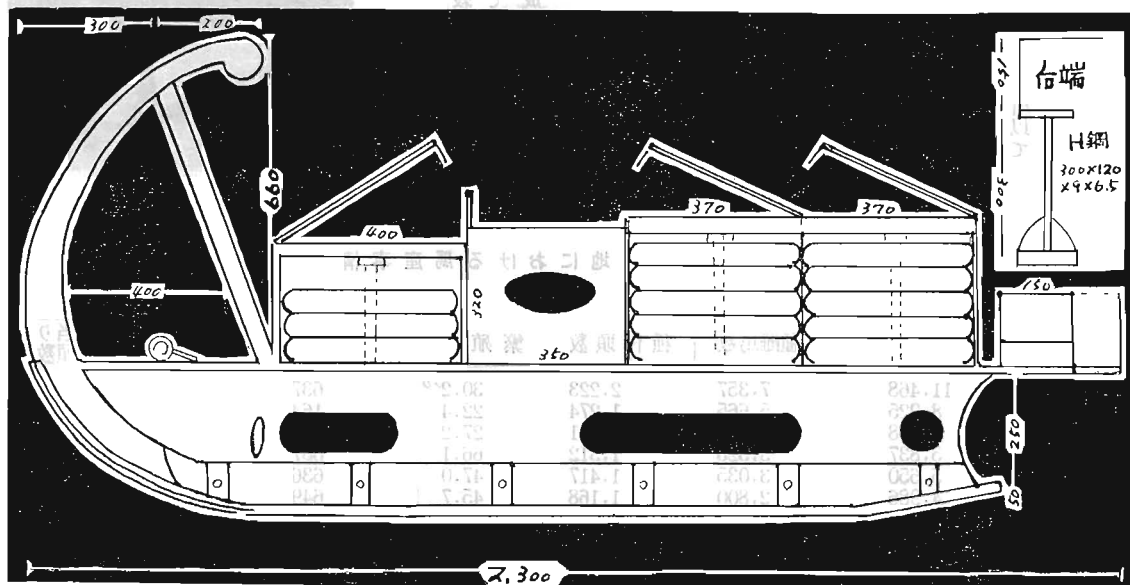
| | | | | |
|----|----|-----------|---------|-----------|
| 45 | 15 | 620,000 | 146,000 | 329,267 |
| 46 | 19 | 600,000 | 211,000 | 336,000 |
| 47 | 17 | 1,000,000 | 260,000 | 509,412 |
| 48 | 29 | 1,300,000 | 336,000 | 596,380 |
| 49 | 7 | 1,250,000 | 710,000 | 1,005,710 |
| 50 | 6 | 1,370,000 | 735,000 | 995,000 |

(3) 釧路管内

| | | | | |
|----|----|-----------|---------|---------|
| 45 | | | | |
| 46 | | | | |
| 47 | | | | |
| 48 | 27 | 1,270,000 | 238,000 | 475,000 |
| 49 | 13 | 900,000 | 220,000 | 414,000 |
| 50 | 21 | 1,200,000 | 222,000 | 607,000 |

(注) 釧路管内昭和45~47年度は釧路農協運営外で判然とせず

競走用具の研究



51年型競走用鉄そり仕様略図

ばんえいに使われている競走用具は、私物と主催者が貸与する公有品とがある。

私物は頭絡（天上）から、わらび型、よび出し、背づり、つり革の六つで、そのほかに乗馬手綱、引き綱（繫馬さく）があり、矯正具の黠眼革、耳被い、引返し手綱などがある。

貸与品はそり（引木つき）かち棒、胴引、馱者手綱、重量物、番号ゼッケンなどである。

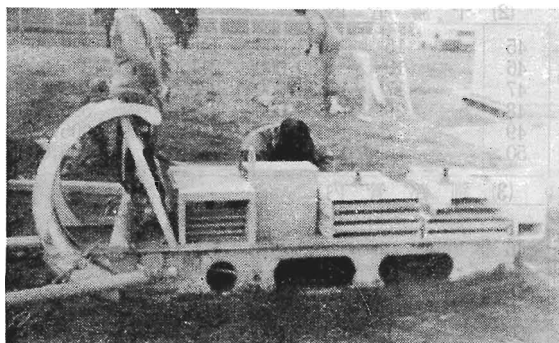
競走である以上、全馬が同じ装具で走るのが理想であるが、私物にしている理由はみな馬個体の寸法に合わせて作られているので、統一できないものである。

人間の既製服や靴などのように、たくさんサイズの揃えておくといわなければならないが、そんなことにすればおそろくトラック何台分かの品物を揃えなければならぬし、各馬まちまちであることは同じである。

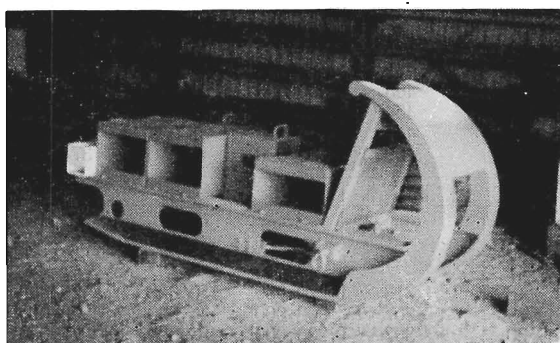
平地競走でも番号ゼッケン以外は各人個々のもので、頭絡、手綱、ヘルメットむちは負担重量から除外されている。

負担重量という点から考えると、現在その上に積載している重量物に限定しているが、今後は引っぱるそりも含めた重量を発表したほうがいいのではないかという意見が多い。

本会は発足以来貸与競走用具の研究を



試作第2号



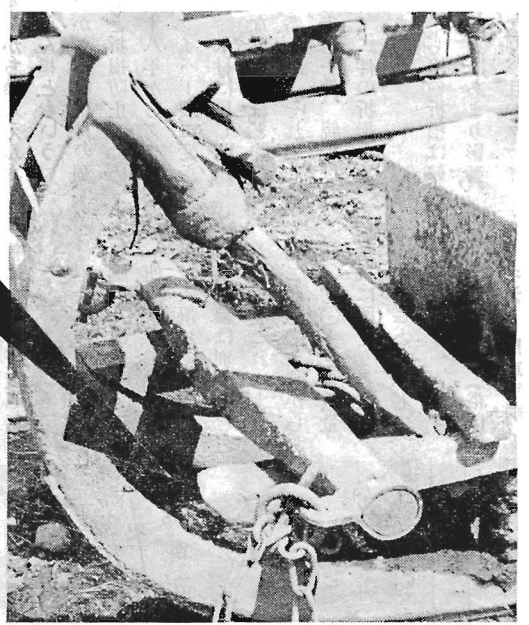
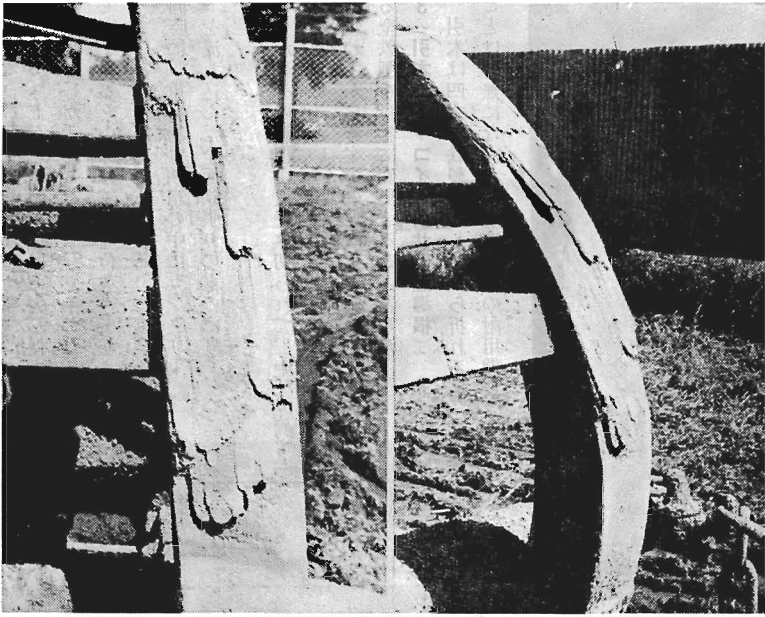
51年型競走鉄そり完成品 (51. 3. 10)

続けており、四十五年は鉄そりの試作研究をやり、公式ばんえい発足以来二十五年間使い馴染んだ木製荷そりに訣別し、四十六年から競走用鉄そりに変更した。

1 競走用鉄そり

鉄そりにした理由は、木そり用材がなくなってきたこと、乾湿によって重量が大きくなること、多いものは雨の一夜が明けると、もう二十キロ以上も重くなったりする。その都度そりの裏面に鉄片を

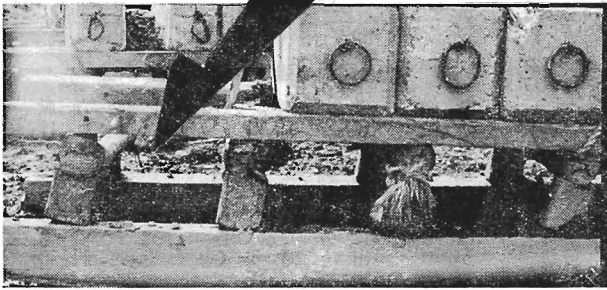
つけて調整をしなければならなかったこと、材質によって大きなササクレができること、三年もすると接着部が離れたりそり、自体が前傾してくるなどである。すでに四十四年には北見市が研究を始め



枯化による変形

桁木の離脱

束木の前傾

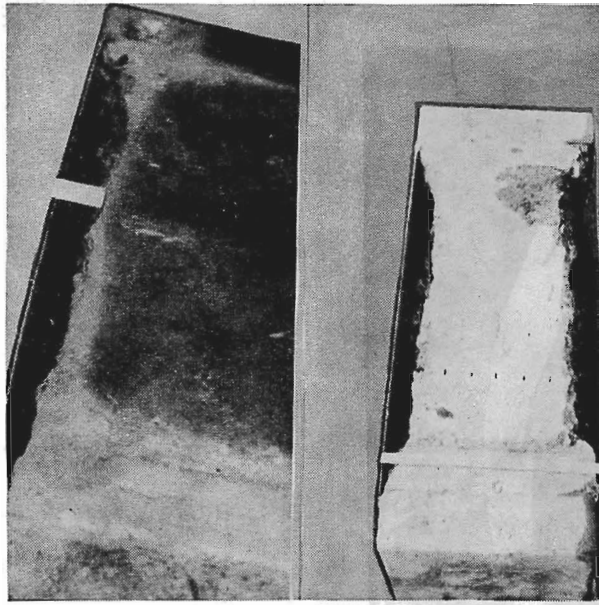


ていたが、翌四十五年には北見市、本会と中西調教師の作った試作品を旭川に集めて、全国協会主催の研究会で使用試験を行ない、その結果本会試作品に他の二ツの特徴を取り入れて、理想の型をきめた。

その主な特徴は乗用そり型を若干とり入れてハナ木をやや高くし、騎手の前のめり手打ちを防止し、下そり時の手綱捲きつけの便をはかり、幅は七二センチに広くした。荷そりの幅は六七センチと狭く、雪の細道でも運搬回転が便利なようにできているが、ばんえいは直線コースを直進すればよいので、幅を広くしても差支えなかった。長さは五センチ短かく重さを約百キロ重くして積載重量を減らしたことなどが特徴であった。耐用期限は約七年ということであったが、四年目にはもう接地面に摩耗が見えたので、四十九年暮から更新のとしにそなえて、本会鈴木現局長と岩崎技師が更に新しい研究に入った。従来のコ型鉄材を貼り合せたズリの空洞型はカドの摩滅が激しく且つ束木の接着が弱いので今度はH鋼を使って試作そりを造り上げた。

この研究中に五〇年「そり仕かけ不正事件」が発生してしまい、更に第三、四、五回の修正を加えて理想の型を完成し、本年からこれを使用することになった。

2 重量物（俗におもり、荷物という）重量物はばんえい発展の歴史を物語るかのように改善の道を行ってきた。二十二年発足当時の俄から、カマスに、そし



てコンクリートに、カドが欠けるので底抜けながら上面と側面を鉄板で包んだものに改良した。ところが二、三年もたつて底を見ると中味は五キロ位欠けてしまっているのので、四十六年鉄ぞりに変更と同時に、重量物も鉄箱の中にコンクリートを流し込んだ全面鉄張りのものに変えた。

しかしその鉄板さえ焼き切られて、中味を抜き取るという事件が発生し、今回はかねてから考案中の、内部をよく見える全鉄製重量物に変更することとした。

3 引木(ドッコイ、かせ、遊導根)

引木は四十六年鉄製品としてから折れることは皆無になった。現在はその耐用期

成績書

工試成績第 567 号 昭和 50 年 / 月 24 日

北海道立工業試験場

依頼者 札幌市中央区北七条西4丁目畜産会
北海道立工業試験場

品名 胴引クワリ 2件

依頼事項 強度試験

成績 依頼者から提出された試料につき、試験した結果次のとおりである

引張試験

| | |
|-----|---------|
| 試料の | 破断荷重(N) |
| 1 | 3,080 |
| 2 | 2,700 |

以下余白

限、更新時期と蛇金について研究中である。

4 かち棒(えん木 えん棒ともいう)

かち棒は用材の潤滑と折損防止のため四十八年からグラスファイバー製に変えた。木材に比し問題にならないほど強靱であるが、それでも競走中一件、競走以外で二件の折損事故があった。

かち棒の折損は競走能力にあまり影響がなく、且つファイ

品の試作研究をやっている。チェーンについては溶接部の改善について研究している。

本会試作ナイロン製胴引(改造チェーン使用)を工業試験場に依頼して行った強度試験は別表のとおりで、これによれば二七〇〇キロから三〇〇〇キロの重量抵抗に耐えうる強さがあることを示している。

6 取者手綱(俗にギジャ、馬車手綱)

胴引の強度試験成績書

5 胴引(鞍さく、引き綱ともいう)

胴引は麻糸で編んだ平打縄の部分と、鉄鎖と鈎かんで出来ているが、麻糸の生産減もあり、その切断防止強化をはかるため目下ナイロン製

バー以上の強度、柔軟性、軽量のものもないので、この脱着防止の方法、長さなどについて研究をつけている。

昭和44年6月27日

競馬用具及び引木の検査報告書

検査者 秋山厚二 横山静久

| 台数 | 重量 | 長さ | 破断荷重(N) |
|----|-----|-----|---------|
| 1 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 2 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 3 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 4 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 5 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 6 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 7 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 8 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 9 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |
| 10 | 9.0 | 1.0 | 2,200 |

競走用具の事前検査はやっていたのだが

取者手綱は片方約七米、二本で一四米前後あるのだが、皮革製品の特徴として、長さを揃えておいても常に若干の伸縮を生ずる。これは牛の背中の皮で造る多脂革を使用する貴重なもので、出走馬の大格化と皮革資源の不足から、いいものができなくなってきた。そこで耐用年数が長くかつ強度化を目ざして、先端にマニラロープをつけた手綱の研究を続けている。ナイロン製品を試作し使用試験したところ強度は優秀だが滑りやすく、手中保持が困難なので中止し尚改良について研究中である。

装蹄

大地を揺るがすばん曳競馬。鉄の蹄が馬の命となって堅い土を噛（か）む。潮騒のように押し寄せてくる響きに、中野さんはじっと耳を傾けていた。

「馬の爪というのは人間の顔と同じ。一本一本が違っている。一頭の馬の場合でも、四本の足全部が異っている。これを同一の型にもって行って、姿勢に狂いがこないように、持っている能力が完全に發揮でき、いや、それ以上に力がでる

ようにするのが、私たち装蹄師の務めなんです」

生身の爪にきぎを打ち込んで装着した蹄。その結果が勝負の終わりとともに、自分にはね返ってくるのだ。そこには力の限界に挑む馬と人間の隠されたドラマがある。

農家の三男坊に生まれた中野さん。兄二人が獣医師と装蹄師だった。当時、北海道の農家では田畑を耕す馬はなくてはならない存在だった。いわば馬とともに育った少年、ドサンコ当然のように装蹄師への道を選んだ。

東京にあった当時の陸軍獣医学学校の門をたたき、きびしい修業を積んで故郷の岩見沢に開業した。四十年以上も前のことである。

軍馬から農耕馬、そして今は華やかに欲声を浴びるばん曳競馬へと時代は移った。しかし、真っ赤に焼いた鉄を打つその心根は昔も今も変わらない。

「釘の穴をあける位置。爪に打つてこれが肉に当たるか当たらないか、ということを懸念して蹄をこしらえるんです。だから蹄鉄を打つた

めには、鍛冶屋としての技術がまず全部必要です」

引かれてきた馬を見て、蹄鉄の型を決める。鉄を焼く。打つ。鉄のわかし具合、色の具合いを見極められる目を持っていなければならぬ。

現在は新鉄を打ってそのまま曲げることもできる。しかし、かつては古い鉄を合わせ、焼き具合を見ながら粘着させ、それを鍛錬して使っていた。その時代にたたきあげた腕だけに、むずかしいのは中野にやってもらえ」という注文がひきもきらない。

さらに難しいのは出来あがった蹄鉄を爪に装着すること。ただ足の裏に蹄鉄を当て、釘を打っていくだけでは到底役に立たない。爪を削る場合でも、この馬はこう切らなければ故障する、とか、こうすれば直るとか、とにかく一頭の馬の四本手足が左右どちらにも不ぞろいのないように装蹄するのである。

「技術者というのは人に相談して、というわけにはいきません。自分で質問し、自分で解いていくのです。その答えが半年で出るか一年で出るか。馬は人様の財産です。それを心の中に入れて、自分で研究してみるわけです。そして、ああ、こうしてはいかんのだな、とわかったりする。そんなものですよ」

ばん曳競馬のレースがある前の日。出走する馬たちが中野さんの前に立つ。たくましい馬、優しい馬。どの一頭一頭にも限らない愛情を覚えるという。

すり減った鉄をはぎ取り、爪を削り、新しい蹄鉄を打ちつける。わずか数分間の作業に長年の経験と培われた勘が光る。この呼吸にももの言わぬ馬たちが信頼を寄せる。

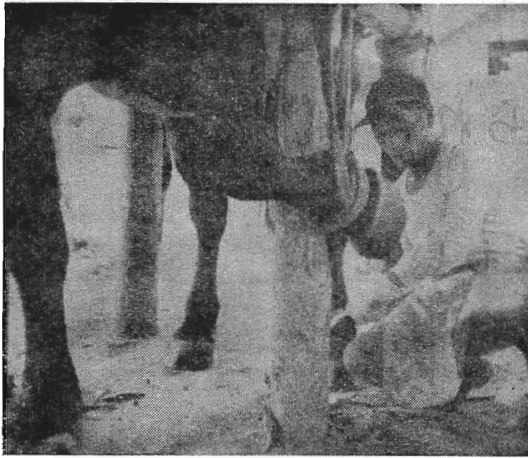
「この馬が勝負にのぞむ。装蹄師だけの期待といますか、馬がいよいよ装鞍所を通り、検査もうかり、出走となったとき、これで無事走れるんだなあ、と思ったりするんです」

あの装蹄で良かったはずだ。つまりくはずはない。レースが終わるまで緊張は続く。ホッと安どの胸をなでおろすのは馬がゴールに入ってからだ。

「私ら、なんぼ年がいても技術にはこれでいいという限界はありません。一頭一頭、これをどうすればいいかなあ、と考えて、人のあみ出せんようなところに目をつけて仕事をする。それが職人としての根性なのかもしれないねえ」

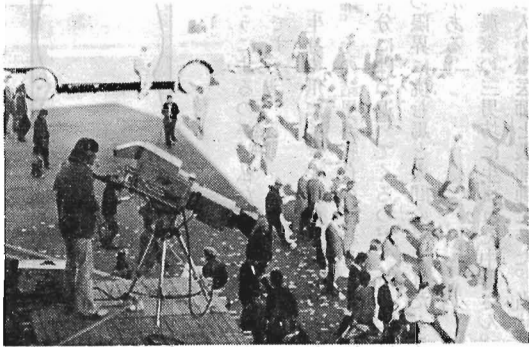
馬とともに人生を歩んできた中野さん。それだけに、言葉にはズシリ重いものがある。（中野政夫さん 岩見沢市）

— 日TB版豆本 北の名人から —



マスコミに取上げられたばんえい

傾聴しよう厳しい批判



9.14 北見ばんえい取材STV

本誌創刊以来毎年この記事をのせてきた理由は、九年前本会が発足した当時、「ばんえい競馬」があまりにも一般に理解されていないので、その歴史と改善の過程を、素人にも専門家にもわかりやすく解説して、その理解がどこまで届いたかを、「マスコミに取上げられた、ばんえい」によって、見ていきたいと考えたことからであった。

ところがそれはそれとして、ほかに大きな反響があった、この記事は免角この種会報にあり勝ちな役所公報的硬化を防止する効果があるというのである。

報道各社の取上げかた、記事や写真の表現、獨創性、文体、読物やドラマになつたときなどは当然だが、単なるレポートとしても、なにか報道文字といったもの

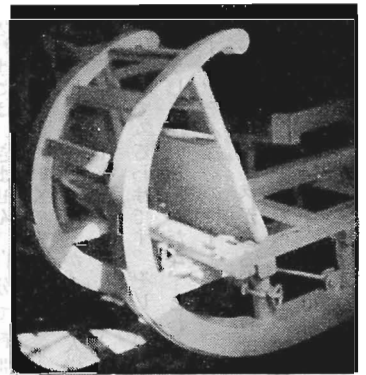
のを感じる、つまりこれは面白い読物だ
というのである。

サテ、ことしマスコミが取上げた第一
番はなんといっても「そり仕かけ不正事
件」……八月二十三日から約一ヶ月間、
ほとんど連日、いずれかの社が取上げて
いた、まるで何年分かの記事が一ぺんに
ドットと、のってしまった観がある。

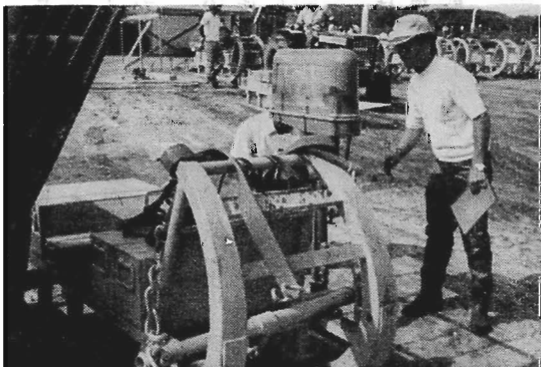
問題がばんえいならでは、という珍ら
しい事件だったこともニュースバリユー
を高めたのかもしれない、主催者側は襟
を正してこの批判を傾聴し、禪をしめな
おして厳正公正な施行に、万全を期さな
ければならない。

「叱られること」それはなんだろう。
朝六時四十分からのラジオ「人生読
本」は一月二十二日から二十四日までの
三日間、サンヨー電機の副社長後藤誠一
氏の「叱られること」を放送した。

氏がかつて松下電気の工場長をしてい
たとき、従業員の総決起によって排斥
されたことがあった、社長は氏を呼んで



そりの計量八月下旬北見ばんえい



従業員の前で陳謝せよといったが、氏は技術的にも製品は向上しており、業績も上っているのに「あやまることはない」と答えたところ、社長は激怒叱咤して反省を促したという、静かに考えてみれば指摘されている点は、たしかに自分の短所であったと気が付き、「今叱られること、叱られる態度こそわが人生最大の転機、重大な天声、再出発への開眼である」と思い当ったという。

彼我対照することは適切ではないが、公業にたずさわる者の比重が重いのは当然である。

さて例年のとおりマスコミが取上げた「ばんえい」とその関連記事(農ばん馬が出てくる記事写真)を紹介しよう。

1 五月二十八日 NHK TV

NHK朝番組の(北海道の窓)は「産物盛衰記」と題して、5月28日釧路の馬産を、翌29日は本道の燕麦生産を取り上げている。

28日の釧路馬産を語る人は荒磯敏伽氏、かつての馬の神翁として天下に有名だった釧路畜産組合長神八三郎氏の副会長、終戦後は農協連会長となり、現在は盛になってきたばん馬生産に打ち込み、釧路馬事振興会長でもある。氏の一生は馬と共にあり、昨年その一代記を刊行した、テレビ画面は農協連の阿部事業部長と野村アナの対談に変わり、かつての日本釧路種、奏上釧路種という、所謂低身広馱の馬種を造り上げた釧路馬産の歴史から、戦後全国的な馬の激減、最近の再

興、林間都笹による年中放牧と同農協連が経営する畜産センターにおける飼育と栄養保持、生産費と売却費、その利潤からみて、農家経済上現在の馬産は成立すると説く、当面千二百頭の生産を目指すという。

再び荒磯さん、馬は釧路町村の産業として昔も今も重要、農家経済としても成り立つ、それはばんえい競走の隆盛によって、なお勢づけられている。

ばんえい競走が画面一杯に写し出される中に終了する十五分。

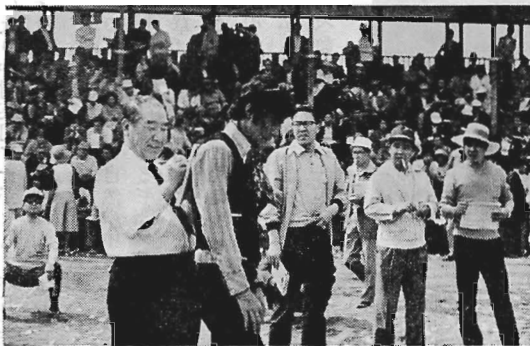


中山さんと右から木村、野々宮、金山、佐伯夫人

2 六月二十六日 STV TV

「速くへ行きたい」

この日の題名は「ばん馬いとしま馬太郎」、デレクターは人気番組「コーラスがやってきた」などの大原れい子さん。



中山さんの背中を借りて

えぞタンポポの咲き乱れる樹林の中を女学生群に追われて、テレビ映画の人気タレント中山仁さんが現れる、その行先は十勝種畜牧場……野を川を馬群が走ってくる、やがて画面は十勝農協連の千葉畜産課長と中山さんの対談になる。千葉課長その日は牧夫妻で芦毛馬の口を取り、戦時中優秀馬は七八〇円という公定価格でドンドン売られていった、生き残った兵隊は帰ってきたが馬は一頭も帰ってこなかった。馬は兵隊と共に戦場を駆け巡ったが末路は哀れであった。と全国一の馬産地十勝らしい話がつづく、画面は空からの旭川市街に変わる、しだいにクローズアップして競馬場に焦点を向ける、ファンファーレが鳴りわたる。ばんえい競走だ、激しい重ばん馬の競い合い



中山さんとテレビ録画

が野の草花をとおして現れる。

中山さんは厩舎の奥さん達や厩務員と親しく話し合ったりして一日中ばんえいを見て回る、カメラが第三陣害の向う側に据えつけられて、中山さんはレースと一緒に走ってくる、熱狂するファンの中に入って本会参与とこんな話をとり交す、なにしろリハーサルなしのいきなり本番、大原デレクターは「なんでもいから思いつきで話して下さい」というのだから面喰う、「内田さんに悪いが、一寸抗議したいことがある」と中山氏。

「馬が可愛想だ、鞭でビシビシなぐって、あんまりひどいと思う」

「見られない人には、そんなふうに見えるかもしれないが、つまり……」と、

かつて前号に書いたような説明をする。

「中山さん、馬の顔って可愛いでしょう」といきなり話題を変える。

「イヤ、ほんとに見れば見るほど可愛い顔してますね」

「実は馬はたれ目なんですよ、東洋人は目がつり上って、それは端正の相などといわれているけど、たれ目は柔和の相なんです」

ここでストップ……、休憩……大原デレクターは「そこをもう一度やって下さい」という。

こんどはカメラを、スタンド前のファンの中に移し、中山氏の背中を借りて馬の顔を描いてみせる。

「口の角度からみて、馬の目はたれ目になるでしょう」……

再び競走になる、花と雑草をとおして重ばん馬が走る。

「くに出るから幾月ぞ、共に死ぬ気でこの馬と、攻めて進んだ山や河」かつての愛馬進軍歌が画面一杯に流れて終る。

3 九月十九日 STV 11PM

ことしの11PM杯レースは9月14日の日曜日第二回北見競馬第五日第七レースで行われた、4才以上オープン級十頭立、一着はハタリユウ中西、二着はタケコマ山田となり連勝式で七八〇円ついた。

ことしはスタッフの都合で、来場したのは十数人の撮影隊と、実況放送のアナウンサーだけ。



9月19日STVスタジオでレギュラーの藤本、マリアンヌ御二人のほか、動物王国経営者で作家の畑正憲氏、漫画家大場ひろし氏、タレント藤村俊二氏、札幌のばんえいファンを集めて「ばんえいを守る会」をつくった谷口一男氏、札幌野のクラブ「じゅん」のママ綿谷さんの七人が出演。

先ずばんえい競走の写から始まる、ばんえいの故里を訪ねてみようということ

になり中村英司アナが九月十六日北見上の落滑で行われたお祭りばん馬を見にい、集る馬は六十余頭、観衆約六百人、画のように美しい自然の中で、八幡様の祭典に毎年行われるギャンブルなしの「草ばん馬」である。

ここで特に見ごたえのあったのは「ケツ引き」と称する、五屯もある丸太を両方から引っぱる、これこそほんとの力くらべ競技、開拓の昔から伝わる壮絶な競

技だが、馬はやはりにはやうって胴引を装着するのさえむずかしいという、数回やると地面が掘れてしまい、これでは激しすぎてばんえい競走馬には向かないよう

ムツゴロー杯マラソン 毎日グラフ

このあとに釧路浜中で行われた「ムツゴロー杯日本オープン」五四キロの凄絶な競走が展開する。おしまい

年度11PM杯レースの勝馬予想投票、ことしの変わった趣向は、全国の一般人から電話投票をやったことである。

興味深く聞いたのは畑正憲氏との一問一答であった、この世界的にも稀有な動物作家が語る農ばん馬とばんえい観は、我々にとって共感を呼ぶものが多かった。

マリアンヌさんが「馬が可愛そうね」といったあとについて藤本氏

「可愛そう、ということが出ました、が、畑さん、どうですか」

「あのネ、馬は人間と一緒にこういうふう生きてきたんだから、使わないでポーンとしておくほうが、可愛そうなんです」

「ムツゴロー杯マラソンは畑さんの発案とか聞きましたが」

「これはですね、世界各国でやっているマラソンです、ほかでは八〇〇キロをやっている国もあります」

「八〇〇キロ？「ヘー」

「そうですね、アメリカなどはコースも山又山ときびしいですよ、二五〇キロ三〇〇キロはザラです。今回は第一回なので五十キロ位としたのです、獣医さんにお願いで馬体検査やパトロールもして貰ったのですが事故馬がでてしまいました」

本誌第4号に、馬の権威村山豊氏が「ドサンコ」を書いているが、それには土産馬は一日八〇キロ位はヘイチャラとあるから畑さんの話は間違いない、もう



54キロの長丁場に挑むマラソン競馬のスタート

——あのレースが終
つてから、人間はモ
ノも喰えないほど疲
れ切つて坐つてしま
つたが、馬は平気で
どんどん食べる、心
のゆとりがあるので
すね——

——猫可愛がりな駄
目、馬にムチを入れ
る、それは刺激にな
つていいのです。私
は今度の練習で千キ
ロ以上も走つたら痔
が引込んでしまいま
した。加藤たき子ち
ゃんという十二才の
少女も出たし、六十
一才の老人も出まし
た。——

藤本氏「ばん馬を
ギャンブルの対象に
するというのはどうでしょう」

——そうですね、私は前には嫌いだつ
たんですよ、今はね、今はむしろどん
ん使つてくれたほうがいいと思つていま
す、競馬にサラブレッドを使うでしよ
う、あれと同じです。人間が使つてくれ
れば近親は絶えませぬのでね——

畑さんは最後にこんな注文をする
——附帯設備があるといい、例えば家族
のレースとか、乗馬をさせるとか——

4 六月二十七日 道新

「北の事典」35 ばんえい競馬

作家外倉賢氏のレポート、初めて新らし
い岩見沢の競馬場を眺めて、あまりの近
代的な整備ぶりに驚く、昔ささくれだつ
た馬車道の向うに、夏草の生い茂る野
原があつて、ばん馬が行われていた。

近代化したレースに息をのみ、パドッ
クへ行つて、近くに見る馬は、何と大き
く、何とたくましいことか、馬が野獣の
ようだ、これこそ北海道の馬だ。

5 50一月七日 NHK TV

「ばん馬生産の森牧場」

NHK朝のレギュラー番組「北海道の
窓」は、1月7日重ばん馬生産にはげむ
壮瞥村の森牧場（森秀夫氏）を紹介する
近くに昭和新山が見える森さんの牧場、
俵を積んだ三頭の馬が威勢のいいかけ声



1.7 森さんと阿世知アナNHK



1.7 庄べつ町志牧場ばんえい調教

と一緒に雪原を走ってくる、新春明三才
になったばかりの若駒のばんえい調教
だ、遠くに有珠岳とその連山が靄空にク
ッキリと浮び美しい、阿世知アナと森さ
んの話

「これがばん馬ですね、何キロ位あり
ますか」

「これは三才になったばかりですが、
七三〇キロ位ですね」

「筋骨隆々、たくましいですね、ばん
馬生産を始めてからどの位たちますか」

「二十四、五年になります」

現在繁殖牝馬も入れて二十五頭位育成
していること、四月にテストを受けて出
走資格をとること、輸入したベルジャ
ン、クライズデールの仔であること、将
来は農林大臣賞を出して覇を競うのが生

産者としての願望だと森さんはいう。

「森さん、馬の角力を見せて下さい」
阿世知アナの希望にこたえて、パドックで遊ぶ十頭ばかりの若駒を見せる、立ち上り、噛みつき合って元氣はつらつ、「これは喧嘩でなくてじゃれです、こうして馬は友情をたかめ、お互いの筋肉を鍛えるのですね」

場面は変り造林運搬にはげむばん馬が山あいからやってくる、馭者は森さんだが今日は特別出演らしい、長い樹木数本を束ねて引いてくる、これで二トンはあるという。



1.7 森牧場造材運搬

白雪におおわれた洞爺周辺の素晴らしい冬景色、ばんえいの佳作は数々あるが、本道の美しい冬を十二分に取り入れたところにこの作品の特色があり、ばんえいシーズンに立ち向う若馬のきびしい調教が、冬山の造材などと共に素材に描

かれている(佳作十五分)

森さんの話によると、一月三日にも同じ取材でNHKから放送があったのだからである、ただしこれは全国放送六分間、留寿都の山まで行って格好な景勝を選んだという、地吹雪の中の調教は物すごく、馬の吐く息も一米ほどに見え、素晴らしい迫力だった由。

更にこの放送は二月二十六日夕刻五時五分からも再放送されることになったがロッキード国会放送のため中止された。

6 九月十四日 NHK

「ふるさとのアルバム」

NHK日曜のレギュラー番組はこの日「農民ばん馬」と題して、北見滝の上のお祭りばん馬を紹介する、晩夏の濃緑に被われた原っぱに約七〇頭の馬が集って、一日24レースの郷土色豊かなばん馬競走が展開される、酒を汲み家族ぐるみの声援に選手は張り切る、二〇分。

7 四月二十七日 毎日さっぽろ版

「人気高まるばんえい競馬」

世は競馬ブーム、さっそうと走るサラブレッドの華麗さとは別に、重いソリを引っ張り重量感あふれるばん馬の魅力を探ってみた。

「イヤ、開幕すればわれわれの仕事は終わったようなもの、今年も人馬ともに事故なく終ることを願うだけ」市の担当課長は毎年この時期に同じようなことを考えるという。

目指ましい人気の高まりに主催者は「ある程度のメドはつけていたが、ここ

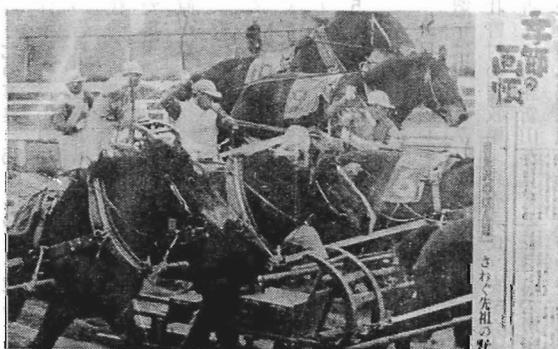
までくるとは……一般の競馬ブームによるところも大きい、やはり、ばんえい独特の魅力でしよう」という。

一般化したとはいえず、最初ばん馬を目のあたりに見るとびっくりする、体重九〇〇キロ、大きいになると一屯以上もある。足首だって二五センチ以上あり、ヘルシロンは土のむんむんする重厚な芸術品である、市内版七段四分の一頁。

8 五月三十日 朝日

朝日新聞の特輯「季節の画帖」は半頁大の迫力あふれるばんえい競走の写真を掲載、「さわぐ先祖の野性の血」の見出しで、若見沢ばんえいを紹介する。

母と子が群がる遊園の丘から見るとはるかなる石狩平野、ピンネシリ山の残雪を



季節の手帳 朝日

眺めて、視界いっぱいの新緑、空気の高さを満喫する。

レースが始まる、スタンドを埋めた一万人のファンが棒立ちになる、ばんえいは意外性があって面白い、筆者の買った馬券は外れる。

だが馬が走り出したら血が騒ぎだすのだ、理屈なしの興奮だ、これはおそらく北海道を開拓した先祖の血が躍り出すのだろう、以前は開拓農民のお祭りばん馬だったのが、戦後ばんえい競走として競馬法に入れられ、普通の競馬とは違う魅力があつて年毎に入場者はふえている。

9 九月二十九日 道新

「馬のマラソン ムツゴロ杯第一回オープン」

わが国初の馬のマラソンが秋晴れの9月28日釧路浜中町五四キロのコースで行われた、動物作家のムツゴロ先生、畑正憲さんが「純血の軽種馬より道産馬や、雑種馬の方が優れているのではない」と提案し、同町畜産祭実行委員会の主催で行われた。初体験に無理が重なったためか五頭が死亡するというアクシデントがあったが、畑さんは「今回の尊い犠牲を教訓に、来年はさらに充実したレースにしたい」と語っている。

同レースはスポンサーから賞品が出され、一位には乗用車など賞品総額三百万円という草競馬には珍らしい豪華版、制限なしの出走馬は、土産馬をはじめサラ、アラ、米トロ、雑種と多種多様、ムツゴロ先生の動物王国からも六頭が参



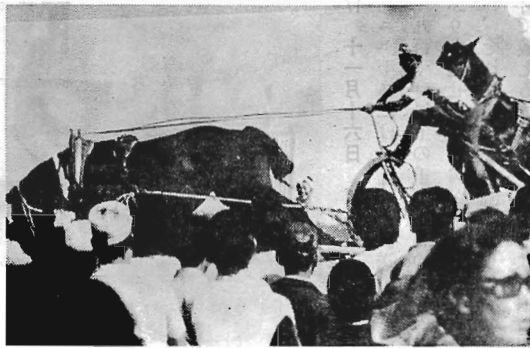
ムツゴロー杯マラソン

加、先生は愛馬のドサン馬「ゴンベに」乗って出場、約五千人の観衆で埋まる中、午前10時半出走馬52頭が一斉にスタート、熊牛原野、奔幌戸、後静を経て折返点霧多布大橋で引返す、砂塵を上げての激しい熱戦の末、サラブレットのハマナカホープが一着でゴールイン、タイム2時間10分、二着もサラブレット、三位は大差でドサン馬、畑先生は七着だった。

10 十二月七日 毎日クラブ

連載ムツゴローこと畑正憲氏の「動物王国」で、例の馬のマラソンについて見解を述べている、このことについては前記(3)したとおりだが、ここでは記者の「馬にとっては迷惑なことではないか」というのに氏は

「馬を使って生活している人が浜中には三十人ばかりいる、その人達は四時間も五時間も牛を追うのに使っている、毎日牧場で百キロも走っている、昔から馬は人と共に激しく働くことによって、本来の健康を維持しているのである、今回のマラソンでは人も馬も馴れていなかったことが事故の原因であった」といっている。氏は馬へのひろく深い愛情を説く、人も馬もよく働き共にたのしむことに生存の意義があるのだという。



千景下城 ムツゴローのばん馬競走

11 七月三日 道新

発足四十年の歴史を持つ新十津川のばん馬をレポートする、集合頭数七九頭、二一レースが行われた、会場は家畜検査場、集る観衆約八〇〇人。

12 九月二日 NHK



タカラボタン号と少女漫画家
馬の前は久木田律子さんカメラは目上けい子さん

15 四月三十日 HBC TV

「レポート⑥」にはばんえい愈々始まった岩見沢ばんえいは、体重七百キロから九百キロの農耕馬の力くらべ、道農業の一頁を埋める競馬である、気品はないが筋骨隆々、お尻の大きいのがいららしいと、アウンサー氏、成績もよいという五番をからませた馬券を三枚買ってみる。

HBCは4月27日にも50年度のばんえい開催日程を中心に放送している。

16 ばんえい誘導馬に女流馬術家

本誌はたびたびばんえい出走馬を馬場に誘導する係の女流選手を紹介したが、ことしは8月24日の道新とスポニチの記事に、次の二麗人が紹介された。

音更ばん馬、AM七時半のニュースで、音更町の秋祭りに行われる、明治以来七十年の歴史に輝やく伝統のばん馬競走を見せる、集まる馬四八頭、一四レースが組まれる、観衆約八百人、障害を駆け登る馬、立往生する馬、馬も人も走る、場内は興奮のつぼと化す、かけ値なしの真剣レースだ。

13 少女漫画家、ばんえいを取材

出版界の大手、集英社刊少女漫画雑誌「りぼん」の女流漫画家久木田洋子さんと目上けい子さんの二人は、同誌佐治副編集長と共に十一月三、四日の二日間第三回帯広競馬のばんえい競走を視察、場内、そりなど競走用具、重ばん馬を詳細に取材、更に池田町大村雄三さんの案内で、同町馬産家の奥さんの話や親子馬な

どを見学帰京した。少女漫画「ベルサイユの紅バラ」が宝塚歌劇の公演で爆発的人気呼び、ロングランとなったことは周知のこと、武骨に見えるばんえいが少女漫画家によって、どのように創作されるのか甚だ興味深い。

御両人はばんえい見学に先だって市内のデパートで、サイン会をやったのだそうだが、中高女学生には大変な人気で、エライ賑わいだったようだ。

14 ニューカントリー誌にばんえい

北海道共同組合通信社の月刊「ニューカントリー」誌は、四十九年七月から一年間にわたり「北海道馬物語」を特集、北大の八戸教授、日本馬事協会北海道支部長の村山氏、ホクレン参事の那須氏などが執筆、最後の二ヶ月は本会参事の「ばんえい」を掲載した。



森下とみ子さん

◎森下とみ子さん(旭川)

ベルシュロン種が繰りひろげるばんえいレースは今や人気絶頂、鈍重、豪快、男性的、こんな光景の中にあつて、彼女の存在は華麗、男っぽい競馬場に咲く一輪の花といえればキザだろうか。

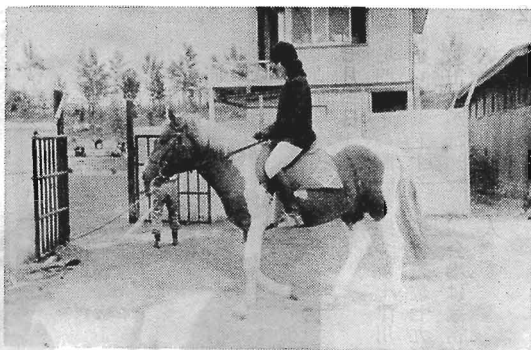
「馬って可愛いわ、人間と違って純粹ですね」、あどけなさが残る顔がニコッと笑つた。一児のママ、主婦のアルバイトとしては異色だ、旭川乗馬クラブ会員。

◎鈴木泰子さん(岩見沢)

スポニチのコラム「話題の人」に大判の写真入りで紹介される。

「ウマ年だから馬が好きなんです」と乗馬が恋人の看護婦さん、ファンからは「場内のムードをやわらげる」と大好評、岩見沢の放つたクリンヒットか、市立病院外科に勤務する。

「落馬は何回したかですって？まだ一度も落ちていませんよ、ファンの中には私の落馬を期待している方もいらっしゃるみたいけど」とベロツと舌を出した、二年前十九才のとき「時雨流」舞踊の名取りになった。



鈴木康子さん

17 十一月十六日 HBC TV

ニュースにばんえいを放送。

九百キロ以上の重ばん馬の激しい調教ぶりを見せる、筋肉が躍動し吐く息は白い、それは健康の象徴のようだ、冬山造材で鍛えるばんえい競走馬は、本道開発の歴史と共に歩んできた、姿は美しくはないが、三馬力四馬力の力を発揮する。ことし(50年)のばんえいは終る、競馬場は雪景色だ、休む間もなく調教にはげむ、栄光のゴール目指して、四分。

18 十一月十五日 HBC TV

HBCの「ばんえいハイライト」は、道北振興Kのスポンサーで48年から始まって今年は三年目、ことしは五月三日の土曜日第一回から全二八回十一月八日まで終了した、放送時間は毎土曜にP

M十一時三十分から十分間。ことしは道管競馬も同じHBCから五月十三日第一回、十月三十日最終回まで全十七回各回十分間のPR放送を行った。

ばんえい放送は二十九回目を総集編として、最終の帯広競馬第一日十一月九日に、柴田アナの司会で、帯広市吉田主幹、山協力会副会長、本会鈴木事務局長が、一年間のばんえい回顧と、将来の展望などについて語り合った。これは十一月十五日PM十一時十五分から十五分間にわたり放送された。



札幌雪祭り

19 十二月十三日 道新

連載記事「来年はどうなる」4

「ファンに見離される前に、信頼回復一直線」の見出しで、旭川市鈴木委員長の談話を中心に、写真入り八段三四行の紙面を充当して、明年への抱負を掲載している、その一節、鈴木さんは前任者の突然の死で現ポストについたのは五月から、それだけに降って湧いたような不正事件に同情の声もある。

20 51一月二十二日 NHK TV

ニュースに「石炭運搬」

芦別市の貯炭場から、石炭を馬そり運搬する三頭の馬を紹介する。以前はこの仕事に五十頭もの馬が働いていたが、今は三頭だけ、二頭は農家馬で農閑期を利



札幌雪祭り

用しての労働だけ、車と違い馬そりは小回りかき、小路でも行けるところに馬ならではの良さがあり、家庭の軒先きまで石炭を運んでいく、炭坑街をいく馬そ

りは北国の風物詩といったところ、佳作、翌二十三日も朝七時のニュースで再放送された、一頭の馬は調教師の嘉見さんだった。

21 51一月二十四日 道新

「クリン化へ第一弾」

社会面五段抜きの大見出しで「そり積載物一新「空洞をなくし不正防止」と、本会が一昨年来研究を続けてきた新型鉄そりと重量物を詳細に報道、前日の一月二十三日、同様の記事が北海道タイムスにも掲載された、これは一月二十日の本会総会で決定されたため。

22 札幌雪まつりに「ばんえい像」

1月31日から始まった札幌の雪まつりにばんえいの大雪像がお目見得した、題は「ムツゴロのばん馬競走」、場所は大通り九丁目、札幌雪まつりは雪像百十九、氷像百十四が大通り会場と真駒内会場に展示されたが、「ばん馬競走」はやや大型といったところ。

初日七十万人の人数を見たが、ばんえい像の前は人だかりが多く人気は抜群だった、企画、製作は札幌工業高校工芸科OBグループ、その製作趣旨に曰く

機械にばかり頼る生活

作業能率からいえば仕方がないことだが、北海道の原野には馬がよく似合う。

人と馬とがドロロンコになって

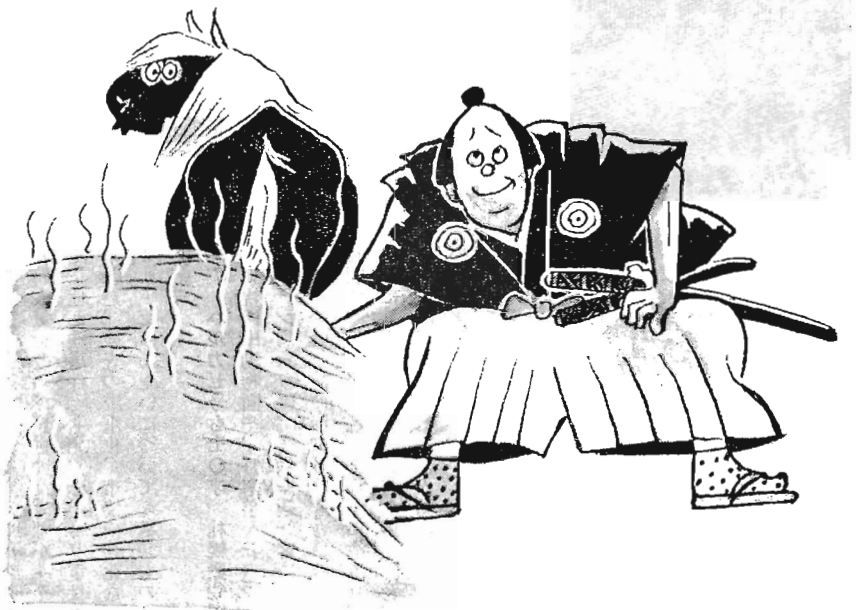
力と力のぶつかり合い

北のまつりのばん馬競走!

豪快な表現、権図、造型美、共に傑作。



札幌雪祭り2日目暖気と雨で水溜りができた



23 51二月一日 NHK TV

「土さんこ牧場に東京娘」

網走郊外に土産こ牧場がある、ここに東京の会社つとめをやめてやってきた娘さん二人がいる、かつてカニ族として北海道旅行をしたとき、土産馬を見てその素朴な姿、強い生命力にとりつかれて矢も楯もたまず、やってきたのだとい

う。

土産この物凄いそりの特訓が、雪をけちらして行われる、手綱さばきもうまく「もう大丈夫」と牧場主の加藤さんは太鼓判を押している。

流水見物にやってくる観光客をのせて、北海道の冬を満喫させようという、

冬の原野を五台の土産馬そりが地吹雪あ

げて走る、そのうち二台には娘さんが乗っての猛訓練。

24 そのほか

(1) 蹄鉄千百個が体育館に

十月二十四日道新のコラム「こだま」

は「開拓の労苦は人間だけじゃない、馬の活躍を後世に残そうではないか」と、

上川管内東川金町から蹄鉄約千百枚を集

め、近く完成する東川中学位体育館の壁面に埋め込む計画をのせている、昔から稲作が主で馬の恩恵を受け、軍馬供出全道一となったこともある。しかし農業機械化で馬はぐっと減ってしまった。

「これではお馬さまに申訳ない」と中川町長が町民に呼びかけ、納屋などに放置されていた鉄を集めた、赤サビだらけの鉄を焼き直し、再生の役目を無料で奉仕しているのはかつて全国第二位の実力装蹄師だった同町新聞店主沖さん(62)と無職の宮本さん(70)のお二人、何ともほほ笑ましい話。

(2) 馬ふん推肥は冬でも六度以上

八月二十七日NHKラジオ朝の放送「趣味の手帖」で東京学芸大学の市川武雄助教授は往時の畜力利用は南西地方で牛、東北地方では馬が発達したと、その歴史を興味深く解説している。

その中に馬は一朝有事の際は兵力として戦場を駆けめぐり、平時は農耕運搬に従事していた、特に馬ふんで生産する堆肥は温度が高く(撰氏六度以上)寒冷地方に好適とされていたという一節がある。

(3) 海の中をこんぶ馬 NHK TV

七月十四日NHK TV PM七時半からのレギュラー番組「新日本紀行」は釧路霧多布の浜に働らく、こんぶ運搬馬を取り上げる。

こんぶ馬車は海の中まで入っていく、あちこちの波間に昆布を積んだ馬車が見えかくれする、陸から空から沖から珍ら

しいこんぶ馬が写し出される、海から上ると急に速度を増す、波と海水の抵抗がなくなるからだ、霧の中を馬はけなげに動く。

(4) 感心な母馬、子牛に授乳

わが子を失った母馬が、代りに子牛に乳を飲ませて育てあげ話題となっていて、と母馬に頬をすりよせて甘える子牛の写真を添えて報道している、この感心な母馬は尼寄町ラワンの農業木村平八さん所用の農馬で、重半血七才のタカラブネ号、この不思議な親子関係は誰もいない牧場で、人の知らないうちに自然にできたというのだから珍らしい話、十月十四日道新社会面。

(5) さよなら旭川競馬場

八月二十四日道新「さわやか、初秋に人出、移転前に最後のレース」昭和三年上川畜産組合が建設して以来、四十八年間の歴史をもつ旭川市花咲町の競馬場も八月二十四日のレースをもって姿を消す。

前日の台風でその日の朝まで降り続いた雨も、競走の始まる頃はすっかり上り快晴、最後の第十一レースの前にお別れの放送が場内に流れチョットしたさわめきが起きた。

最終レースのラッキーナンバーは「6-7」で配当金二、五〇〇円だった。

た。

(6) 十一月十八日 道新

「売上げ12%増 ばんえい競馬

不況も一掃、だが不正事件も発覚」

五十年度のばんえい競馬は十一月十七日第四回帯広競馬をもって、十七回一〇二回の全レースを終了した、売上げは前年比十二%をオーバ、入場人員は昨年を約五万人も上回り、ばんえい競馬の幅広い人気を改めて裏付けた。だが「そり不正仕かけ事件」も発覚し、そり重量物の改造、検査の厳重化、市協の強化などクリンばんえいについての構想ものせている。

(7) ハルカセ号も七〇才 札幌動物園

札幌山動物園や、月寒羊ヶ丘のシャンシャン馬そりは、子供や観光客に大人気だが、動物園の春風号はもと小樽の貨物駅で、貨車の入れかえ作業に従事し、新聞にも大きく報道され有名馬だった、ことしは明けて十八才、人間ならさしづめ七十才をこえる。

老衰で引退ときまりあつぎの代馬を探したところ、「よかつたらウチの馬を使って」という申出が相次ぎ、職員が下検分をしたところみな「帯に短かし、たすきに長し」で先ずは不成功、東区の或る家では十五頭もいて「よりどりでもうぞ、無料で結構」ということだったが、馬主の好意も一頭五百万円も一千万円もするばんえい競走馬では、万が一怪我でもされたら大変と辞退、いずれも馬格が立派すぎ、手持ちの馬具では合わないの





で結局中止ときまり、四月からの馬車ま
ではなんとか探したすという。

(8) 「馬が好きで好きで」

もう一千回に近い道新の連載記事「人
脈北海道」は九一五回目をこんな見出し
で釧路標茶農協組合長齋藤良作氏を紹介
している。

二十九才のとき海産商から牧畜業に乗
りかえ、「一に忍耐、二に我慢、三四がな

くて五に辛棒」という信条と闘志で今日
を築いた努力の人、「最近牧草の品質が
低下し、特にミネラル分の不足が手痛
い、これは地方が低下しているためで、
土づくりから再出発しなければならな
い、機械化で衰退している馬産につい
ても、土づくりに必要な有機質肥料の確
保、肉利用などの面から再評価すべき
だ」と近來めざましい勢で、勃興しつ

ある釧路馬産の抱負を語っている。

(9) さて変わったところ

ばんえいではお馴染みの流行作家佐藤
愛子氏はSTV TV、朝のレギュラー番
組「頑張り人生」を担当、今後はばんえ
い騎手ナンバークワンなどに登場して貰っ
て、敵しい風土と社会の中でしたたかに
生きてきた体験などを話して貰い、人生
訓をえたいとしている。

◎ 演歌の流行歌手細川たかしは、真狩
町の出身だが、「父親は農耕馬の馬喰で

子供の頃はよく馬買いに行っていた、
私はプラオなど馬扱いでは今でも人に負
けない自信がある」と道新日曜版の連載
記事「ひろば」のインタビューで語って
いる。

(10) っこい 生きている

◎ 年々減少してきた農ばん馬頭数の維
持振興が、ばんえい競馬開催の意義であ
る、私達はそれがどれだけ貢献してい
るのか、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌に馬
が出てくると。

「馬がいる、馬が働いている、まだま
だ馬は必要なだ」と思うのである、自
信がつき勇気が湧いてくる。

◎ NHK天気予報の背景に

春のNHK天気予報の画面は、美しい
羊蹄山とその山麓を背景に、南尻別村で
農耕に従事する馬を見せている、UHB
の天気予報の背景にも雪と馬そりがで
てくる。

◎ ニッセイのおばちゃん今日も又

HBC、CMのひとつに白銀の平原

馬車・馬ソリ時代

馬に荷を背負わせるよ
り、車窓ひかされた方が
館内、といついで
粗末な馬車が登場した
のは明治4年のこと、
本格的な馬車や馬ソリ
の出現は明治10年、黒
田清隆のロシアみやげ
を改良したものが最初である。

馬鉄のはじまり

明治10年、石川縣の南と糸から石川縣ま
でレールが敷かれ、馬の力が走らなくなった。
これが馬
鉄のはじまり
だ。料金は
5銭で、
大乗りと
小乗りと
あり、本来は石川縣などで使われていた行
動の速い馬の馬鉄になった。

や、雪におおわれた森林を行く馬そりを、
素晴らしい北国の風物詩として見せる。

◎ 電気ジャリーのCMに

北国の美しい山と森と雪原を行く馬そ
り、冬山造材から帰ってきた旭川市の中村
さん一家の食事ときには電気ジャリーがあ
る。

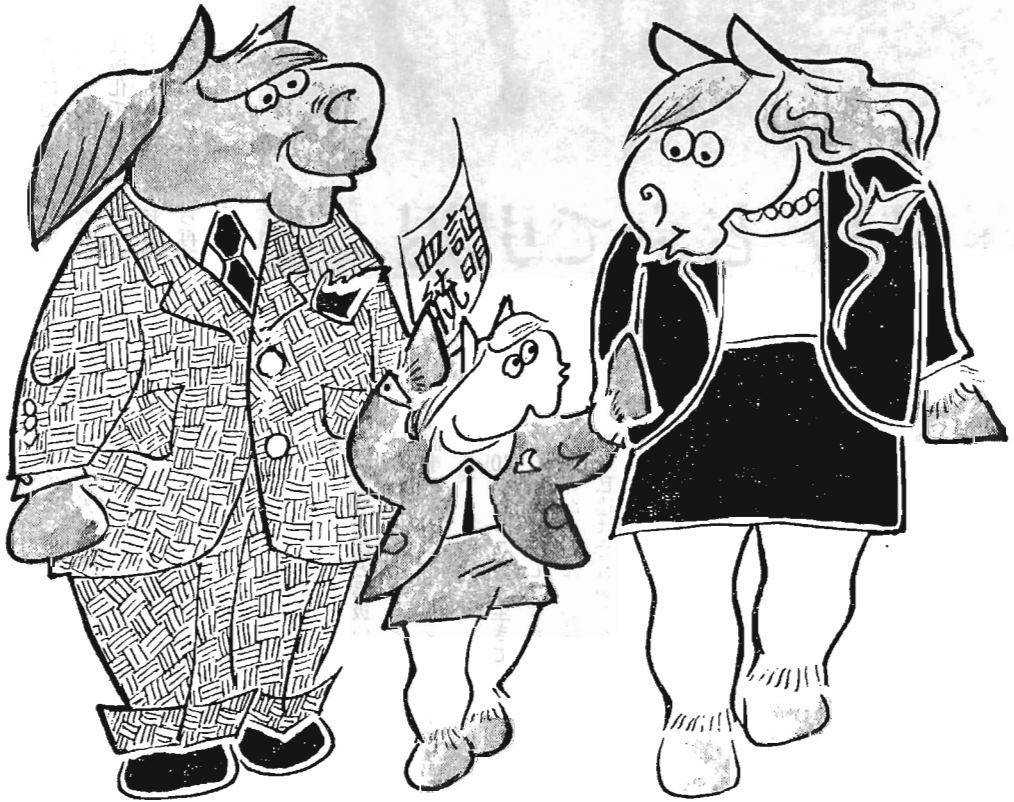
◎ 馬車馬そりから馬鉄に

道新の片隅に或る信組の気のきいた広
告が一週毎にのっている。さっぽろ物語
り「乗り物のうつりかわり」その(6)は馬
鉄、(7)は馬車馬そりであった。

この血統証がないと出られない

ばん馬血統証明新制度の発足と

その意義



愈々新しい農ばん馬血統登録規程が本年四月から発足する。

その前提として一昨年来日本馬事協会では、各地農協に依頼して準備調査（登録のための種牝と産駒の検査）を実施した、その成績は次のとおり。

年次 当才 牝馬 計

49年 一七四八頭二四五〇頭四一九八頭
50年 二三六二頭二九五五頭五三二七頭
計 四一〇〇頭五〇五九九五頭一五二〇頭

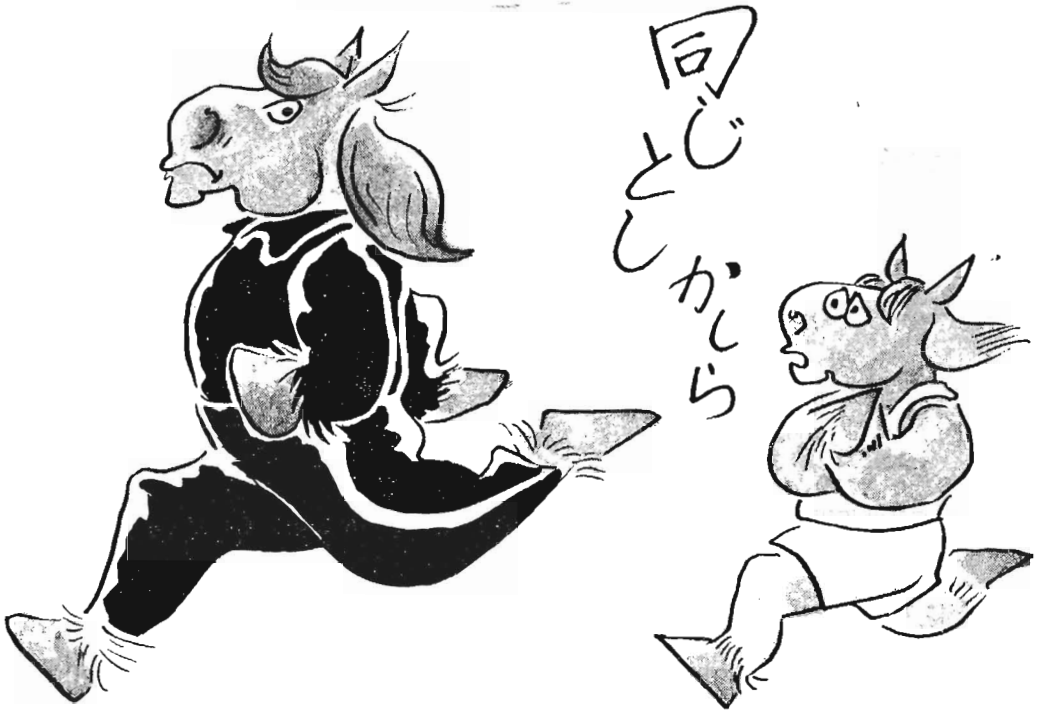
これは日本軽種馬登録協会が全国を統一してサラブレッド、アラブの血統登録をしているのと同様に、ペルシュロン、ブルトン、ベルジャンなど鞍型種、その他乗系種、小格馬も全国を一本にして日本馬事協会が実施することに、きまったからである。

このため従来の農協登録、農協発行の血統証明書は漸次消失していくことになる。

既にばんえい主催者は、本年新馬は血統証に実馬検査を受けたことを証明する三才でなければ受付けない方針を打出しており、且つ昭和五十三年以降の新馬は、日本馬事協会発行の種馬登録証明書（血統証明書）を持っている新馬でなければ出走できないこととしている。

つまり本年以降日本馬事協会の実馬検査（当才、やむをえない場合は二才）を受けた馬でなければ、五十三年以降は出走できないのである。

この新制度の施行により地方競馬全国協会は、ばんえい競走馬の馬名登録に際



し、日本馬事協会の発行する血統証明書がなければ登録しないことに、規定の改正を行うものと予想される。

一体農ばん馬になぜ血統証明書が必要なのか、良血良型良能力を保存改良するための蕃殖用ならば免も角、運搬や農耕に従事したり、栄養源に利用されるものに血統証明が必要などとは思われない。

ところが競馬となるとそうはいかない。血統が明らかでない混乱は極めて大きい、毎年どこかで不平がくすぶり出す。

誰かが六才の馬を四才にしている、八才を六才で出すのならまだいい方、五才を三才にして出すものがあるから悪いのだという。

周知のように現在では三オウクラスの負担重量は二〇〇キロ、六才以上では二六〇キロである（そりが重くなり四〇キロ減）、六才の馬が三オウレースに入っているのは、二十四才の若者が、十二才前後の子供の中に入って競走するようなものだ。毎年のようにこうした内報が入る。

そうしたとき、きまって要求されるのは全馬総検査をやって年令の違っている馬は追放すると同時に、相応の処分をせよというものだ。

やってみればそれほどもあるまいというのと、大変なことになるといふものと意見はまちまちである。幸い若令馬については調騎会が自主的に爾正をやってくれている。これでは穩健すぎると思うが、敗戦後馬政の空白、なだれ現象の頭

数の激減、血統証明事業の弱体化（赤字、実馬照合のとり止め）農ばん馬に対する消極性、馬産意欲の低下などから、怪しげなものが一部において横行した噂の時代があり、敵しく追及して処断するには、なお綿密な調査が必要だったからである。

特にこのことはファンに対しては、なんの影響がないということもあった。有利な競走条件にある若令馬のレースに侵入する年令ごまかしは悪質なので、調騎会の自主的清掃によって除外してきたのである。

ばんえい競馬の振展に伴ない農ばん馬資源の維持改良と、血統証明の重要性を取上げ、昭和四十七年懸案以来五年目にして愈々画期的一元化が実現する。これこそ公正なばんえい、躍進するばんえいのれい明である。

この実現に努力された農林省当局、地方競馬全国協会、日本馬事協会、道内各農協に対し深甚なる敬意を表したい。



昭和51年度番組編成要領

1. 出走馬の種類

重種，中間種（除軽半血種）とする。

2. 出走馬の資格

次の各号全部の条件をそなえていること。

- (1) 地方競馬全国協会の登録を受けた馬。
- (2) 新馬 3才馬のみ
古馬 12才以下（再登録馬は血統証明書に地方競馬全国協会の認印のある7才以下の馬）
- (3) 馬 体 重
3 才 650kg 以上の馬
4 才以上 700kg
- (4) 馬体検査，能力調教検査に合格した馬。

3. 出走の制限及び拒否

- (1) 外国産馬は出走できない。
- (2) こ疾の程度が重く，又は外観上みにくい馬。
- (3) 薬物検査で陽性となった馬は出走を拒否されている期間。
- (4) 出走取消をした馬は，その回の残余期間。
- (5) 尋常てい鉄を使用しない馬。
- (6) 調教が充分でない，へき馬及び失明馬（片眼馬を含む）
- (7) 委員長が公正確保上出走させることができないと認めた馬。

4. 出走頭数の制限及び競走の取り止め

- (1) 1競走における出走頭数は10頭以下とする。
- (2) 出走投票の結果，1競走の出走頭数が5頭以下の場合はその競走を取り止め新たに競走を設けることができる。ただし，偶発的事故又は疾病等により出走を取消し，又は競走除外，発走除外を命じた場合を除く。

5. 競走の区分

- (1) 取得賞金額（1着～5着まで）により，編成1年令別に次のとおりとする。
3 才 3才馬のみの編成とする。
4，5才 4，5才馬の混合編成とし，取得賞金額300万円以上の馬は，6才以上の競走に編入する。
6才以上 6才以上の混合編成とする。

6. 負担重量及び加増重量基準

- (1) 騎手の負担重量は73kgとする。
- (2) 牝馬は競走において10kg減量する。
- (3) 委員長の指定する騎手は普通競走において，通算勝利回数により10kg減量する。
- (4) 馬の年令重量
 - (イ) 3 才 馬
負担重量を200kgとし，本年度取得賞金額200万円未満は40万円につき10kg 200万円以上は80万円につき10kgを加増する。
 - (ロ) 4，5 才 馬
3才時よりの通算取得賞金により負担重量は下記のとおりとする。

| | | | | | | |
|------|-------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 取得賞金 | 300万円 未満 | 250万円 " | 200万円 " | 150万円 " | 100万円 " | 50万円 " |
| 負担重里 | 390kg | 280 | 270 | 260 | 250 | 250 |

取得賞金 300 万円以上の馬は 6 才以上に編入する。編入するときは同額賞金クラスに編入し、負担重量は 10kg を減量する。

(イ) 6 才以上

昭和 48 年以降の取得賞金により、負担重量は下記のとおりとする。

| | | | | | | | |
|------|-------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 取得賞金 | 600万円 以上 | 900万円 未満 | 750万円 " | 600万円 " | 450万円 " | 300万円 " | 150万円 " |
| 負担重里 | 360kg | 360 | 340 | 320 | 300 | 280 | 260 |

(ニ) オープン馬

昭和 48 年以降の取得賞金 900 万円以上の馬をオープンとする。900 万円以上の取得賞金に対し 300 万円につき 10kg の基礎加増をする。本年度の取得賞金につき 150 万円を超える額ごとに 10kg を加増する。

7. 希望編入

基準によらずに希望で編入できるのはオープンのみとし、番組編成会議で決定する編入できるのは第 1 回帯広競馬終了までとする。

8. 競走において、全般に高重量となるときは全馬の重量を一率に減ずることがある。

9. 取得賞金額は特に記載のない限り前回までの合計とする。

10. 騎乗回数数の制限

1 日の騎乗回数は 6 回を限度とする。ただし委員長の騎手変更命令の場合はこの限りでない。

(1) 騎手変更

騎乗変更をした騎手は理由の如何を問わず、変更した翌日の騎乗は認めない。

11. 騎手の減量について


委員長が指定する騎手は次のとおりとし、普通競走において当該騎手の騎乗する馬の負担重量を 10 減量する。

- (1) 数え年 30 才以下の騎乗専門騎手で 20 勝以下のもの
- (2) 減量期間は委員長の指定した年度より 3 年間とする
- (3) 減量騎手は出馬表に印で表示する。

12. この要領に定めるもの他番組編成上必要な事項については、番組編成会議で別に定める。

U.S.A ドラフト・ホース・ジャーナル 1976.4 より


MAPLE DRIVE FARM
FARMING "NATURALLY" WITH BELGIANS



Registered Belgian Horses Registered Jersey Carriage

Visitors Welcome
Observe our Organic Operation
MR. & MRS. R. D. McFARLAND & DAUGHTER
R. D. F., New Wilmington, Pa. 16142 Phone (AC.412) 946-8688

GROOTHUIS HEKFORF FARMS
Registered Belgians and Heavyweights
The Draft Horse and Beef Breeds Supreme




The 2 Johns out breaking Rich and Daisy who are out of Concord Sassy Boy.

Always a good selection of Hereford bulls for sale.

John Groothuis
571 miles North
Ph. 612-645-484

Lubert Groothuis
6 1/2 miles North

SMITHSIDE FARM
Breeder of Belgian Horses and Lumbering Cattle



Here is the young champion bred to Dr. Schaefer and later champion of New York State and also a champion of the Ohio State Fair and the Royal of the East of New York.

WE MAKE BARN TO IT WE ARE THE BEST BREEDERS and sell with stock, traps and other equipment with small stock.

SMITH BROTHERS
P. O. Box 294 Hollidaysburg, Pa. 16144

昭和51年度報償費

1. 馬主に関するもの

| | |
|------|--------|
| 輸送手当 | 7,000円 |
|------|--------|

(1) 賞金

競馬番組に示した金額

(2) 出走手当

次に該当する馬の馬主に対して支給する。

- ◎ア 競走に1回以上出走したとき
- ◎イ 特別報償金の受給資格のあるとき

| | |
|------|---------|
| 出走手当 | 30,000円 |
|------|---------|

(3) 着外手当

競走に出走し、6着以下の馬の馬主に対し、次の区分により支給する。

但し、失格及び競走中止の場合は支給しない。

| | | |
|------|------|--------------------|
| 重賞競走 | 1着賞金 | 300万円以上 90,000円 |
| | " | 300万円未満 35,000円 |

| | |
|------|---------|
| 特別競走 | 20,000円 |
|------|---------|

☆平場競走については手当は支給しない。

(4) 特別報償金

次に該当する馬の馬主に対して支給する。

- ◎ア 出走投票の結果、1競走の出走投票が5頭以下のため競走が取り止めになり出走できなかったとき。
- ◎イ 競走除外、発走除外等で同枠のため除外になったとき。
- ◎ウ 天災その他やむを得ない理由により開催当日に競走を取りやめたとき。

| | |
|------|---|
| アのとき | その競走の5着賞金、但し20,000円を限度とする。調教師賞、騎手賞、厩務員賞においてもこれに準ずる。 |
| イのとき | その競走の3着賞金、調教師賞、騎手賞、厩務員賞においてもこれは準ずる。 |
| ウのとき | その競走の賞金と着外賞金の合計額を出走予定頭数で按分した範囲額。 |

(5) 輸送手当

競馬場移動毎に1回以上出走した馬（特別報償金受給資格を有した馬を含む）の馬主に対し当該競馬毎に支給する。

2. 調教師、騎手に関するもの

競走に出走し、決勝線に到達した馬の調教専業騎手及び調騎兼業騎手に対し支給する。但し当該競走において戒告以上の処分を受けたとき及び委員長が支給することが不適当と認め、期間を定めて支給を停止したときは支給しない。

| 区 分 | 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
|--------|---------|---------|---------|--------|
| 調教専業騎手 | 22,000円 | 18,000円 | 13,000円 | 9,000円 |
| 調騎兼業騎手 | 8,000円 | 7,000円 | 6,000円 | 4,000円 |

3. 騎手に関するもの

(1) 騎手賞

競走に出走し、決勝線に到達した馬の騎手に対し支給する、但し当該競走において戒告以上の処分を受けた場合は支給しない。

| 区 分 | 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
|-----|---------|--------|--------|--------|
| 騎手賞 | 13,000円 | 9,000円 | 7,000円 | 5,000円 |

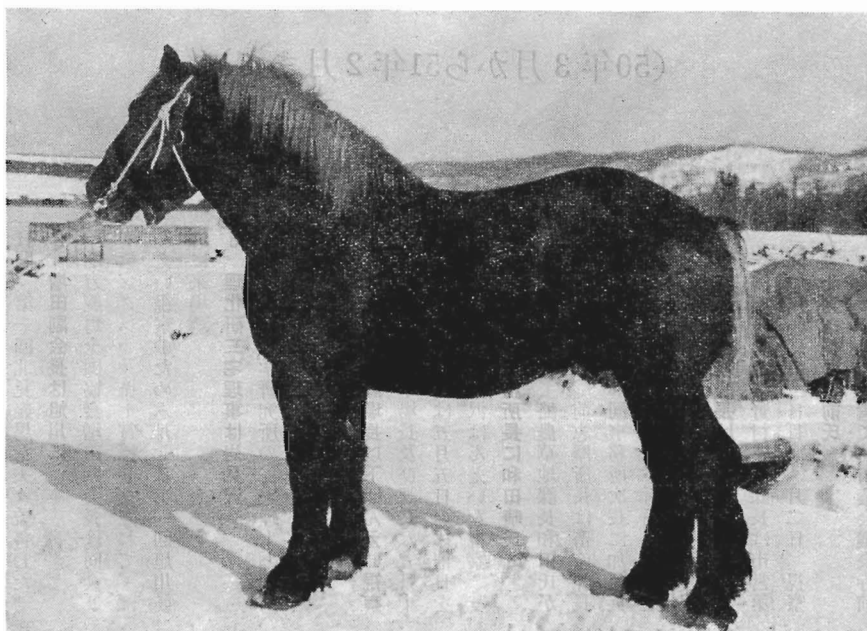
4. 厩務員に関するもの

出馬確定した馬の厩務員に対し支給する、但し当該競走において戒告以上の処分を受けたもの及び委員長が支給することが不適当と認め、期間を定めて支給を停止したときは支給しない。

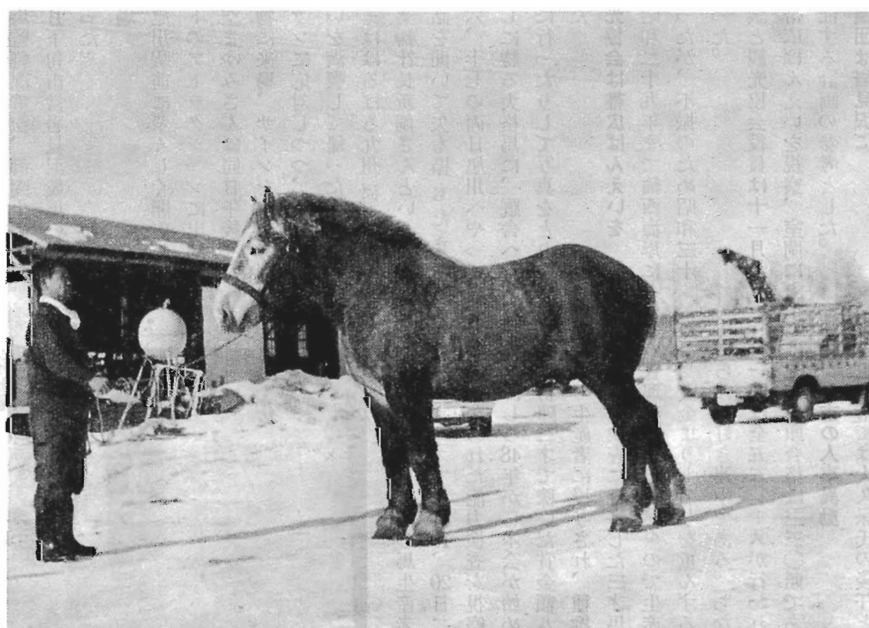
| 区 分 | 1 着 | 2 着 | 3 着 | 4着以下 |
|-------|---------|--------|--------|--------|
| 専業厩務員 | 11,000円 | 9,000円 | 7,000円 | 5,000円 |
| 兼業厩務員 | 4,500円 | 4,000円 | 3,500円 | 2,500円 |

昭和50年度仏国輸入馬

購買者 日本馬事協会 成田正美氏



アルクール号



ハンブルグ号

昭和50年度ばんえい便り

(50年3月から51年2月まで)

1 競馬監督

農林省競馬監督官北川(地方班長)野間両氏は9月21、22二日間第一回帯広競馬を、同河合、松本両氏は8月29、30二日間、第一回北見競馬を夫々監督した。

2 増田副会長は旭川に

地方競馬全国協会増田副会長は同会りーディングジョッキー賞授与を兼ねて、ばんえい視察のため六月七日第一回旭川競馬に來場。

3 理化研三宅理事は岩見沢

競走馬理化学研究所の三宅理事と細田顧問は七月十一日第一回岩見沢ばんえい競馬を視察。

4 中央札幌競馬場長以下ばんえい視察

中央の札幌池本場長及び課長は五月十一日、ほか全職員は五月五日の休催日を利用して夫々岩見沢ばんえいを視察。

5 道営競馬事務所長に和田晴氏

道の七月異動で酪農草地課長和田氏が道の所長に新任、前志摩所長は畜産課長に転出した。なお同事務所次長に加藤英彦氏、施設課長に島川氏が新任、前次長の神田氏は道協力会部長に転出した。

6 新潟の業務課長ばんえい視察

新潟県競馬組合野村業務課長は市営第三回旭川競馬第二日目(八月二日)視察

7 北見市長に寺前氏

四月の北見市長選で前市議會議長寺前武雄氏が新たに当選された。

8 地全協後藤監事は旭川に

地方競馬全国協会後藤監事、伊藤調査役は八月二日第三回旭川ばんえいを視察

9 旭川新競馬場の検査

新旭川競馬場施設検査のため農林省北川、野間両氏は九月十九、二十日來旭。

10 農林省会計検査

農林省競馬監督課重松、御園生両事務官は昨年十月下旬市営岩見沢競馬の会計検査を行なった。

11 珍客來場

八月十日旭川駅前豪華しく開店した西武デパートのアトラクションに出演の人気女優大空まゆみさんは同日午後ばんえい競馬見物に來場、サインを求めて押しよせるファンに應對しつつ、半日たっぷりばんえいを満喫して帰った。

12 室蘭観光協会は帯広ばんえいを

室蘭には昭和二十九年まで輪西海岸に競馬場があったが、不振のため昭和三十年廃止となった。

13 同市の市議と観光協会役員は十一月十日第四回帯広ばんえいを視察、室蘭にばん馬を開催する計画の参考とした。

北見市の市議十名は同市桜田課長、坂井主任技師の案内で七月二十五日第五回岩見沢ばんえいを視察。

14 土幌農協視察団は能力検査を

十勝土幌農協管内の馬生産者一行は、マイクロスパスで4月19、20二日間岩見沢で行なわれた能力検査を視察した。

15 各市の人事異動

旭川市では大久保氏の後任として農政部長鈴木次長が競馬専任の審議員に、北見市では高橋氏の転出に伴い、白岩氏が経済部長に新任、帯広市では競馬主幹係に向井主査以下三名が増員となった。



大空まゆみさんと愛児



50.4. 残雪の岩見沢能力検査の観衆

三日逝去、享年七十一才。ばんえい発足当初は道営であったが、道職員でばんえいの経験ある者は一人もいない。開催地元では誰か顔を出してさえ貰えば一切

は地元でやる、執務員はばん馬組合と農家がでて、万端やるからナニモやらんでよいということであった。当時の佐伯競馬課長が選んだのは当然のように瀬下さんであった。四十九年のHBC「ばんえいダイジェスト」では、その頃のことを「特に気転のきく心臓の強い職員を選んだ」と説明している。瀬下さんは学生時代、百米、砲丸投げ、スキー、水泳、弁論、絵画、創作と万能で可ならざるものはないという博学の士で、逸話も頗る多かった。



ありし日の瀬下さん

長となり、以来道営競馬運営委員として競馬に関与された。ばんえい競走との係り合いは、かつて本誌第三、四号に掲載した座談会で詳細に紹介している。氏の告別式は一月八日札幌市西本願寺でとり行なわれたが、氏の人徳を偲んでさしにも広い式場も会葬者で埋まり、七人の弔辞もあったが中でも印象深かったのは氏が学生時代から堪能した尺八の同人会々員十三名による追悼演奏であった。

さすが氏の高弟達の名演奏、曲は「恋慕流し」、素人には判らぬが追悼の曲だといわれる、その妙なる音色は静寂の堂に満ち列席者の涙を誘った。友人代表の村山豊氏の弔詞に「あなた

の怒った顔を見ることがなかった」という一節があったが、実に氏こそ温厚、柔和、大人物の風貌を備えた人だった。

◎ 鬼頭兼一氏
調教師鬼頭兼一氏は前年来兎角健康が勝れず入院加療中であつたが十一月三十日郷里の納内村で逝去された。

鬼頭さんはばんえい草創の頃からのベテラン、かつて農林大臣賞三回受賞のペンユウハ号で全道を席巻したことがあつた。近くはミサイルキング、鼻のあたりには赤味があつたが対称の整った名駿であつた。まるで鬼頭師と運命を共にするかのよう満年令で競走場裡から去つた。師は多いときは八頭位管理していたが、ほとんど奥さんと二人きりで馬の世話を

◎ 16 ばんえいの功労者相次いで物故
◎ 大久保吉蔵氏

前号で伝えたように四月一日すい臓癌のため逝去された。享年五十八才。

大久保さん生前の功労を讃えて、お盆の八月十五日第四回市営旭川競馬初日第九レースを、「故大久保吉蔵氏追悼特別競走」（一着賞金百二十万円）として挙行、四才以上オープン級七頭で行なわれたが、先頭群四頭が一線に並んで接戦の上、バラト（中西）が優勝した。このレースには市長、協力会長、馬主会長、追悼特別などの各賞があつたが、授与式には松本市長、大久保キョエ夫人、ご遺族も出席され、親しく賞杯を授与された。

このレースに出場した騎手七人のうちばんえい発足の頃から現在までやってきた騎手は中西関松君ただ一人、同君が勝つたのはこれも何にかの因縁か。

◎ 瀬下信三氏

前年暮からの心臓脚氣が悪化し、五月

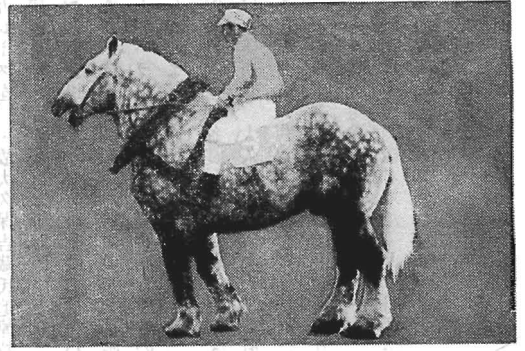


8月15日旭川 大久保氏追悼レース

◎ 佐伯才一氏

道の初代競馬課長佐伯才一氏が年末の十二月三十日急逝された。

佐伯さんは北大を出てから、すぐ道庁に入って馬役人としての第一歩を踏み出された。馬役人の佐伯さんは当然競馬との縁が深く、戦後昭和二十一年アメリカ進駐軍競馬を札幌でやった頃以来、指導監督の立場から本道競馬問題には常に中心的役割を果たした。昭和二十二年馬連競馬の発足に当っては、副会長として迎えられる、馬連がGHQの指令で解体となり昭和二十三年九月道営競馬の発足と同時に再び道職員として返り咲き、最も困難な時代の競馬担当者として努力された。昭和二十六年競馬課の廃止により畜産課



鬼頭さんとミサイルキング

していたほどの努力家であった。

かつて納内村の中農であった師は、ばんえいで家財を失ない、ばんえいで盛り返したというから、これはばんえい界の佳話である。吉重五

17 十勝、釧路にベルジャン種雄馬

十勝農協連では四月、米国からベルジャン種雄馬ジュン、デ、マレイ号を輸入し、幕別町に繋養、五〇年交配頭数は三四頭、釧路農協連では十一月阿部畜産部長を米国に派遣して、同じくベルジャン種雄馬コン・エレガント号(四才)を購入、本年二月下旬本国到着、大衆毛家畜センターに繋養した。

これで米国輸入ベルジャン種雄馬は早來町橋本牧場のサーティーファイ・ケイト・オブ・レヂストリー号、壮賢町森牧場のキャプテンオー号と合せて計四頭にな

った。

18 西部十勝産馬会の馬産熱

十勝西部の新得、清水、鹿追、芽室で結成している西部十勝産馬会は今後ばんえい用重ばん馬の生産を目指すこととなり十一月下旬同会竹迫理事と十勝農協連千葉課長が本会に種雄馬購買補助について陳情した。

19 十勝農協連で懇談会

十勝農協連武山畜産部長、千葉同課長は、十月三日日本会鈴木事務局長及び内田参与と当面の農ばん馬生産問題について懇談した。

20 新旭川競馬場の落成式

昨年整地を完了し年末から施設の建築に着手した新装の旭川競馬場は八月完成し九月十八日同競馬場で所有者上川生産連主催によって落成式を挙行、花月会館で披露宴があった。

21 札幌競馬場増築工事成式

中央競馬会札幌競馬場は工費四十億をかけてスタンド、厩舎、下見所、走路、地下道、トーター電設工事などを進めていたが、この程完成し豪壮な姿を札幌桑園の一角に現わした。

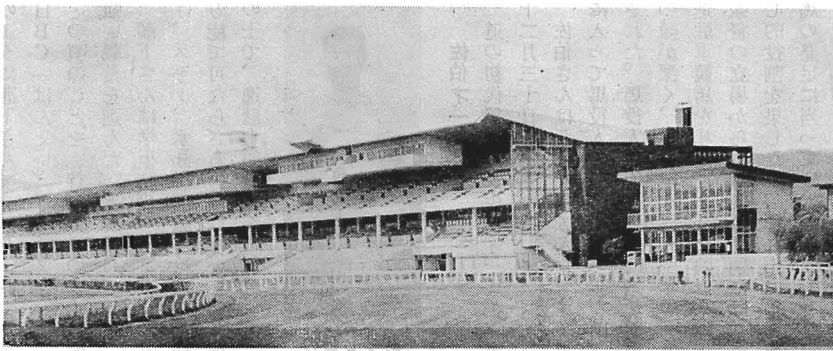
六月十六日落成式が行なわれたが、今回は本道地方競馬の全主催者が招待された、その陣容は府中、中山などの中央大競馬場にも匹敵する規模壮大なもの。

22 子供遊園に二頭馬車

各地競馬場にはそれぞれ子供遊園が設けられているが、北見競馬場ラウンドのレールを走る花馬車は二頭の馬のかたち

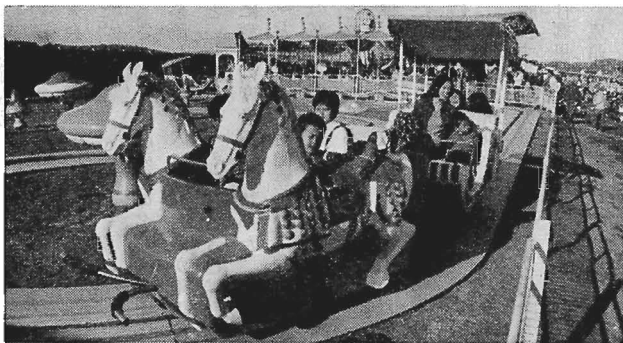
になっており連日押すな押すなの大人気、これでは北見競馬場は周囲の緑と共に、同市の楽しい名所となりそう。

24 売上上昇率約十三％は全国一
前年一四五億四千八百七十万円の売上高に対し、本年は一六四億二千四百四十九万円で約一三％の増となった。昨年の上昇率三六％(第五回北見を除く)に比較すると鈍化したかたちだが、それでも全



新装の札幌競馬場

昭和五〇年で姿を消す旭川花咲町の競馬場は立見席を走路側に三米拡幅し、美しいテント張り観覧席を設けて、せめてものファンサービスで四十八年間ファン

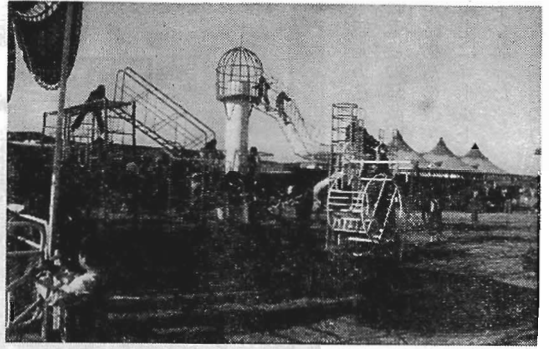


北見競馬場児童遊園

国一の上昇率といわれる。しかし入場人員は四万三千三百三十六名で前年比一・六％の減、これは本年度の全国的傾向らしい。

◎ 旭川

よき日程に恵まれて売上げは四六億二千四百万円、昨年の三六億七千五百万



北見競馬場児童遊園

に比較して二六%の伸びで上昇率全国第

二位(第一位は道営岩見沢三二%)

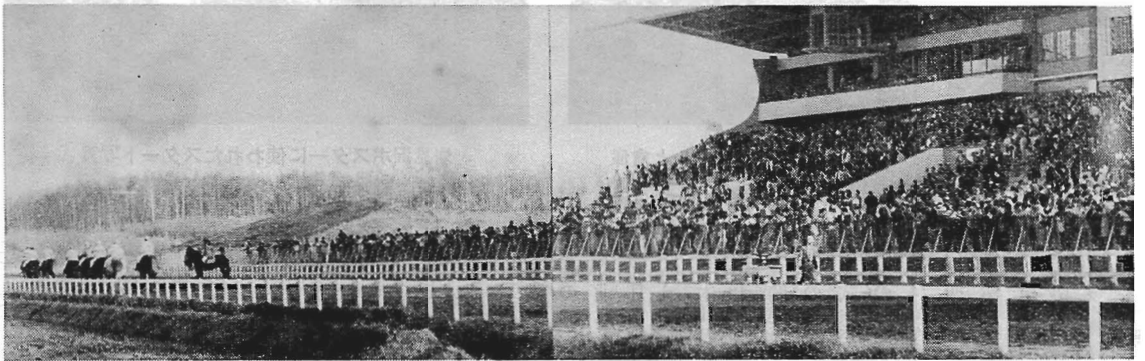
◎ 北見

北見は三三億二千四百万円、前年特認開催の第五回を除く四回分では二六億四千二百五十万円に比し二五・八の上昇となる。

◎ 帯広

前年三四億九千九百万円に比し、本年度は三七億八百八十万円で五・七%の増である。一、二回は前年に比し減少を示し、十一月の最終回で売上げ十三億を突破、一日売上げ三億〇一二万円一レース五六二四万円などの新記録を作った。各回の売上昨年比をみると次のとおり。

- 回 四九年 五〇年
- 1 他 八五〇八二 万 七〇八二三 万



5月5日岩見沢ばんえい

- 2 九六五七二 八五〇一三
- 3 七五〇〇一 八三四〇六
- 4 九三二七三 一三一四一七

◎ 岩見沢

前年三八億、五〇年四七億であるが、特認開催の第一回分を除くと三五億九千七百万となり、前年に比較して九二、八%約七%の落ち込みである。

これは中央競馬との併催の影響によるものだが、従来は中央にぶつけてやっても年々上昇してきたのに、この年は札幌競馬場の大拡張で施設も環境も百二十万都市にふさわしく、飛躍的に改善されたため観客の足は札幌に吸収されたものと思われる。

25 帯広競馬場に高級ビーフハウス

帯広競馬場の所有者である十勝農協連は昨年スタンドその他の改築、場内外の改装整備に分けて、競馬センターを設立し駐車場の管理、ゴルフ練習場、テニスコート十面、サッカー競技場、ポニー乗馬遊園などを建設経営させたが、五〇年春正門横にビーフハウス煉瓦亭を開店、自営牧場で生産する牛肉の販売を始め、新しい競馬場にふさわしいシックな煉瓦つくり、マネージャーは畜大出の後藤さん、センターのチーフは前畜産部次長の永田氏である。

26 岩見沢物産展にばんえいポスター

岩見沢市は前年から、宣伝用に列車時刻表に日割などを入れ宣伝をかねてファンの利便をはかったが、その表紙にばんえいスタートの秀作をのせ、頗る好評。



この写真は札幌地下鉄車内ポスターにも使われ、なお大阪で催された岩見沢物産展のポスターにも高級印刷で使用された。当年の各市ポスターには佳作が多かったが、とりわけ岩見沢のは道市営を通じての傑作といわれる。

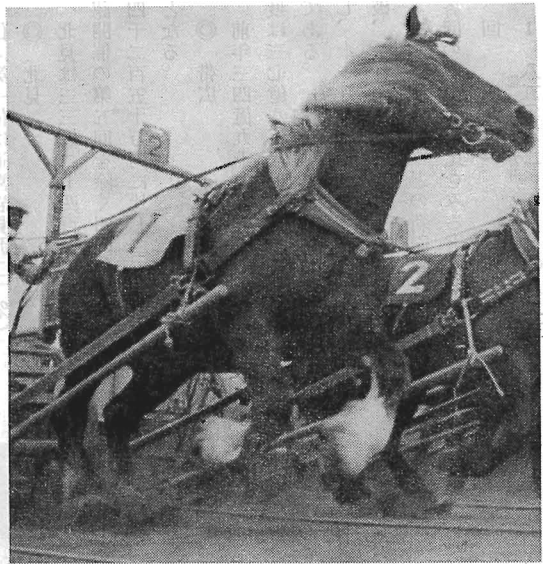
27 岩見沢に自動車

岩見沢はそり重量物などの格納庫を改装し、トラック運行に自動車を採用、レールは国鉄と同型に改造整備、更に秋からスタンドの増築工事にかかった。

28 帯広のゴール照射装置

十一月中旬までの最終競馬は帯広としては始めて、冬の空は曇天の日など午後三時頃から、つるべ落しに暗くなっていく、着順判定の万全を期して対面タワーに20Kの燭光を装備し、無事初冬のばんえい競馬を終った。

29 着順写真にテレビ送像装置

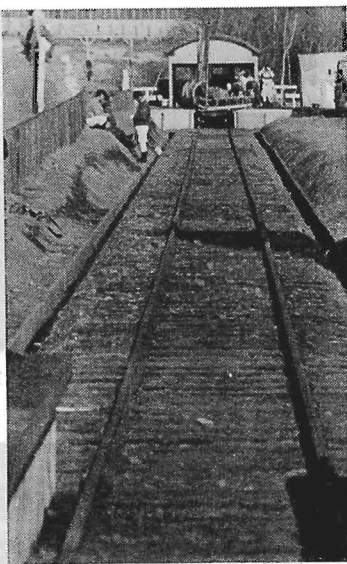


岩見沢ポスターに使われたスタート写真

ワリーに二台のカメラを備えつけ、たとえ一台が故障しても、他の一台が作動しているという万全の策を講じた。

対面写真はテレビ送像装置により、レース終了後、いち早く、審判委員席のテレビに写し出される。この方法は競馬ではばんえいが始めて採用したものである。

30 騎手試験

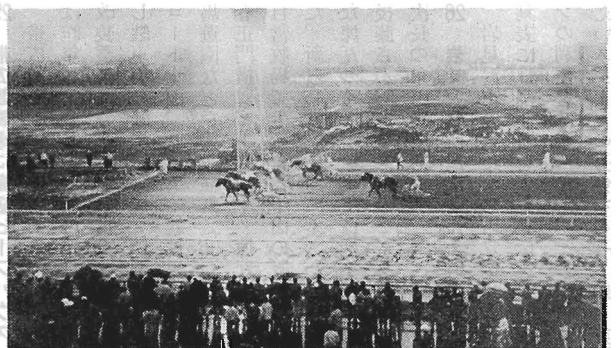


改築した岩見沢レーンと倉庫

ことしの騎手試験は第二回北見競馬中休日の九月十一日学力試験を、第二回帯広競馬中休日の九月三十日、十月一、二日の三日間健康、技術、人物の検査を行った。試験委員は全国協会の三浦公正部長、西村調査役、

競走方法の改善（第二障害の廃止、積載重量の軽減、取得賞金別能力区分制、走路構造の改善）により最近のばんえい競走はゴール上のきわどい接戦レースが多くなった。
着順判定の万全を期するために対面タ

伊藤免許課長、川村、野呂専門役、野崎課員の六名、受検者は調教專業二二名、調騎兼業四八名、騎乘專業四九名の計一一八名であった。騎乘專業希望者のうち新規は三三名で若齢者が断然多く、目前に迫っている調騎分離にそなえて騎乘專



11月帯広のゴール照射

業騎手の養成が急務。

31 本道地方競馬PRにカラー小冊子

本道の地方競馬主催者で組織している北海道地方公営競馬主催者協議会は本道の地方競馬を紹介する全頁カラー写真入りのB5判プリントを作製、ひろく競馬関係者や、来客に配布した。

また全国協会は同じく本道地方競馬の紹介パンフレットを作製したが、これはB6判、本道分二万部は九月に完成、一般に配付された。

32 ことしの大穴は

北見第三回第四日目第三レース（三才）で一着イトウホーム宮崎、二着パンチドリ広富と入り、連複二一、八八〇円が最

高、最低は第一回旭川第二日目第十レースの重賞「ばんえい優勝」で、一着ハクリユウ金山、二着タンリユウ前原と本命対抗が順調に入った上に、マシン水上が二着に喰いこみ同着となったので、ハクリユウ、タンリユウの3〜5が連複一〇〇円となったもの、ばんえいで百円代の払戻は珍しい。

33 全国協会主催実務研究会

ことは十一月六、七日二日間第三回帯広競馬中休日と返り初日に行なわれた。全国協会からは若月調査役、竹中教育課長、渋谷、浅川、川村、野呂、野口各専門役と安斉課員の八名、各市から十一名、本会から十二名、計三十一名が出席。

34 馬主会調教会の活動

(1) 騎手講習会



北海道地方公営競馬協議会刊パンフレット

ばんえい競馬調騎会主催の騎手講習会は七月十五日岩見沢で、九月三、四日北見で開催、学科、技術の講習を行なった。

特に昨年好評だった、相乗り教育、調教師が弟子のそりに同乗して直接馱法を指導するという方法は、八月旭川で実施した。また新人騎手研修会は九月二十五日帯広で行なわれ受講者は六名ずつ、五レースに分れて本会技術師と先輩調教師の指導の下に、本番同様のレースを展開、日頃の腕を競った。

(2) 健康診断

六月九、十、十一日の三日間旭川競馬中休日を利用して、同市保健所において調教師、騎手八一名の健康診断を行なった。

その結果更に専門医の指示又は診断を受けるよう勧奨された者は次のとおり。

胸部(心) 関係一、尿関係五、心電図関係一四、血圧関係六

(いずれも軽微)

(3) 騎手厩務員にヘルメット

ばんえいは平地競走の落馬事故のような危険は皆無であるが、ゲート内などの不測の事故防止のため騎手と、ゲートイン作業に従事する厩務員は必ずヘルメットを着用することとなり、本会から半額の補助を受けて八月から実施した。

(4) 厩舎内の交通規制標識

調騎会の厩舎自衛委員会は競馬場内の交通対策、調教そりの整理のため写真のような標識を要所に立て、会員の励行を

促した。

(5) 馬主会の共済事業

同会の主要事業は人馬の共済(準公傷は騎手の場合も馬主会で実施)であるが、本年度は騎手死亡一、厩務員負傷三、馬へい死一五、馬の傷病二七、計四六件給付総額一、三〇六万余円(うち会員負担九一一万円)であった。

(6) 出走馬資源対策

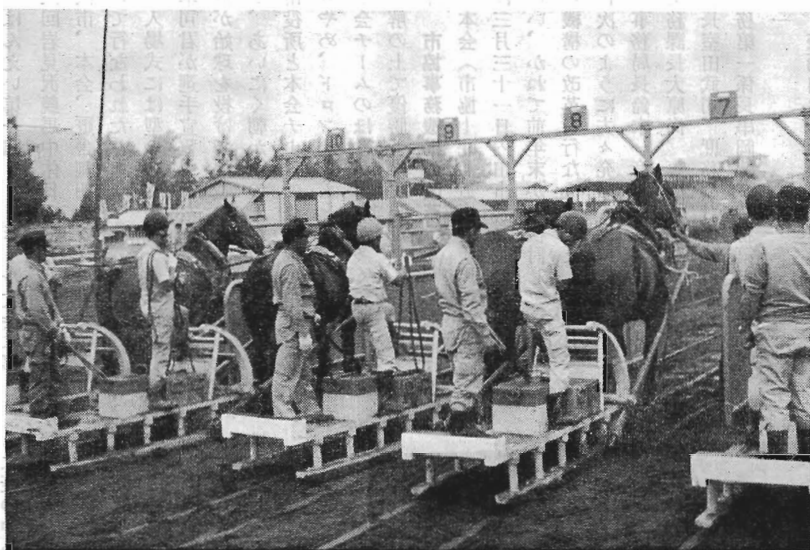
これも馬主会独自の事業、取得賞金ランク第五〇位までの馬に各一万円宛(一人一頭に限る)交付

35 騎手養成所で初の騎手訓練

全国協会では栃木県塩原の騎手養成所で、十二月八日から同十三日まで六日間、ばんえい騎手の短期訓練を実施した。

これはばんえい競馬発足以来初めてのことで待望久しかったものである。

今回の訓練日課は次のとおりで、内容はなかなか敵しいもの、発展の一路を進



調騎会 同乗技術教育



スタートラインで調教師連

むばんえい将来に向けて、極めて有意義な催しであった。

起床点呼 六、〇〇

室内清掃 六、〇五―六、二五

体操 六、三〇―六、五〇
マラソン三キロ

既舎作業 七、〇〇―八、〇〇

朝食 八、〇〇

学科 八、三〇―九、三〇

実科 九、四〇―一、三〇

昼食 一、二〇

学科 一、三〇―一、六〇

既舎作業 一、六〇―一、五〇

夕食 一、七、二〇

馬管理 一、八、三〇―一、九、〇〇

自由時間 一、九、〇〇―二、〇〇

馬管理 二、〇〇―二、〇〇、三〇

入浴 二、〇〇、三〇―二、一〇、二〇

点呼就寝 二、一、三〇

講師

(教養所) 小熊所長、松村教養課長

(全国協会) 若月調査役、竹中教育課

長、名古屋、川村、野口、野呂各専門

役

訓練生

金山明彦、木村卓司、工藤正男、佐伯

義則、坂本東一、千葉良行、梨本照夫、

西邑春夫、久田守、平田義弘、山本正彦、

渋谷清榮、梶館勝夫、服部義幸、三浦弘

文、以上十五名(世話係、調騎会菊地職

員)なお本会業務課工藤技師が引率入所

36 ソフトボール大会

ばんえい第一回ソフトボール大会は第三回岩見沢競馬中休日の七月八日、岩見沢市、本会、既舎側四チームの計六チームで行なわれた。

入場式には型の如く騎手チームの木村卓司君が選手宣誓を行ない、谷村農務部長が始球を投げて熱戦の火ぶたを切ったが、あいにく朝からの雨が激しくなり、市役所と本会チームの決勝戦の途中で取りやめ、ドロンゲームとなった。しかし本会チームのほうが得点が多く各チーム了解の上で優勝としまった。

37 市協事務機構の改革

本会(市協―北海道市営競馬協議会)は三月三十一日内田事務局長の勇退に伴ない、かねて前年末から検討していた事務機構の改革を行なうこととし、四月一日次のように夫々発令した。

事務局長鈴木一彦、庶務課長藤沢博、業務課長大原尚、専門職小路口司、投票係長室田武司、庶務会計係長斉藤初男、業務第一係長串岡博、業務第二係長中村克一

38 豪雨出水の中の旭川ばんえい

花咲町競馬場の掉尾を飾る第四回旭川競馬の第五日目(八月二三日土曜日)は台風六号の影響を受けて前夜半から降り出した雨は一瞬も休まず、競馬の始まる頃は益々激しさを増して豪雨となり、水分は当年最高の一一・二%、第六レースあたりから西方の、通称チロリン村既舎から、第一障害附近までは一帯の出水であたかも沼のよう。スタートは膝を没す

る水濺の中から、水しぶきを上げての壮絶な発進となった。

幸い事故もなくこの回の売上は一三億九、九八四万円となり、ばんえいの記録を作った。

39 開催執務体制の強化

本会では市営ばんえい競馬開催執務体制の強化をはかるため、明年度から職員

を増加することとなり、二月十六日新規採用試験を行ない職員九名、嘱託員四名の採用を決定した。受験者は二十九名。この増員で本会職員は二十七名、嘱託員は十三名、計四十名となり、昭和四十三年発足当時九名だった陣容は九年目で四倍強となった。



ゴール附近の出水 旭川50・8・24

昭和50年祭典(記念)ばん馬主催団体名及び受賞者名

(順不同)

| 申請団体 | 会長名 | レース数 | 入場人員 | 出場頭数 | 受賞馬名 | 所有者名 |
|-------------|-------|------|-------|------|---------|-------|
| 和寒町鞍曳会 | 藤井辰夫 | 12 | 400 | 50 | ナカガフヒメ号 | 太田秋好 |
| 足寄町鞍馬協会 | 斉藤祐一 | 27 | 2,500 | 65 | 修栄号 | 永井満 |
| 新十津川町鞍馬競友会 | 渋川勝石 | 21 | 800 | 79 | 鉄宝号 | 中沢清元 |
| 美深町馬事振興会 | 南坂俊雄 | 16 | 2,500 | 65 | 山本号 | 山本昇 |
| 上渚滑馬事振興会 | 柏尾直一 | 18 | 550 | 55 | 一姫号 | 岡村基英 |
| 池田町鞍馬愛好会 | 田中弘 | 20 | 1,600 | 78 | ミスマキノ号 | 牧野一 |
| 鹿追町鞍馬会 | 佐渡一男 | 25 | 800 | 51 | サンカ号 | 小林道臣 |
| 阿寒町馬事振興会 | 斉藤太一 | 24 | 1,350 | 82 | 第二昭力号 | 尾屋義昭 |
| 弟子屈町馬産振興同志会 | 森田政雄 | 18 | 1,500 | 81 | 勝春号 | 岩田清二郎 |
| 置戸町山林労働組合 | 大淵金市 | 29 | 2,000 | 79 | ヒメボタン号 | 井出清登 |
| 音更町鞍馬競馬会 | 田村勝次郎 | 14 | 600 | 48 | フカノオーザ号 | 横田一 |

お礼の言葉 馬産奨励事業対策として、昭和48年度より発足以来三カ年間祭典(記念)ばん馬競走各主催者の御努力により、ばんえい北海道の発典にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。今後共祭典ばん馬競走到に御配慮の程お願い致します。

馬産奨励事業祭典(記念)ばん馬競走各支庁別3カ年間出場頭数調

| 支庁別 | 開催地 | 昭和48年 | 昭和49年 | 昭和50年 | 支庁別出場頭数 |
|--------|-------|---------|--------|-------|---------|
| 十勝 | 池田町 | 40頭 | 73頭 | 78頭 | 619頭 |
| | 足寄町 | 63 | 62 | 65 | |
| | 鹿追町 | 31 | 58 | 51 | |
| | 音更町 | 50 | 中止 | 48 | |
| 網走 | 丸瀬布町 | 56 | 中止 | 中止 | 253 |
| | 上渚滑町 | 申請書提出のみ | 66 | 55 | |
| | 置戸町 | 中止 | 終了報告なし | 76 | |
| 上川 | 佐呂間町 | 中止 | 〃 | 中止 | 362 |
| | 和寒町 | 54 | 51 | 50 | |
| | 美深町 | 67 | 75 | 65 | |
| 釧路 | 美瑛町 | 申請書提出のみ | 中止 | 中止 | 286 |
| | 愛別町 | 〃 | 中止 | 中止 | |
| | 阿寒町 | なし | なし | 82 | |
| 渡島 | 弟子屈町 | なし | なし | 81 | 196 |
| | 白糠町 | 63 | 60 | 中止 | |
| | 渡島農協 | 98 | 中止 | 中止 | |
| 胆振 | 大野町 | 98 | 中止 | 中止 | 0 |
| | 虻田町 | なし | 96 | 中止 | |
| 芦別市 | 芦別市 | 申請書提出のみ | 中止 | 中止 | 0 |
| 士別市 | 士別市 | 〃 | 中止 | 中止 | 0 |
| 空知 | 新十津川町 | なし | 42 | 79 | 121 |
| 道外青森 | 坂柳町 | なし | 145 | 中止 | 145 |
| 延出場頭数計 | — | — | — | — | 2,078頭 |

昭和50年度

馬産奨励に関する生産者賞種雄馬管理者賞受賞者名簿

(昭和51年3月10日現在確認済のもの)

| 受賞者名 | 住所 | 種雄馬管理者賞 | | | 生産者賞 | | | 賞金額 万円 | 賞金 交付方法 | |
|---------------|-----|-------------------|--|--|--|------------------|----------|-----------|----------------|--------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | | 生産した出走馬名 | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | | | 生年月日 |
| 南部 文夫 | 本別町 | 第2 アングリユー | キミフジ | 栄 昭 | 47. 5.11 | | | 3 | 本別農協経由 | |
| 佐藤 七郎 | " | 第32エタロン | バンサカエ | 初 風 | 47. 4.18 | | | 3 | " | |
| 玉井 茂 | 清水町 | | | | | トカチアサマ | 紀 秋 | 47. 4.20 | 5 | 清水農協経由 |
| 横溝 信男 | 芽室町 | 望 和 | トウカイザン | 第三春緑 | 47. 4.30 | | | 3 | 芽室農協経由 帯広支所 | |
| 御影農協 | 清水町 | キャンペロ | トカチアサマ イワミテンリユウ | 紀 秋 | 47. 4.20 | 第2勝錦 | 47. 4.18 | 6 | 御影農協経由 | |
| 霜野 猛 | " | | | | | イワミ テンリユウ | 第2勝錦 | 47. 4.18 | 5 | " |
| 斎藤 勝 | 豊頃町 | 鉄 鯉 | キンハル ジヤスマン トカチキング ジュンタカラ テツワカ テツリユウ | 金 春 宝 雄 鉄 徳 早 春 鉄 若 鉄 嵐 | 47. 5.20 47. 4.20 47. 4.13 47. 5. 9 47. 5. 2 47. 5.10 | | | 18 | 豊頃農協経由 | |
| 原田 純吉 | " | 丹 風 | マルヤマ タカラフラー(牝) バンセーコー フウザン ランサー | 豊 勇 男 花 豊 風 ハヤブサ 男 山 | 47. 4.15 47. 5.23 47. 5. 3 47. 3.25 47. 5.20 | | | 15 | " | |
| 菅谷 誠 | " | | | | | テツワカ | 鉄 若 | 47. 5. 2 | 5 | " |
| 佐藤 広義 | " | | | | | テツリユウ | 鉄 嵐 | 47. 5.10 | 5 | " |
| 松崎 サヨ | " | | | | | フウザン | ハヤブサ | 47. 3.25 | 5 | " |
| 広沢 政夫 | " | | | | | ジヤスマン | 宝 雄 | 47. 4.20 | 5 | " |
| 森 力蔵 | " | | | | | トカチキング | 鉄 徳 | 47. 4.13 | 5 | " |
| 岡崎 光明 | " | | | | | ランサー | 男 山 | 47. 5.20 | 5 | " |
| 野原 博 | " | | | | | タカラフラー (メス)のみ | 勇 花 | 47. 5.23 | 2 | " |
| 鈴木 有 | 音更町 | | | | | ナオブジ | 輪 島 | 47. 4.11 | 5 | 木野農協経由 |
| 忠類村農業 共済組合 | 忠類村 | オーロラ | シンハツコマ レンポー | 初 駒 烈 山 | 47. 5. 1 47. 4.20 | | | 6 | 忠類農協共済 | |
| 天野 松信 | 音更町 | 詠 旭 | エイキヨク ナオブジ アサヒタカラ | 春 駒 輪 島 旭 | 47. 5. 5 47. 4.11 47. 4.13 | | | 9 | 木野農協経由 | |
| 北村鉄太郎 | 池田町 | キブロク パトリシヤ | シンザンアサヒ トウヨーチカラ コマリユウ タカナミ ナカフフジ | キブロク18世 キブロク2世 晚 竜 勝 陽 勝 流 | 47. 5.10 47. 0.28 47. 4.30 47. 4.18 47. 4.18 | | | 15 | 池田町農協経由 | |
| 戸田 富男 | " | | | | | コマリユウ | 晚 竜 | 47. 4.30 | 5 | " |
| 成田 房吉 | " | | | | | タカナミ | 勝 陽 | 47. 4.18 | 5 | " |
| 今本 哲郎 | " | | | | | サチキリン | 飛 竜 | 47. 3.25 | 5 | " |
| 坂口義太郎 | " | | | | | シヨウグン | 梅 春 | 47. 4.23 | 5 | " |

| 受賞者名 | 住所 | 種 雄 馬 管 理 者 賞 | | | | 生 産 者 賞 | | | 賞金額 万円 | 賞 金 交付方法 |
|-------|------|---------------|--|--|--|-------------------|---------|----------------------|-----------|-------------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | | 生産した出走馬名 | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | | |
| 大村 雄三 | 池田町 | 第3 キヤンペロ | トンタカラ テンロウ アサヒモリ フジノオウカン シヨウグン サチキリン | キヤンベン 第二藤丸 キヤンベン 二世 初 梅 飛 | 47. 4.23 47. 4.10 47. 4.24 47. 4. 8 47. 4.23 47. 3.25 | | | 18 | 利別農協經由 | |
| 高島 農協 | " | 第3オデオン | ビバウシトツ (メス) | 紀 姫 | 47. 4. 4 | | | 3 | 高島農協經由 | |
| 永井喜久雄 | " | | | | | ビバウシトツ プ(メスのみ) | 紀 姫 | 47. 4. 4 | 2 | |
| 田村 勝 | 音更町 | 晏 栄 | ヒロクニ サカエダイヤ ワイルドマサイチ カツエイ ダイニカネヒロ ダイニバンユウハ ザオースビード コマカツエイ ヒカルフジ(メス) ラブホース(メス) | 第二勝栄 栄 第三勝栄 トウフクメジ 第一春駒 勇 晏 山 駒勝栄 姫百合 栄 | 47. 4.22 47. 4.16 47. 4.27 47. 3.27 47. 4.20 47. 4.17 47. 5. 4 47. 4.23 47. 4.14 47. 4. 5 | | | 30 | 音更農協經由 | |
| 音更農協 | " | ロツシーニ パピヨン | タイタン ビューマ ダイニハツナミ (メス) ソラチトツツ ホウオー | 協 培 勝 山 第二宝姫 勝 栄 蝶 順 | 47. 3.11 47. 4. 7 47. 4. 3 47. 5. 4 47. 4.11 | | | 15 | | |
| 村瀬 普一 | " | | | | | カツエイ | トウホクメジロ | 47. 3.27 | 5 | |
| 長沢 栄一 | " | | | | | ヒカルフジ (メス) | 姫百合 | 47. 4.17 | 7 | |
| 川端 正清 | " | | | | | アサヒタカラ サカエダイヤ | 旭 栄 | 47. 4.13 47. 4.16 | 10 | |
| 佐藤 孝助 | " | | | | | ラブホース (メス) | 栄 星 | 47. 4. 5 | 7 | |
| 高橋 惣六 | " | | | | | ダイニカネヒ ロ | 第一春駒 | 47. 4.20 | 5 | |
| 小田 勝 | " | | | | | ワイルドマサ イチ | 第三勝栄 | 47. 4.27 | 5 | |
| 毛利 忠夫 | " | | | | | コマカツエイ | 駒勝栄 | 47. 4.23 | 5 | |
| 鴨川 清 | " | | | | | ダイニハツナ ミ(メス) | 第二宝姫 | 47. 4. 3 | 7 | |
| 小森 元一 | " | | | | | エイキョク | 春 駒 | 47. 5. 5 | 5 | |
| 飯沼 満 | " | | | | | ザオースビード | 晏 山 | 47. 5. 4 | 5 | |
| 鈴木 栄 | 士幌町 | クスビドウ | ケンタッキー | 嵐 山 | 47. 4.15 | | | | 3 | 士幌農協經由 |
| 高橋 良治 | " | アリスト | ダイヤ | 勝 栄 | 47. 4.20 | | | | 3 | |
| 中島 孝一 | " | | | | | ダイニバンユ ウハ | 勇 | 47. 4.17 | 5 | |
| 上士幌農協 | 上士幌町 | ボヌール | ホツカイコマ キンボン アキズキオー | 福 宝 輝 宝 宝 雄 | 47. 4.25 47. 4. 5 47. 4. 1 | | | | 9 | 上士幌農協經由 |
| 宍戸 輝次 | " | | | | | キンボン | 輝 宝 | 47. 4. 5 | 5 | |
| 高橋 敏 | 足寄町 | ナデーヤ | パンヨシエ | 旭 | 47. 5. 3 | | | | 3 | 足寄町農協經由 |
| 只野 幸一 | " | ソイツク | タクマニシキ シロガネ キタシブキ | 錦 柳 修 豪 輪 島 | 47. 4.10 47. 3.17 47. 4.10 | | | | 9 | |
| 滝田 辰雄 | " | ウレマ | ハナニシキ | 白 老 | 47. 4.23 | | | | 3 | |
| 長野 茂 | " | ナオス雄 | タクマオウ トキノボル オビヤヒメ(メス) ムネカゼ | 誉 勇 雄 雄 姫 姫 桜 風 | 47. 4. 8 47. 5.10 47. 5.17 47. 5. 4 | | | | 12 | |

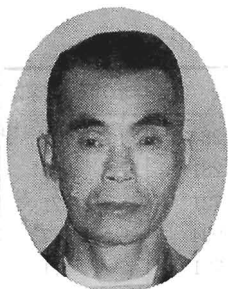
| 受賞者名 | 住所 | 種雄馬管理者賞 | | | 生産者賞 | | | 賞金額 万円 | 賞金 交付方法 | |
|-------|-----|---------|--|--|-------------|---------------------|----------|-----------|------------|---------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | | 生産した出走馬名 | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | | | 生年月日 |
| 中山 潔 | 足寄町 | | | | アサヒシンボル | 昭 雄 | 47. 4.17 | 5 | 足寄町農協經由 | |
| 川上 米吉 | " | | | | ダイニユウシン(メス) | ミス十勝 | 47. 3.15 | 7 | | |
| 石垣 政夫 | " | | | | バンヨシエ | 旭 | 47. 5. 3 | 5 | | |
| 石井 芳味 | " | | | | シロガネ | 修 豪 | 47. 3.17 | 5 | | |
| 帯谷 栄治 | " | | | | オビヤヒメ(メスのみ) | 桜 姫 | 47. 5.17 | 2 | | |
| 大樹町農協 | 大樹町 | 誠稔一 | ブラックジャガー ハナヒメオ(メス) | 松 島 47. 5.30 梅 宝 47. 4.15 | | | | 6 | 大樹町農協經由 | |
| 牧田 一敏 | " | | | | ハナヒメオ(メスのみ) | 梅 宝 | 47. 4.15 | 2 | | |
| 蓑野 恒夫 | 浦幌町 | アルフオール | ソウヤヒカリ | 昇 栄 47. 5. 3 | | | | 3 | 浦幌町農協經由 | |
| 小枝 重市 | " | 端 祥 | クロコマ | 北 祥 47. 5.10 | | | | 3 | | |
| 中川 利夫 | " | モダイ | オサム ユウミネ | 修 晏 47. 4.10 晏 宝 47. 5. 5 | | | | 6 | | |
| 小川 正一 | " | 浪 読 | ナカフキンリュウ キヨザクラ | 砂 鹿 47. 4.20 砂 鹿 47. 4.18 | | | | 6 | | |
| 坂口 寿雄 | " | | | | アズマユミ | 映 嘉 | 47. 4.28 | 5 | | |
| 富田 竹夫 | " | | | | クロコマ | 北 祥 | 47. 5.10 | 5 | | |
| 村中重太郎 | " | | | | オサム | 修 | 47. 4.10 | 5 | | |
| 杉山 政夫 | " | | | | ユウミネ | 晏 宝 | 47. 5. 5 | 5 | | |
| 砂原 繁雄 | " | | | | ナカフキンリュウ | 砂 鹿 | 47. 4.20 | 5 | | |
| 幕別町農協 | 幕別町 | ウルバン | トキヒカリ ダイイチウルバン ヤスヒラ | 二世ウルバン 47. 3.28 ウルガット三世 47. 3.30 世 錦立二世 47. 4. 5 | | | | 9 | | 幕別町農協經由 |
| 玉置 清 | " | バンコ | カミカワトツパ テツワン トカチヒカリ | 梯 盤 47. 4.20 秀 盤 47. 5. 9 第二バント 47. 4. 2 | | | | 9 | | |
| 庄司 高雄 | " | 叡 嘉 | ロウラボー アズマユミ | 叡 昭 47. 4. 7 映 嘉 47. 4.28 | | | | 6 | | |
| 姝尾 達男 | " | | | | タンリュウ | 丹 影 | 47. 4.24 | 5 | | |
| 矢竹喜一郎 | " | | | | ダイイチウルバン | ウルガット三世 47. 3.30 | | 5 | | |
| 南坂 正市 | " | | | | レイシヨウ | 丹 風 | 47. 4. 8 | 5 | | |
| 近石 義雄 | " | | | | テツワン | 秀 盤 | 47. 5. 9 | 5 | | |
| 大西 信夫 | " | | | | トキヒカリ | 二世ウルバン 47. 3.28 | | 5 | | |
| 高橋 宗吉 | " | | | | シロガネフジ | 映 禄 | 47. 4.15 | 5 | | |
| 原 綾子 | " | 丹 西 | シロガネフジ アサヒシルバ タンリュウ レイシヨウ | 映 禄 47. 4.15 協 禄 47. 4. 4 丹 影 47. 4.24 丹 風 47. 4. 8 | | | | 12 | | |
| 砂金 良治 | 白糠町 | メルキユール | マジン コンドル | 美 宝 47. 3.27 ハルニシキ 47. 4.20 | | | | 6 | 釧路農協連經由 | |
| 根本 満道 | " | 鋭 烈 | ソラチテツシン | 第一王隆 47. 4.29 | | | | 3 | | |
| 梶原 隆二 | 浜中町 | ケルエクラ | ロザン タカラカゲ | 山 桜 47. 4.10 宝 竜 47. 5.27 | ロザン | 山 桜 | 47. 4.10 | 11 | | |
| 松野 宏 | 白糠町 | ヴォルール | リュウザン カツエイカン ネムロアサヒ キリン イチエイザン | 幸 太 郎 47. 4. 2 宝 星 47. 4. 1 宝 山 47. 4. 2 桜 留 山 47. 4. 2 峯 留 山 47. 4.15 | | | | 15 | | |

| 受賞者名 | 住所 | 種 雄 馬 管 理 者 賞 | | | 生 産 者 賞 | | | 賞金額 万円 | 賞 金 交 付 方 法 | |
|---------|------|-------------------------|--|---|---|-----------|------|-----------|-------------|------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | | 生産した出走馬名 | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | | | 生年月日 |
| 中西 石松 | 弟子屈町 | 勝 山 | キクマル ヒカリジャパン シンヤマト クリヤマ | 第二勝山 勝 桜 光 山 光 進 | 47. 5. 5 47. 5. 11 47. 5. 20 47. 1. 27 | | | 12 | 釧路農協連経 由 | |
| 釧路農協連 | 釧路市 | ロカルノ | クシロシンザン | 栄 風 | 47. 4. 25 | | | 3 | | |
| 道下 知敏 | " | ベルサイユ | ダイニカッター | 勝 陽 | 47. 5. 15 | | | 3 | | |
| 斎藤 良作 | 標茶町 | 松 栄 | メジロカゲヒサ | 建 栄 | 47. 5. 15 | | | 3 | | |
| 大久保芳信 | 釧路市 | パテイロン | ヤマトマル | 和 駿 | 47. 5. 28 | | | 3 | | |
| 寺下 民男 | 白糠町 | | | マジン | 美 宝 | 47. 3. 27 | | 5 | | |
| 竹田 基栄 | " | | | ソラチテツシ | 第一玉隆 | 47. 4. 29 | | 5 | | |
| 大石 英雄 | " | | | キリン | 峯 留 | 47. 4. 2 | | 5 | | |
| 幌 延 農 協 | 幌延町 | モンテイ二世 | タカラヒカル | 角 栄 | 47. 5. 16 | | | 3 | 留萌生産連経 由 | |
| 雄信内農協 | 天塩町 | 第2ナオス | タカハヤテ | 雄之海 | 47. 4. 19 | | | 3 | | |
| 穂別町農協 | 穂別町 | 輝 彦 | シユウメイ | 初 駒 | 47. 4. 30 | | | 3 | 個人交付 | |
| 虻田町農協 | 虻田町 | 第二ロツシ ニ | イシノヒカリ キングバワ コウシヨウウ | ホクセイ 花清水 エタロン第一 ロツシニ | 47. 4. 25 47. 4. 1 47. 4. 26 | | | 9 | " | |
| 川越 繁春 | 壮瞥町 | 道 繁 | ムロランオーザ | 第5花山 | 47. 4. 19 | | | 3 | " | |
| 多村 計主 | 穂別町 | 盛 幸 | インタープリンス クリツバキ | 初 勇 栗 力 | 47. 4. 3 47. 4. 12 | | | 6 | " | |
| 近藤 直松 | 壮瞥町 | | | ムロランオーザ | 第5花山 | 47. 4. 19 | | 5 | " | |
| 野口 伝七 | 虻田町 | | | キングバワ | 花清水 | 47. 4. 1 | | 5 | " | |
| 工藤 正雄 | 穂別町 | | | シユウメイ | 初 駒 | 47. 4. 3 | | 5 | " | |
| 大森 信明 | 上磯町 | 晏 英 | イシカリバンライ ブルーキャシー | 勝花1号 豊 雄 | 47. 4. 16 47. 5. 30 | | | 6 | " | |
| 沢村 敏美 | 大野町 | | | ブルーキャシ ー | 勝花1号 | 47. 4. 16 | | 5 | " | |
| 鹿角 豊作 | " | | | イシカリバン ライ | 豊 雄 | 47. 5. 30 | | 5 | " | |
| 藤本 芳郎 | 美幌町 | ベルボンシエ ー ブデン | シヤリアラン カネマル ダイニボンシ ナカフキンザン アグネス(メス) ハツキントツブ ダイニライマンオー ビヒロテンリウ | シヤリヒカル 第二ベルヴオ ン 春 駒 金 山 白 雪 仏 硫 ニセヴオンシ ユ 天 龍 | 47. 5. 1 47. 5. 20 47. 5. 19 47. 5. 15 47. 4. 10 47. 4. 30 47. 4. 15 47. 5. 15 | | | 24 | " | |
| 衣笠 薫 | 網走市 | アプレス イスラエル二 世 | タカラオーカン ビヒロコマ カツホープ フクトマル カメタイチ(メス) カミハヤテ ダイイチエイシヨウ ワイルドニセイ ブルーキング タカラハヤト | 松 錦 汐 風 旭 星 春 山 第3寿花 第3アブ 栄 勝 浜 風 初 浪 金 星 | 47. 4. 24 47. 5. 2 47. 4. 5 47. 5. 8 47. 4. 25 47. 6. 17 47. 5. 10 47. 5. 15 47. 4. 10 47. 5. 17 | | | 30 | " | |
| 四栗 栄 | " | 二世ロツシ ニ | トツブエス タダヨシ ヤマトシンザン | ハヤブサ 駒 桜 黒 竜 | 47. 4. 23 47. 5. 8 47. 4. 20 | | | 9 | " | |
| 武田 長吉 | " | オナシス | シンタロー カツホーシヨ ハルザクラ(メス) | 芳 玉 宝 祝 オナシス姫 | 47. 5. 5 47. 4. 10 47. 5. 30 | | | 9 | " | |

| 受賞者名 | 住所 | 種雄馬管理者賞 | | | 生産者賞 | | | 賞金額 万円 | 賞金 交付方法 | |
|-------|------|-------------|------------------------------------|-------------------|---|------------------------|------|-----------|------------|------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | 生産した出走馬名 | | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | | | 生年月日 |
| 釣島 武 | 遠軽町 | 豊 雄 | アラミノル | 豊 藤 | 47. 5. 5 | | | 3 | 個人交付 | |
| 小路谷美雄 | 網走市 | 知 染 | ワカサ | 宝 染 | 47. 5. 1 | | | 3 | " | |
| 北口 与喜 | 北見市 | ケルネヴェー ズ | シユーホ フラノフジ サカエヤマ ダイイチオオフジ | 光 春 風 山 栄 昭 | 47. 5. 7 47. 4. 23 47. 4. 11 47. 4. 24 | | | 12 | " | |
| 雄武町農協 | 雄武町 | 第2大陽 | ダイニシンツ パメ | 遠 山 | 47. 4. 16 | | | 3 | 個人交付 | |
| 佐藤 五郎 | 札幌市 | 第2威富 | マサハル | トップオーザ | 47. 4. 20 | | | 3 | " | |
| 鴨部 彬 | 小清水町 | ビジュー | フジノセイコ トヨースター | 豊 駿 力 勇 | 47. 5. 1 47. 4. 12 | | | 6 | " | |
| 三浦 政且 | 紋別市 | 楓 朝 | ナカトツブ | 北 勝 | 47. 4. 30 | | | 3 | " | |
| 松田 隆三 | " | 丹 正 | ダイニユウセイ ハクホーヒメ(メス) | 勝 正 宝 玉 | 47. 4. 16 47. 4. 7 | | | 6 | " | |
| 久保 豊 | 東藻琴村 | 金 山 | バンセイマン | 万 盛 | 47. 3. 30 | アグネス (メス) | 白 雪 | 47. 4. 10 | 10 | " |
| 米山 勝利 | 常呂町 | 新 越 | ササザクラ | ササザクラ | 47. 5. 24 | | | 3 | " | |
| 池 和夫 | 滝上町 | 得 良 | シヨカンダケ | 清 山 | 47. 3. 27 | | | 3 | " | |
| 岡山 久雄 | 苫小牧市 | 農 円 | トヨイチ | 大 雄 | 47. 4. 20 | | | 3 | " | |
| 真鍋金太郎 | 女満別町 | | | シンタロー | 芳 玉 | 47. 5. 5 | | 5 | " | |
| 三好 安美 | 美幌町 | | | ハツキントツ プ | 仏 硫 | 47. 4. 30 | | 5 | " | |
| 松田 力雄 | 津別町 | | | ブルーキング | 初 浪 | 47. 4. 10 | | 5 | " | |
| 衣笠 義雄 | 網走市 | | | タカラハヤト タカラオーカン | 金 星 錦 | 47. 6. 17 47. 4. 24 | | 10 | " | |
| 川瀬 義雄 | " | | | タダヨシ | 駒 桜 | 47. 5. 8 | | 5 | " | |
| 二階堂忠雄 | " | | | ダイイチエイ シヨウ | 栄 勝 | 47. 5. 10 | | 5 | " | |
| 遠藤 敏 | " | | | ビホロコマ ワイルドニセイ | 汐 風 風 風 | 47. 5. 2 47. 5. 15 | | 10 | " | |
| 高橋 武蔵 | " | | | カツホーシヨ ー | 宝 祝 | 47. 4. 10 | | 5 | " | |
| 鈴木 正見 | " | | | ハルザクラ (メス) | オナシス姫 | 47. 5. 30 | | 7 | " | |
| 矢吹 健三 | 佐呂間町 | | | アラミノル | 豊 藤 | 47. 5. 5 | | 5 | " | |
| 猪狩 竹志 | 北見市 | | | サカエヤマ | 栄 山 | 47. 4. 11 | | 5 | " | |
| 北口 一夫 | " | | | ダイイチオオ フジ | 栄 昭 | 47. 4. 24 | | 5 | " | |
| 長谷川 清 | " | | | シユーホ | 光 | 47. 5. 7 | | 5 | " | |
| 沢田 力春 | 雄武町 | | | ダイニシンツ パメ | 遠 山 | 47. 4. 16 | | 5 | " | |
| 早川 誠一 | 東藻琴村 | | | カネマル | 第2ベルヴオン | 47. 5. 20 | | 5 | " | |
| 岩本 政治 | 当別町 | | | マサハル | トップオーザ | 47. 4. 20 | | 5 | " | |
| 原田 守 | 小清水町 | | | フジノセイコ ー | 豊 駿 | 47. 5. 1 | | 5 | " | |
| 小林福太郎 | 興部町 | | | ナカトツブ | 北 勝 | 47. 4. 30 | | 5 | " | |
| 畑添 寅男 | 紋別市 | | | ダイニユウセ イ | 勝 正 | 47. 4. 16 | | 5 | " | |
| 小林 清光 | 網走市 | | | カメタイチ (メスのみ) | 第3寿花 | 47. 4. 25 | | 2 | " | |
| 佐久間敬三 | 紋別市 | | | ハクホーヒメ (メスのみ) | 宝 玉 | 47. 4. 7 | | 2 | " | |

| 受賞者名 | 住所 | 種 雄 馬 管 理 者 賞 | | | 生 産 者 賞 | | | 賞金額 万円 | 賞 金 交付方法 | |
|-------|------|---------------|--------------------|------------|------------------------|-----------------|---------------|-----------|-------------|------|
| | | 種雄馬名 | 生産した出走馬名 | | | 生産した出走馬名 | | | | |
| | | | 出走馬名 | 血統馬名 | 生年月日 | 出走馬名 | 血統馬名 | | | 生年月日 |
| 三田村 勲 | 幕別町 | 十勝ニジュリヤ | ダイユウ | 第四藤金 | 47. 5. 10 | | | 3 | 個人交付 | |
| 浅野 光夫 | 稚内市 | 春 槍 | アタツカーカゲハヤブサ | 宝 来 柝の崎 | 47. 5. 3 47. 4. 28 | | | 6 | | |
| 半谷 良松 | 陸別町 | 第二オデオノ | アサヒシンボル ミスタタケトモ | 昭 雄 呂 栄 | 47. 4. 10 47. 4. 7 | | | 6 | 陸別町農協經由 | |
| 近藤 昇 | 〃 | | | | | ミスタタケトモ | 呂 栄 | 47. 4. 7 | 5 | |
| 橋本 豊 | 美唄市 | 呂 竜 | キヨニシキ キヨユキ | 清 竜 能 竜 | 47. 3. 27 47. 4. 11 | キヨユキ | 能 竜 | 47. 4. 11 | 11 | 個人 |
| 片山 光夫 | 長沼町 | 鋭 進 | ダイチミエ | 長 都 | 47. 5. 20 | | | 3 | 〃 | |
| 浅井 良一 | 美唄市 | | | | | キヨニシキ | 清 竜 | 47. 3. 27 | 5 | 〃 |
| 松尾 松次 | 長沼町 | | | | | ダイチミエ | 長 都 | 47. 5. 20 | 5 | 〃 |
| 有賀 義朝 | 中標津町 | 竜 松 | ダイニタキヒメ (メス) | タツヒメ | 47. 5. 24 | | | 3 | | |
| 笹木 勝雄 | 標津町 | 辰 初 | テツミドリ | 勇 俊 | 47. 4. 24 | テツミドリ | 勇 俊 | 47. 4. 24 | 8 | |
| 向山美代吉 | 別海町 | | | | | ダイニタキヒメ (メス) | タツヒメ | 47. 5. 24 | 7 | |
| 前田 正雄 | 豊浦町 | | | | | コウシヨオー | エタロン第一 ローニ | 47. 4. 26 | 5 | 個人 |

昭和50年度リーデングトレーナー



嘉 見 次 夫

| 順 位 | 調 教 師 名 | 勝率 $(\frac{1 \text{着回数}}{\text{出走延回数}})$ |
|-----|-----------|--|
| 1 | 宇 高 輝 次 | 0.210 |
| 2 | 嘉 見 次 夫 | 0.154 |
| 3 | 木 村 与 惣 治 | 0.150 |
| 4 | 南 坂 俊 雄 | 0.148 |
| 5 | 重 田 清 | 0.147 |



宇 高 輝 次

昭和50年度リーデングジョッキー



水 上 勲

| 順位 | 騎 手 名 | 1着 | 2着 | 3着 | 騎乗回数 |
|----|---------|----|----|----|------|
| 1 | 山 田 勇 作 | 76 | 42 | 55 | 434 |
| 2 | 水 上 勲 | 59 | 48 | 54 | 478 |
| 3 | 濁 上 昭 一 | 50 | 50 | 50 | 388 |
| 4 | 工 藤 正 男 | 44 | 53 | 31 | 334 |
| 5 | 氏 家 昭 | 50 | 38 | 39 | 302 |



山 田 勇 作

一トン座談会



司会者

「ことしも一屯座談会をいたしました。去年は二十一頭、今年は二十二頭です、毎年同じ位の会員数ですね」

ダイニミハル(一一〇一キロ)

「女性会員のタイホウ九八〇、タマカゼ九五三、二頭が目方不足で駄目、それにニジョウホウ九七五、ホーシユ九六三以上四頭が会員資格を失いました。あたしは昨年と同じようにカツタローさんの次にデブ、スマートになりたいわ」

カツタロー(一一二六キロ)

「ミハルちゃん、あんた立派だよ、取得賞金第二位、トクヨオーザに次いで稼ぎまくったのだから強いや、あっしは春不調で駄目」

ヒツショウ(一〇〇三キロ)

「不調のことはいわんで下さいよ、あっしなどは名ジョッキーン、Mのご両人でも調子が出ないんだ、参ったナア」

ハクリユウ(一〇二二キロ)

「不調といえばメジロタイヨーゴー

四六、トローヨー二八の二頭がテストで落ちてしまったね。馴じみの連中が出てこないと淋しいな」

コマバ(一〇一七キロ)

「ほんえいの能力試験は東大受験よりむずかしいって評判だよ」

ハヤツネ(一〇二二キロ)

「イヤほんとだ、それからタカラオー一〇一は満年令で明年引退、バンテツ一〇〇四はどうとう顔を見せなかったね」

司会者

「この会員はさすがに強いですよ、十二頭中十二頭がオーブクラスですからね、そこで女性唯一のりの新入会員フブキさんから会員を紹介して下さい」

フブキ(一〇三二キロ)

「アラ、あたしがするの、表の中に〇印がついているのが新会員です、どうぞよろしく」

1 トン 座 談 会 会 員

(22頭体重順)

| 格付 | 会 員 名 | 年 令 | 性 体 重 | 受 賞 額 | 50年受賞額 | |
|-----------|-------------|-----|-------|--------------------|---------------------|-------------------|
| オープン | カ ツ タ ロ ー | 9 | せ ん | 1,126 ^K | 2,284 ^{万円} | 701 ^{万円} |
| | ダ イ ニ ミ ハ ル | 10 | 牝 | 1,101 | 2,281 | 906 |
| | モ リ ヒ カ リ | 11 | せ ん | 1,036 | 721 | 271 |
| | ハ ヤ ツ ネ | 6 | 牝 | 1,021 | 994 | 577 |
| | コ マ バ | 7 | 牝 | 1,017 | 791 | 411 |
| | タ カ ラ オ ー | 12 | 牝 | 1,014 | 751 | 170 |
| | キ シ タ カ ラ | 9 | 牝 | 1,013 | 1,051 | 314 |
| | キ シ タ グ | 11 | 牝 | 1,012 | 1,025 | 586 |
| | ハ ク リ ユ ウ | 4 | 牡 | 1,012 | 1,341 | 757 |
| | イ シ カ リ ハ ヤ | 6 | せ ん | 1,009 | 791 | 353 |
| | ヒ ツ シ ヨ ウ | 10 | 牝 | 1,003 | 822 | 61 |
| エ イ シ ヨ ウ | 5 | 牝 | 1,001 | 776 | 585 | |
| 600万円以下 | ワ カ ソ ラ チ | 7 | 牡 | 1,052 | 502 | 187 |
| | サ カ エ ラ イ | 6 | 牝 | 1,004 | 542 | 237 |
| 500 " | シ ロ サ キ ベ ニ | 9 | せ ん | 1,009 | 424 | 169 |
| 400 " | ソ ラ ー | 6 | 牡 | 1,018 | 371 | 92 |
| | ノ チ ホ ー プ | 11 | せ ん | 1,015 | 358 | 206 |
| 200 " | ソ ウ ウ シ ャ | 7 | 牝 | 1,041 | 137 | 91 |
| | タ カ シ ャ | 8 | 牝 | 1,014 | 171 | 107 |
| 4.5 才 | フ カ ツ | 5 | 牝 | 1,032 | 236 | 173 |
| | ソ ホ ー シ ャ | 4 | 牝 | 1,020 | 168 | 79 |
| | ラ チ シ ャ | 5 | 牝 | 1,019 | 175 | 84 |

五十一年ばんえい第一報!

四月二十九日、ことしのばんえいが始

まった、開幕第一回の入場者は三五、四七九名、売上げは十億九千九百九十一万円。

旭川市神居町上雨紛の丘陵にある新競馬場は、はるかに十勝大雪の連山を眺望し穀倉上川の水田平野が前方に拡がり、背後はなだらかな丘々を包む緑と森の中に、農家が点在するという風光明媚の地にある。

北国五月の開幕は、早春の気温で、あいにくのもりと細雨に見舞われ、底冷えのする日が多かった。

三月の登録、伝貧検査、流感予防注射、四月の健康、実馬照合、体重、能力検査と、七ツの検査を受けた馬は六〇四頭、第一回能力検査の合格馬は二六六頭であった、そのほか昨年の競走成績が良く、能力検査を免除された馬が二三三頭いて、旭川第一回の出走資格馬は四八八頭であった。

第二回の能力検査は旭川の中休日五月四日に行なわれたが、受検馬八十三頭のうち三十一頭が合格した、合計して出走資格馬は五二〇頭となった。

第一回旭川競馬級別表によれば、三才馬九十八頭、種類はベル系七十四頭、ブルトン系二十一頭、アメリカクライズデールの仔二頭(いづれも牝)となつてい

る。

アメリカ系のトキヒメ号は第二日目第二レースに若冠山本正彦騎手が乗って初出走し、先頭集団のすぐあとにつけて第二障害に到着、この障害を四番目にこえたが、最後尾からきたロングパーク金山騎手に抜かれて五着(七頭立)

もう一頭のヒボタンリユウは第四日目第二レースに岡田騎手が乗って初出走、一障害から二障害までハナに立ってリードし、更に第二障害も真先きにこえたが、そのあと四番手にこえたタカミツ(父ベル 二世ロッシニ) 測上騎手断然強く忽ち先行三頭を抜いて先頭に出る。後続の各馬混戦となり微差六着に敗退、この日の馬場水分は三、五%のヤヤ軽馬場(八頭立)

五日目第七レースに行われた三才特別は全馬二三〇キロで、尾ヶ瀬騎手騎乗のカイザンオ(父ブル鉄鯉)が勝った。

四日目第九レースに行なわれた新競馬場完成記念四才オープンは一着賞金一五〇万円、本年初の重賞レースだったが、牝馬の駿足ダイニミハル号(父ベルオナシス) 木村騎手四五〇キロがトクヨオ一ザ、カツタロー、ニジヨウホウ、バンユウハの強豪をおさえて優勝した。

六日目第九レース大雪賞は本年重賞競

走の第二弾、四才以上九百万円未満クラス九頭立て争われたが、第二障害で先頭になったダイニミハル号(父ベルオナシス) 木村騎手が、追いつがる他馬

をふり切つて優勝、これで第一回の重賞二レースは馬主加賀谷英則氏、騎手木村卓司君の連覇となった。

第1回馬体検査 4月14, 15, 16日

| 年令 | 受検数 | 合格 | 不合格 | 再検数 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 3才 | 365 | 358 | 7 | 6 |
| 4才以上 | 239 | 236 | 3 | — |
| 計 | 604 | 594 | 10 | 6 |

能力検査成績

| 実施期日 | 格付 | 受検数 | 合格数 | 不合格数 |
|------------------------------|--------|-----|-----|------|
| 第1回 4月 21 22 23日 | 3才 | 294 | 111 | 183 |
| | 4.5才 | 168 | 106 | 62 |
| | 150万未満 | 41 | 30 | 11 |
| | 300万未満 | 19 | 19 | 0 |
| | 計 | 522 | 266 | 233 |
| 第2回 5月4日 | 3才 | 83 | 31 | 52 |
| 合計 | — | — | 297 | — |

昭和50年度賞金受賞ランク

3才

| 順位 | 馬名 | 血統 | 出走回数 | 着回数 | | | 賞金額 | |
|----|----------|-----------|----------------------|-----|---|---|-----|-----------|
| | | | | 1 | 2 | 3 | | |
| 1 | トクリュウ | ベル系 ベベ | 橋第2玉 朝姫 | 18 | 7 | 4 | 2 | 6,752,000 |
| 2 | アサミドリ | ベル系 重半 | 橋宝 朝姫 | 19 | 6 | 2 | 1 | 6,630,000 |
| 3 | サロマシンザン | ベル系 重半 | 二世 ナロッシーニ オオチー | 17 | 3 | 4 | 1 | 4,702,000 |
| 4 | カザン | ブル系 中半 | ベ勝 ルチー | 20 | 4 | 3 | 3 | 3,750,000 |
| 5 | カイショウ | ベル系 ベベ | 詠画 旭蘭 | 21 | 4 | 3 | 5 | 3,470,000 |
| 6 | トカチハヤテ | ブル系 中半 | 鉄第2初 鯉姫 | 15 | 4 | 3 | 0 | 3,140,000 |
| 7 | カワシルパー | ベル系 重半 | 産栄 日姫 | 18 | 4 | 4 | 1 | 3,102,000 |
| 8 | パンハヤテ | ベル系 重半 | アプレ ス桜 | 18 | 4 | 3 | 5 | 2,935,000 |
| 9 | ソラチホウシュウ | ベル系 重半 | 第2オデオ オン栄 | 18 | 3 | 0 | 3 | 2,900,000 |
| 10 | リウリキ | ベル系 重半 | 第2久山 都桜 | 18 | 4 | 4 | 2 | 2,700,000 |

4, 5才

| 順位 | 馬名 | 血統 | 出走回数 | 着回数 | | | 賞金額 | |
|----|----------|-----------|-------------------|-----|---|---|-----|-----------|
| | | | | 1 | 2 | 3 | | |
| 1 | ハクリュウ | ベル系 ブベ | タ九 ソブ一 陣勝 | 14 | 8 | 3 | 2 | 7,572,000 |
| 2 | エイショウ | ベル系 重半 | 宝栄 勝花 | 19 | 7 | 3 | 2 | 5,859,000 |
| 3 | テツワカ | ブル系 重半 | 鉄若 鯉桜 | 20 | 7 | 0 | 4 | 5,250,000 |
| 4 | タンリュウ | ベル系 ベベ | 丹影 西晏 | 14 | 4 | 5 | 0 | 4,585,000 |
| 5 | イチモンジ | 重半 重半 | 松黒 栄竜 | 21 | 4 | 1 | 3 | 4,569,000 |
| 6 | キプオーザン | ブル系 重半 | キ光 プロク 進 | 19 | 3 | 4 | 5 | 3,840,000 |
| 7 | サロマテンリュウ | 中半 中半 | 豊第2為 益姫 | 26 | 5 | 2 | 4 | 3,650,000 |
| 8 | ライデンオー | ベル系 重半 | 二世オデオ 福鋭 姫信 | 18 | 3 | 4 | 3 | 3,625,000 |
| 9 | ナカフムサン | ベル系 中半 | 鋭風 信吹 | 18 | 4 | 0 | 3 | 3,460,000 |
| 10 | ノヘジトップ | ベル系 中半 | オナシ 常 | 21 | 4 | 1 | 1 | 3,365,000 |

6才以上

| 順位 | 馬名 | 血統 | 出走回数 | 着回数 | | | 賞金額 | |
|----|--------|-----------|------------------|-----|---|---|-----|------------|
| | | | | 1 | 2 | 3 | | |
| 1 | トクヨオーザ | ベル系 中半 | カ夏 リ花 | 18 | 7 | 2 | 2 | 13,420,000 |
| 2 | ダイニミハル | ベル系 重半 | オ三 ナシ 春 | 21 | 4 | 5 | 4 | 9,060,000 |
| 3 | バラト | ベル系 重半 | 映朝 日 昭姫 | 24 | 4 | 3 | 2 | 7,064,000 |
| 4 | カツタロー | ベル系 ベベ | オ宝 ナシ ス明 | 21 | 2 | 1 | 5 | 7,014,000 |
| 5 | ニジョウホウ | ベル系 重半 | 鋭初 烈桜 | 19 | 4 | 5 | 3 | 6,989,000 |
| 6 | キンダ | ブル系 重半 | ナスフ オ一白 ス菊 | 25 | 4 | 6 | 5 | 5,863,000 |
| 7 | ハヤツネ | 重半 中半 | 丹第 一初 ス風 | 27 | 4 | 8 | 5 | 5,772,000 |
| 8 | ベンユウハ | 中半 重半 | ナ桜 オス 雄錦 | 24 | 2 | 4 | 3 | 5,384,000 |
| 9 | フジトップ | ベル系 ベベ | オ初 ナシ ス藤 | 21 | 2 | 5 | 2 | 5,249,000 |
| 10 | メジロアサヒ | ブル系 重半 | ロイ ヤ楠 ル成 | 28 | 2 | 2 | 6 | 5,016,000 |

昭和50年度種雄馬ランキング

6才以上

| 順位 | 種類 | 馬名 | 登 | 勝 | 取得賞金 | 主な出走馬 |
|----|----|----------|----|----|-------------------------|---------------|
| 1 | ベル | オナシス | 11 | 23 | 32,759,000 ^円 | ダイニミハル, カツタロー |
| 2 | ベル | 映昭 | 4 | 13 | 15,606,000 | バラト, ヤマトフジ |
| 3 | ベル | カリ | 2 | 9 | 14,041,000 | トクヨオーザ, リキヤマト |
| 4 | ブル | ブリシャード | 6 | 16 | 11,249,000 | タケコマ, ヨシイチ |
| 5 | ブル | ポテイロン | 5 | 11 | 9,687,000 | タカラ, トヨフジ |
| 6 | ベル | 丹風 | 3 | 6 | 8,871,000 | ハヤツネ, ワカテンリュウ |
| 7 | ベル | ベルヴォンシエー | 8 | 11 | 8,363,000 | ボンシー, ハルシリ |
| 8 | ブル | 陳倂 | 4 | 9 | 8,330,500 | ロンジ, カネイサミ |
| 9 | ブル | オラテール | 3 | 6 | 7,588,000 | カケコマ, モリヒカリ |
| 10 | ブル | 鋭烈 | 2 | 2 | 7,524,000 | ハジヨウホウ, キンホク |

4・5才

| 順位 | 種類 | 馬名 | 登 | 勝 | 取得賞金 | 主な出走馬 |
|----|-----|------|----|----|-------------------------|-----------------|
| 1 | ベル系 | 丹西 | 7 | 19 | 12,303,000 ^円 | タンリュウ, タツマキ |
| 2 | 重半 | 晏栄 | 10 | 25 | 10,620,000 | カツエイ, ヨイチシンザン |
| 3 | ブル | キプロク | 6 | 16 | 10,247,000 | キプオーザン, コマリユウ |
| 4 | ベル | アブレス | 10 | 20 | 9,279,500 | ブラックンサー, ブルーキング |
| 5 | ベル | タンブー | 2 | 8 | 7,851,000 | ハクリュウ, ハクショウグン |
| 6 | ベル | 宝勝 | 3 | 10 | 7,603,000 | エイショウ, ミスコハマ |
| 7 | ベル | オナシス | 7 | 15 | 7,518,000 | ノヘジトップ, マイチモンジ |
| 8 | ブル | 鉄鯉 | 5 | 9 | 7,403,000 | テツワカ, ジャスマン |
| 9 | ベル系 | ウルバン | 6 | 14 | 6,552,500 | イダテン, ホウエイオー |
| 10 | 中半 | 豊盃 | 2 | 7 | 4,580,000 | サロマテンリュウ, コマサカエ |

3才

| 順位 | 種類 | 馬名 | 登 | 勝 | 賞金額 | 主な出走馬 |
|----|----|---------|----|----|------------|----------------|
| 1 | ベル | 楓朝 | 10 | 32 | 22,470,000 | アサミドリ, トクリュウ |
| 2 | ブル | 鉄鯉 | 14 | 21 | 12,378,000 | トカチハヤテ, ヨシノテツ |
| 3 | ベル | アブレス | 8 | 18 | 8,338,000 | バンハヤテ, ブラックパワー |
| 4 | ベル | 詠旭 | 6 | 15 | 8,125,000 | カイショウ, コダマスピード |
| 5 | ベル | 二世ロッシーニ | 3 | 7 | 6,340,000 | サロマシンザン, ムツ |
| 6 | ブル | ボヌール | 6 | 10 | 5,400,500 | シホロテンリュウ, エルザ |
| 7 | ベル | 朗夕 | 3 | 8 | 5,009,500 | タイショオ, ヤマイサミ |
| 8 | ブル | キプロク | 4 | 7 | 4,932,000 | ニットチドリ, イトウホーム |
| 9 | ベル | 豊田 | 6 | 9 | 4,819,000 | コクリュウ, キンリュヒメ |
| 10 | ベル | 第2オデオン | 2 | 4 | 3,784,000 | ソラチホウシュウ, タマヒメ |

昭和50年度市営競馬成績

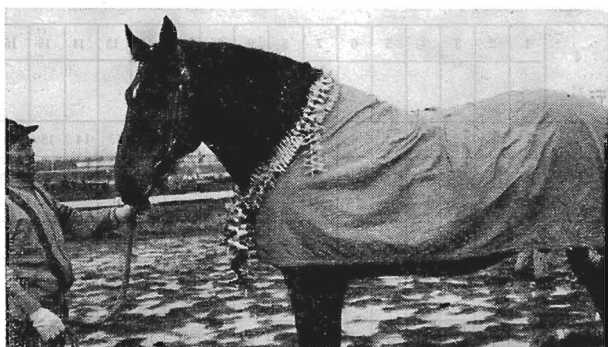
| 主催者 | 期別 | 売得金額 | 1日平均 | 報 償 費 | | 入場人員 | 1日平均 |
|------|----|---------------|-------------|-------------|-------------|---------|-------|
| | | | | 賞金額 | 馬主、騎手、厩務員分 | | |
| 旭川市 | 1 | 1,108,242,000 | 184,707,000 | 38,240,000 | 22,305,000 | 32,277 | 5,379 |
| | 2 | 1,128,720,600 | 188,120,100 | 40,530,000 | 26,856,500 | 27,023 | 4,503 |
| | 3 | 987,694,300 | 164,615,717 | 38,680,000 | 22,885,000 | 24,281 | 4,046 |
| | 4 | 1,399,840,600 | 233,306,767 | 48,200,000 | 27,639,000 | 36,819 | 6,136 |
| | 計 | 4,624,497,500 | 192,687,396 | 165,650,000 | 99,685,500 | 120,400 | 5,016 |
| 帯広市 | 1 | 708,238,000 | 118,039,667 | 37,960,000 | 25,680,000 | 22,550 | 3,708 |
| | 2 | 850,139,600 | 141,689,933 | 37,560,000 | 21,561,000 | 23,100 | 3,850 |
| | 3 | 834,065,600 | 139,010,933 | 40,160,000 | 26,338,500 | 19,760 | 3,293 |
| | 4 | 1,314,171,300 | 219,028,550 | 49,020,000 | 23,079,500 | 26,150 | 4,358 |
| | 計 | 3,706,614,500 | 154,442,270 | 164,700,000 | 96,659,000 | 91,260 | 3,802 |
| 北見市 | 1 | 707,043,600 | 117,840,600 | 29,060,000 | 24,853,000 | 21,887 | 3,647 |
| | 2 | 928,255,700 | 154,709,283 | 30,300,000 | 21,701,500 | 27,257 | 4,542 |
| | 3 | 705,162,300 | 125,027,050 | 33,760,000 | 25,227,000 | 16,902 | 2,817 |
| | 4 | 938,471,100 | 156,411,850 | 37,520,000 | 22,298,000 | 21,893 | 3,648 |
| | 計 | 3,323,932,700 | 138,497,196 | 130,640,000 | 94,079,000 | 87,939 | 3,664 |
| 岩見沢市 | 1 | 1,160,901,900 | 193,483,650 | 42,900,000 | 22,093,500 | 41,548 | 6,924 |
| | 2 | 971,511,400 | 161,918,567 | 36,980,000 | 21,396,500 | 28,468 | 4,744 |
| | 3 | 846,058,800 | 141,009,800 | 37,900,000 | 26,359,000 | 20,398 | 3,399 |
| | 4 | 790,375,100 | 131,729,183 | 38,820,000 | 23,348,000 | 17,407 | 2,901 |
| | 5 | 989,320,200 | 164,886,700 | 60,200,000 | 23,433,500 | 22,816 | 3,802 |
| | 計 | 4,758,167,400 | 158,605,580 | 216,800,000 | 116,630,500 | 130,637 | 4,354 |

昭和50年度道営競馬成績

| 競馬場 | 期別 | 売得金額 | 1日平均 | 賞金額 | 入場人員 (有料) | 1日平均 |
|-----|---------------|---------------|-------------|-------------|--------------|--------|
| 帯広 | 1 | 695,113,200 | 115,852,200 | 54,875,000 | 28,152 | 4,692 |
| | 2 | 629,246,200 | 104,874,366 | 58,885,000 | 21,195 | 3,532 |
| | 3 | 780,911,200 | 130,151,866 | 62,350,000 | 22,785 | 3,797 |
| | 4 | 864,587,400 | 144,097,900 | 63,175,000 | 23,505 | 3,917 |
| | 5 | 898,718,800 | 149,786,466 | 71,011,000 | 24,820 | 4,136 |
| | 計 | 3,868,576,800 | 128,952,560 | 310,296,000 | 120,457 | 4,015 |
| 岩見沢 | 1 | 1,493,976,400 | 248,996,066 | 53,515,000 | 41,929 | 6,988 |
| | 2 | 1,451,761,000 | 241,960,166 | 59,590,000 | 34,746 | 5,791 |
| | 3 | 1,896,450,800 | 316,075,133 | 63,555,000 | 46,970 | 7,827 |
| | 4 | 1,383,318,600 | 230,553,100 | 61,400,000 | 36,877 | 6,146 |
| | 5 | 1,518,101,400 | 253,016,900 | 79,850,000 | 33,794 | 5,632 |
| | 6 | 1,700,817,800 | 283,469,633 | 78,870,000 | 39,119 | 6,519 |
| 計 | 9,444,426,000 | 262,345,166 | 396,780,000 | 233,435 | 6,484 | |
| 旭川 | 1 | 1,046,570,800 | 174,428,466 | 77,710,000 | 29,150 | 4,858 |
| | 2 | 1,051,641,200 | 175,273,533 | 79,710,000 | 24,150 | 4,025 |
| | 計 | 2,098,212,000 | 174,851,000 | 156,800,000 | 53,300 | 4,441 |
| 札幌 | 1 | 2,736,647,000 | 456,107,833 | 87,730,000 | 75,647 | 12,607 |
| | 2 | 2,970,772,000 | 495,128,666 | 84,420,000 | 72,466 | 12,077 |
| | 3 | 3,676,274,600 | 612,712,433 | 109,250,000 | 93,238 | 15,539 |
| | 計 | 9,383,693,600 | 521,316,311 | 281,400,000 | 241,351 | 13,408 |

昭和50年度引退馬

| 年度 | 取得賞金額 |
|----|-----------|
| 41 | 44,000 円 |
| 42 | 35,000 |
| 43 | 396,500 |
| 44 | 396,500 |
| 45 | 503,500 |
| 46 | 944,500 |
| 47 | 1,369,000 |
| 48 | 1,268,000 |
| 49 | 3,115,000 |
| 50 | 1,761,000 |
| 計 | 9,832,500 |



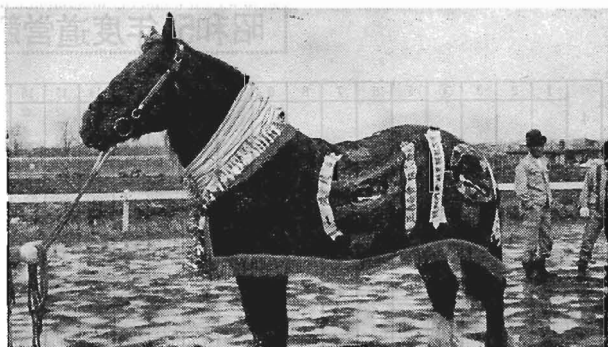
タカラオ一号

| 年度 | 取得賞金額 |
|----|-----------|
| 41 | 22,500 円 |
| 42 | 19,000 |
| 43 | — |
| 44 | 16,000 |
| 45 | 257,000 |
| 46 | 752,000 |
| 47 | 963,000 |
| 48 | 1,285,000 |
| 49 | 1,545,000 |
| 50 | 1,429,000 |
| 計 | 6,288,500 |



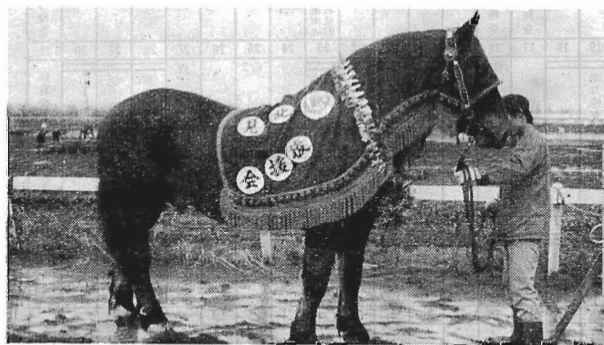
タカラホープ号

| 年度 | 取得賞金額 |
|----|-----------|
| 40 | — 円 |
| 41 | 226,750 |
| 42 | 128,000 |
| 43 | 158,500 |
| 44 | 65,000 |
| 45 | 131,500 |
| 46 | 234,500 |
| 47 | 344,000 |
| 48 | 358,000 |
| 49 | 700,000 |
| 50 | 320,000 |
| 計 | 2,666,250 |



タカリュウ号

| 年度 | 取得賞金額 |
|----|-----------|
| 41 | — 円 |
| 42 | — |
| 43 | — |
| 44 | 69,000 |
| 45 | 295,500 |
| 46 | 510,000 |
| 47 | 810,000 |
| 48 | 806,000 |
| 49 | 790,000 |
| 50 | 60,000 |
| 計 | 3,340,500 |



ハクリキ号

昭和51年度市営競馬日程表

旭川 岩見沢 北見 帯広 道 ← 中央

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 4月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 5月 | 1 | ② | ③ | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ⑯ | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | ⑳ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | ⑳ | 31 |
| 6月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑥ | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | ⑳ | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | ⑳ | 28 | 29 | 30 | | |
| 7月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 8月 | ① | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ⑳ | 30 | 31 |
| 9月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | ⑱ | 20 | 21 | 22 | ⑳ | 24 | 25 | ⑳ | 27 | 28 | 29 | 30 | | |
| 10月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ⑳ |
| 11月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | ⑦ | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | ⑳ | 22 | ⑳ | 24 | 25 | 26 | 27 | ⑳ | 29 | 30 | |

昭和51年度道営競馬開催日程

競走練習：☆

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 4月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 5月 | 1 | ② | ③ | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | ⑯ | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | ⑳ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | ⑳ | 31 |
| 6月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑥ | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | ⑬ | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | ⑳ | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | ⑳ | 28 | 29 | 30 | | |
| 7月 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | ⑱ | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | ⑳ | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 8月 | ① | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ⑳ | 30 | 31 |
| 9月 | 1 | 2 | 3 | 4 | ⑤ | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | ⑪ | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | ⑱ | 20 | 21 | 22 | ⑳ | 24 | 25 | ⑳ | 27 | 28 | 29 | 30 | |
| 10月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | ⑩ | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | ⑰ | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | ⑳ | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | ⑳ |
| 11月 | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 | 6 | ⑦ | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | ⑭ | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | ⑳ | 22 | ⑳ | 24 | 25 | 26 | 27 | ⑳ | 29 | 30 | |

